平成 29 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム
外部評価（社会的評価）委員会報告書

平成 31 年 3 月

愛岐留学生就職支援コンソーシアム

まえがき

愛岐留学生就職支援コンソーシアムは、2017 年度文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」への申請を契機とし、2017 年 9 月に愛知県及び岐阜県の産官学 11 機関で設立されました。このプログラムの目的は、成長戦略における「外国人材の我が国企業への就職の拡大」に向け、各大学が地域の自治体や産業界と連携し、「日本語教育」「日本の企業文化等に関するキャリア教育」「中長期インターンシップ」の一体的な教育環境を創設する取組を支援し、外国人留学生の定着を図るとともに、日本留学の魅力を高め、諸外国から我が国への留学生増加を図ることとされています。本コンソーシアムでは、本学を中心とした大学間連携だけでなく、この地域の産業界（愛知経営者協会、岐阜経営者協会、中部経済同友会、中部経済連合会）、公的機関（愛知県、岐阜県、JETRO 名古屋）のご理解を得て、産官学の連携のもとに事業を開始しました。その後、新たな参画機関（JETRO 岐阜、愛知社会保険労務士会、南山大学）をお迎えし、より幅広い連携により事業を展開しております。

今回コンソーシアムを設立し、留学生の国内就職を支援するに至った背景について、留学生受け入れの日本政府の政策とその目的に関して少しご紹介します。日本政府は、1983 年に「教育」「友好」「国際協力」をモットーに外国人留学生の受け入れ拡大を目指した「留学生 10 万人計画」を掲げ、21 世紀初頭までの達成目標としました。2003 年に日本の留学生数が 10 万人を超えると、2008 年に日本政府はさらなる留学生受け入れを目指した「留学生 30 万人計画」を発表しました。そこでは、アジアを中心とした世界と日本のヒト・モノ・カネ、そして情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020 年を目途に 30 万人の留学生受け入れを目指すこととしました。同時に文部科学省を中心に大学の国際化推進が積極的に支援され、各大学は個別に国際教育プログラムの開発や留学生受け入れ体制の改革を進めました。この十年間を振り返ると、諸般の事情から受け入れ留学生数が減少することも時にありましたが、大きな傾向として日本を訪れる留学生数は確実に伸びてきています。「留学生 30 万人計画」が発表された 2008 年から 2017 年までの 10 年ほどの間に高等教育機関に在籍する外国人留学生数は、19 万人に近づき、約 1.5 倍の増となっています。つまり、国家政策的な支援のもと、大学の留学生受け入れは飛躍的に拡大し、入口戦略は大きな成果を残すことになりました。ただし、ここにきて出口戦略、つまり留学生の卒業後の進路に関する課題に、多くの関係者が気づくようになってきたのです。

同時に、経済活動のグローバル化によって、企業の国際展開やそれを支援する政府の考え方も変わってきています。日本政府による 2016 年の日本再興戦略では、「新たな人材育成」や「海外成長市場の取り込み」が組み込まれており、これまで拡大してきた留学生の受け入れ政策の最終章として、出口戦略に関する議論が高まっています。これらの流れにより、留学生の卒業・修了後の進路として、研究者や教育者となる道以外に、日本企業で活躍したり、帰国後も日本企業等と連携したりすることなどが期待されるようになってきています。

しかしながら、このような政策が示されており、企業からの期待もありますが、日本で長期に渡り働くことを希望する留学生が多いにもかかわらず、日本国内で就職できた留学生数は実はそれほど多くなく、日本学生支援機構の調査によると就職率は約 3 割に留まっているというのが実情です。その背景としては、日本企業に見られる独特の就職活動の形態や文化が留学生には分かりにくく、さらにビジネスシーンにおいて高度な日本語能力が留学生に求められていることなどが指摘されています。また企業にとっても、留学生の募集や雇用をどのように行い、その能力をどのように活かすことができるか、イメージがつかみにくい現状があります。

以上のような理由から、今回、この地域において留学生の就職を支援する産官学のコンソーシアムを設置する意義は、非常に大きいものです。さらに本コンソーシアムは、この地域の留学生を支援するだけにとどまらず、多様な留学生が在籍するこの地域の大学と地元企業との連携により、地域経済の国際化を促進し、この地域をグローバル社会におけるモデルケースとすることもできると考えております。

外部評価委員の先生方には、ご多忙にもかかわらず 2017 年度事業への評価をいただき、今後検討すべき課題に関する示唆までいただくことができました。それらを参考に、さらに改善を進め、留学生の国内就職支援の活性化に取り組んでまいります。改めて関係の皆様に心より感謝申し上げます。

副総長（学生支援担当）キャリアサポート室長

木俣　元一

目次

まえがき

1. 外部評価委員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2. 愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会プログラム ・・・・・・・・・・ 4

3. 評価資料
3－1. 平成 29 年度留学生就職促進プログラム成果報告書 ・・・・・・・・・・・・・ 6
3－2. 平成 29 年度留学生就職促進プログラム成果報告書資料 ・・・・・・・・・・ 37
3－3. 平成 29 年度事業報告資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
3－4. 愛知県 夏期外国人留学生インターンシップ事業報告 ・・・・・・・・・・・ 146
3－5. 岐阜県 外国人留学生インターンシップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148
3－6. JETRO 名古屋グローバル人材フェア in 名古屋 ・・・・・・・・・・・・・・・ 150
3－7. 岐阜県経営者協会 留学生就職促進プログラム説明会 ・・・・・・・・・・・・ 151
3－8. 中部経済同友会 企業と留学生の交流会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
3－9. 中部経済連合会 ワークショップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157

4. 外部評価委員の意見
4－1. 久保田 学 委員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 158
4－2. 太田 智裕 委員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159
4－3. ライアン 優子 委員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161
4－4. 袴田 麻里 委員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163

5. 平成 29 年度外部評価 指摘項目改善案 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165

愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員紹介

委員長:
□久保田　学
一般社団法人留学生支援ネットワーク　事務局長
留学生支援、外国人採用関連セミナー講演、企業や教育機関のコンサルティング業務に従事
政府の委員会や政策アドバイスなども行う
文部科学省留学生就職促進プログラム専門委員

委員:
□太田　智裕
愛知労働局　職業安定部　職業対策課　地方職業指導官
外国人雇用対策事業担当　農林漁業就職支援事業担当

□ライアン　優子
静岡大学　国際連携推進機構　准教授
大学の国際化・学術交流の推進等業務に従事

□袴田　麻里
静岡大学　国際連携推進機構学生支援部門　准教授
日本語教育、留学生指導・相談、交流活動に従事

愛岐留学生就職支援コンソーシアム 外部評価委員会プログラム

日時:平成 30 年 11 月 29 日(木)10:00～12:00
場所:名古屋大学経済学部・経済学研究科 第 1 会議室

【プログラム】
10:00　実務委員長挨拶(木俣実務委員長)
10:05　外部評価委員の紹介(名古屋大学土井総長補佐)
10:10　平成 29 年度コンソーシアム事業の説明
　　1　教育プログラム
　　① 全体概要(日本語教育、キャリア教育、インターンシップ)
　　(名古屋大学坂井キャリアサポート室副室長)
　　② 各大学の取り組み
　　名古屋大学
　　岐阜大学
　　名古屋工業大学
　　名城大学
　　2　産官学連携
　　① 愛知県外国人留学生インターンシップ
　　② グローバル人材フェア in 名古屋
　　③ 愛知県経営者協会留学生就職促進プログラム説明会
　　④ 岐阜県経営者協会留学生就職促進プログラム説明会
　　⑤ 中部経済連合会ワークショップ
　　⑥ 中部経済同友会企業と外国人留学生との交流会
　　3　組織運営
　　① 組織概要(土井総長補佐)
　　② 委員会、部会報告(木俣委員長、土井総長補佐)
　　③ 将来構想(土井総長補佐)

11:10　質疑応答
11:30　外部評価委員による討議
11:50　外部評価委員会総評(文部科学省専門委員)
12:00　閉会(土井総長補佐)
(休憩)
13:00　学生による報告会(坂井キャリアサポート室副室長)
14:00　閉会

3. 評価資料

3. 1　平成 29 年度留学生就職促進プログラム成果報告書

3. 2　平成 29 年度留学生就職促進プログラム成果報告書資料

3. 3　平成 29 年度事業報告資料

3. 4　愛知県夏季外国人留学生インターンシップ事業報告

3. 6　岐阜県外国人留学生インターンシップ

3. 7　JETRO 名古屋グローバル人材フェア in 名古屋

3. 8　岐阜県経営者協会留学生就職促進プログラム説明会

3. 9　中部経済同友会企業と留学生の交流会

3. 10　中部経済連合会ワークショップ

様式第１１

委託業務成果報告書

平成３０年５月２２日

支出負担行為担当官
文部科学省高等教育局長　　殿

（受託者）所 在 地　名古屋市千種区不老町
名　　称　国立大学法人名古屋大学
代表者名　松　尾　清　一　　印

平成２９年６月２６日付け平成２９年度「留学生就職促進プログラム」に関する成果の報告書を委託契約書第２１条の規定により、別添のとおり提出いたします。

1．平成29年度実施・参加状況一覧

①ビジネス日本語教育（790名）

大学	項　目	参加人数
名古屋大学	日本語能力試験対策講座N5-4①	12
	日本語能力試験対策講座N5-4②	21
	日本語能力試験対策講座N5	16
	日本語能力試験対策講座N4	17
	日本語能力試験対策講座N1①	20
	日本語能力試験対策講座N1②	63
	日本語能力試験対策講座N1③	24
	中上級日本語能力向上支援講座	16
	就活準備日本語講座（基礎）	56
	就活準備日本語講座（実践）	54
	ビジネスコミュニケーションのための日本語	30
	就活日本語支援講座	13
岐阜大学	日本語教育（初級～中上級）	22
	キャリア日本語教育	27
名古屋工業大学	基礎力養成（文字）	13
	基礎力養成（初級Ⅰ Ⅱ）	26
	基礎力養成（中級Ⅰ Ⅱ）	48
	資格取得（N3）	18
	フォローアップ日本語	61
	日本語表現法	22
	日本語日本文化	24
	グローバル人材論	18
	資格取得（N2、N1）	36
	ビジネス日本語	37
	就活日本語	13
	日本語日本社会	28
	情報表現特論	9
	多文化共生特論	12
名城大学	ビジネス日本語	19
	就活日本語	15
合　計　（延べ人数）		790名

②キャリア教育（1912名）

大学	項　目	参加人数
名古屋大学	入学時キャリアガイダンス	313
	入学時キャリアカウンセリング	11
	就活オリエンテーション＆内定者座談会	49
	留学生のための就職・キャリア支援プログラム	116
	ビジネスマナー講座	40
	業界理解講座	82
	企業交流会	43
	職場体験プログラム	49
	キャリアカウンセリング	203
	Job Fair	82
岐阜大学	入学時キャリアガイダンス	14
	キャリアカウンセリング	41
	留学生のための就職活動支援プログラム	128
	ビジネスマナー講座	14
	業界理解講座	22
	企業交流プログラム	139
	職場体験プログラム	78
	留学生向け企業セミナー	101
名古屋工業大学	卒業生による講演会	5
	キャリアカウンセラー	177
	企業見学ツアー	90
名城大学	キャリア教育講座	22
	就職活動支援講座	17
	留学生就職シンポジウム	10
	インターンシップ報告会	6
	カウンセリング	60
合　計　（延べ人数）		1912名

③インターンシップ（90名）

大学	項　目	参加人数
名古屋大学	独自開発インターンシップ	7
岐阜大学		21
名古屋工業大学		1
名城大学		5
愛知県庁・名古屋外国人雇用サービスセンター主催インターンシップ		46
岐阜県庁主催インターンシップ		10
合　計		90名

２．平成２９年度実施状況報告

①ビジネス日本語教育

ビジネス日本語の新規科目を多数開設し、資格取得科目からの積み上げ式のカリキュラム構築の基礎形成を行った。全 30 講座を開講し、多くの留学生が参加したが、特に日本語能力試験 N1 レベル対策講座及びビジネス日本語講座科目には 50 名を超える多くの受講者が見られ、ビジネス日本語への関心の高さが伺えた。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施科目

日本語教育については、下記の講座を開講した。

No.	講座名	開講期間
1	日本語能力試験対策講座N5-4①	H29年9月（夏季休業中）
2	日本語能力試験対策講座N5-4②	H30年2-3月（春季休業中）
3	日本語能力試験対策講座N4①	H29年9月（夏季休業中）
4	日本語能力試験対策講座N4②	H30年2-3月（春季休業中）
5	日本語能力試験対策講座N1①	H29年9月（夏季休業中）
6	日本語能力試験対策講座N1②	H29年10-12月（秋学期中）
7	日本語能力試験対策講座N1③	H30年2-3月（春季休業中）
8	中上級日本語能力向上支援講座	H29年10-12月（秋学期中）
9	就活準備日本語講座（基礎）	H29年10-11月（土曜日）
10	就活準備日本語講座（実践）	H29年11-12月（土曜日）
11	ビジネスコミュニケーションのための日本語	H30年2月（春季休業中）
12	就活日本語支援講座	H30年2月（春季休業中）

留学生の日本での就職を日本語教育で支援する際、日本語そのものの能力向上と就職活動やビジネスのための日本語教育の二つの分野について支援する必要がある。名古屋大学では、日本語能力向上のため、上の表の 1～8 の 8 講座を開講した。ビジネス・就活のための日本語については 9～12 の 4 講座を開講した。日本語能力試験対策講座については、本年度は N5、N4 及び N1 の講座のみ開講したが、連続したレベルを続けて受講する傾向が強く見受けられ、来年度以降全レベルに対応できるようにする予定である。ビジネス日本語についてはキャリア教育とも連動した質の高いビジネス日本語講座を提供し、直接就職活動の準備に繋がるような内容を行った。

(2)参加状況（342 名）

日本語能力向上の講座の参加者は合計で 173 名、ビジネス・就活の日本語講座は合計で 169 名であった。各講座とも好評で、定員を上回る講座もあり、受講できない応募者も出た。他大学からの学生の参加も見られ、日本での就職やそのために日本語を学ぶことに関する関心度が高いことがうかがえた。

(3)成果

留学生の数が増え、学生の状況も多様化している。入学時に全く日本語ができない学生も N1 レベルの学生もある。多様な学生が日本で就職できるだけの日本語のレベルになるまでの様々なレベルの日本語教育の支援が必要である。この事業では、多くの日本企業が求める N1 レベルの日本語とビジネスでの日本語を学ぶ講座を提供することができ、各講座に参加した学

生の感想からも、これらの講座が留学生に必要とされ、評価されていることがうかがえる。さらに、これらの講座の受講が学生の日本での就職に対するモチベーションの向上と意識改革にも繋がっていると考えられる。

(4)課題

来年度、学生のニーズに応えて日本語能力試験対策講座を N5 から N1 まで開講する。キャリア教育との連携をさらに進めていく必要がある。

(5)実施講座報告書 (別紙)

【実施大学：岐阜大学】

(1)実施科目

日本語資格用講座１

日本語資格用講座２

キャリア日本語講座１

キャリア日本語講座２

本年度はテスト施行として本学で開講している日本語授業を本プログラム科目に置き換えて開講

(2)参加状況

日本語資格用講座１　受講者５名

日本語資格用講座２　受講者１７名

キャリア日本語講座１　受講者１３名

キャリア日本語講座２　受講者１４名

(3)成果

テストケースとしての開講であったが、十分な受講者数を得ることができた。

(4)課題

それぞれの講座が目標としている日本語スキルにどの程度到達できたかをより明確に示す方法を検討する。また受講生にとって適切な半期における授業回数を検討する必要がある。

(5)シラバス(別紙)

【実施大学：名古屋工業大学】

(1)実施科目

１．プログラム生参加学生対象

①基礎力養成：基礎力養成（文字＊・初級Ⅰab＊Ⅱab・中級Ⅰab Ⅱab）
資格取得（Ｎ３ab）、フォローアップ日本語１～４＊

②実践力養成：資格取得（Ｎ２ab＊・Ｎ１ab）
ビジネス日本語(聞＊・読・書・話)、就活日本語１・２＊

２．名古屋工業大学学生対象

①基礎力養成：日本語表現法、日本語日本文化、グローバル人材論

②実践力養成：日本語日本社会、情報表現特論、多文化共生特論

注１：上記の各科目は原則的に１回２時間×15～16 週で実施。

注２：＊は本事業予算によって実施した科目。

(2)参加状況

１．①基礎力養成：延べ約 87 人
②実践力養成：延べ約 153 人

２．①基礎力養成：延べ約 75 名（他にグローバル志向の日本人学生約 25 名も参加）
②実践力養成：延べ約 60 名（他にグローバル志向の日本人学生約 15 名も参加）

(3)成果

１．既存科目に加え、新たな開講科目が増えたことで、留学生就職支援体制の強化ができた。

２．新たに少人数対応の科目を設けたことで、多様な留学生の多様なニーズに対応することができた。

以上により、日本での就職を実現可能な夢ととして捉え、努力する留学生の数が増えたと感じている。本事業が順調に推移した場合、これらの留学生の卒業時にその成果が表れるであろう。

(4)課題

多様な留学生の多様なニーズに対応する科目をいかに準備し、継続するかが今後の課題である。そのためには、日本語力の底上げからビジネス日本語までを体系化して実施するとともに、多様な留学生の多様なニーズに対応するための少人数または個別の指導が欠かせない。これらを行うための人材の確保および経済的な裏付けが今後の課題となってくるであろう。

(5)シラバス(別紙)

【実施大学：名城大学】

(1)実施科目

就活日本語・ビジネス日本語

(2)参加状況（34 名）

■就活日本語　参加者１５名

登録者１５名のうち、６０%以上出席した者は４名（うち７０%以上出席者が３名）であった。６人の学生は、２回までは出席したが、ゼミやアルバイトと重なり継続して参加することが難しい状況であった。継続参加学生の受講態度は良好であった。

■ビジネス日本語　参加者１９名

登録者２０名のうち、６０%以上出席した者は１１名（うち７０%以上出席者が７名）であった。申告のあった欠席理由はゼミ・学科の出席、論文提出準備、帰国などであった。受講態度は各自差があるものの概ね熱心で良好なものであった。

(3)成果

■就活日本語

・講座内容、資料の分かりやすさ、講座のボリューム等を含めて、全般として非常に満足度の高い結果となった。アンケートから、後輩にも講座を勧めたいとの記載があり、その他、受講生の感想としては、企業とのやり取り、企業へアプローチする際の不安が低減でき、就活が始まりさっそく学んだことを使うことができたとの声もありました。

■ビジネス日本語

ビジネス場面で使う日本語において、談話展開、敬語等待遇表現やそれにまつわるイントネーション、場面特有の語彙・表現などを学ぶことを目的としてあげたが、特に、敬語等待遇表現について多くの質問があり、集中して練習することができた。

(4)課題

■就活日本語・ビジネス日本語

・２月の講座への参加者が少なかった。休み期間の開講日を設けない方が良かった。

■ビジネス日本語

音声指導、例えばイントネーションなどに関しては十分に時間がとれたとはいえない。また、「就活のための日本語」クラスとシラバス上での関連を持たせたが、十分に連携をとれたかどうかはわからない。両クラスとも受講するように呼び掛けるにあたって、この点も次回の課題である。

(5)シラバス(別紙)

②キャリア教育

次年度に就職活動を検討している学生に対して、自己理解及び職業理解等を学ぶ講座を 11 講座開講し、日本の雇用文化や就職活動に関する習慣を学ぶ機会を提供した。また実際に企業を招いての業界研究セミナーや企業訪問のバスツアー、Job Fair などの就職活動イベントを開催した結果、延べ 800 名以上の留学生が参加し、キャリア教育やリーダー人材育成に関する新規科目の開講と積み上げ式カリキュラムの構築の基礎形成を行うことが出来た。

この他に、留学生一人ひとりの自己理解や職業理解に応じたキャリアカウンセリングを適宜実施し、個別フォローを行うに加え、新たな取組みとして、新入生に向けたキャリアカウンセリングも実施した。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施科目、イベント

新入留学生向けオリエンテーション（9 月 28 日実施）、翌年度に就職活動を控えた留学生（B3/M1）を対象とした就職活動オリエンテーション及び内定者座談会に加え、合計 10 コマの「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」、近隣企業を訪問する「職場体験ツアー（バスツアー）」を計 3 回、7 社の企業を招聘し各業界の成り立ちを留学生に分かりやすく解説する「業界理解講座」を計 2 回、ビジネスマナー講座を計 2 回実施した。「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」では、翌春から本格化する就職活動に備え、自己理解及び職業理解（特に日本の雇用文化や労働市場への理解）が促進されるよう参加型学習の要素を取り入れたワークショップを実施した。また、「職場体験ツアー」では企業で活躍する元留学生の本学 OB・OG と交流できるようにした。

これらの行事について、留学生が必要に応じて履修できるよう、キャリアカウンセリングを適宜行うことにより、包括的な支援を行った。

(2)参加状況（584 名）

「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」では、平均的に毎回 30 名ほどの参加がみられた。イベントによっては 50 名を越す参加者がおり、実際に企業からの声を聞くことで就職への目標を明確に出来たようであった。2 月に行った Job Fair では、近隣企業を中心に、留学生の採用に関心を示す 33 社を招聘し、留学生が日本企業への就職に関する理解を深められるよう、企業と自由に交流できる機会を設定し、82 名の留学生が参加した。

なお、キャリアカウンセリングについては、9 月の入学式後に新入生を対象に行った 11 件を含め、7 ヶ月で 203 件の対応(1 件あたり 1 時間の相談時間を設定し、相談者は事前予約の上、キャリアカウンセラーに相談)を行った。

(3)成果

日本での就職活動過程において、従来は、準備期間が足りず、日本の就職活動スタイルに慣れることが出来ないまま選考に臨む留学生が多くいたが、まず講座によって就職活動の基本知識やキャリア形成を行い、加えて実際に企業と触れることで、心的負担も薄れ、事前準備が充分に行えた。3 月以降、就職活動が本格化する中、これらの講座を受講した学生たちが、どのように自らの就職活動で役立てたのか、グループインタビュー等を通じて検証を行う予定である。

(4)課題

「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」等の行事は、翌年度に就職活動を控えた学部3年生や修士1年生を中心に実施したが、低学年（学部1・2年生）、あるいは博士課程の留学生に、どのように参加を呼び込むべきか、カリキュラムの見直しを含め、さらなる検証が必要である。

(5)シラバス(別紙)

【実施大学：岐阜大学】

(1)実施科目、イベント及び（2）参加状況

講義名等	開講時期	受講者数
デザイン思考序論	前学期（前半）	１６
デザイン思考序論	前学期（後半）	７
デザイン思考トレーニング	後学期（前半）	２
Design Thinking Training Workshops	後学期（前半）	１２
Advanced Workshop Design	後学期（前半）	１２
留学生就職推進特別講義	1/22,29,2/19,26,3/5,19,26	２２
日本企業の海外展開 ―天野エンザイム（株）の事例を元に―	2/22	１４
外国人留学生向け就職活動支援コース 第１回オリエンテーション・自己分析	10/18	１６
外国人留学生向け就職活動支援コース 第２回企業分析	10/25	１０
外国人留学生向け就職活動支援コース 第３回応募書類	11/15	８
外国人留学生向け就職活動支援コース 第４回面接訓練	12/6	７
個別相談	11/15,22,29	１２
個別相談	12/6,13,20	７
個別相談	1/10,17,24,31	９
個別相談	2/28	５
個別相談	3/8,13,15	８
外国人留学生向け実践型ワークショップ 内定者就活体験談	12/13	１１
外国人留学生向け実践型ワークショップ ビジネスマナー研修	12/20	６
外国人留学生向け実践型ワークショップ グループディスカッション	1/10	７
外国人留学生向け実践型ワークショップ プレゼンテーション訓練	1/17	５
外国人留学生向け実践型ワークショップ 摸擬面接訓練①	1/24	４
外国人留学生向け実践型ワークショップ 摸擬面接訓練②	1/30	５
	合計	205

(3)成果

【留学生就職推進特別講義】

・主に日本の産業構造に対する理解を深めることができた。

・世界市場に対する日本の有力産業の理解を深めることができた。

・有力産業を構成するピラミッド構造とこれを支える「独自技術」企業群の存在価値に対する理解を深めることができた。（東海地方、岐阜県での就職プロモーションを行うことができた。）

【外国人留学生向け就職活動支援コース】【個人面談】【外国人留学生向け実践型ワークショップ】

・受講した留学生のヒアリングでは、就職活動のスケジュール、志望動機、自己分析、エントリーシートの書き方を学ぶことができ、就活に役立ったという意見が多数あった。

・実践で学ぶことにより、面接に対する不安を解消できた。

(4)課題

・企業組織、日本企業の特長（雇用形態、賃金体系等）、日本での地方生活費等の情報が必要である。

・参加者が少ないので、就職促進プログラムの認知度をあげる必要がある。

・個別相談と講座の受講の相乗効果により、成果を最大限に高める仕組みを作る。

(5)シラバス（別紙）

【実施大学：名古屋工業大学】

(1) 実施科目、イベント

平成 29 年 10 月 28 日（土）「活躍する卒業生を迎えて就職セミナー」
平成 29 年 12 月 8 日（金）「グループディスカッション実践講座」
平成 29 年 12 月 17 日（日）「ベトナム留学生と進出企業との交流会」
平成 29 年 12 月 22 日（金）「グループディスカッション実践講座」
平成 30 年 1 月 23 日（火）「就職・身だしなみ講座」
平成 30 年 1 月 25 日（木）「面接実践練習講座」
平成 30 年 1 月 26 日（金）「就職・身だしなみ講座」
平成 30 年 2 月 1 日（木）「面接実践練習講座」

(2) 参加状況

10/28: 15 名
12/8: 11 名
12/17: 企業　28 社　　学生 56 名
12/22: 6 名
1/23: 12 名
1/25: 10 名
1/26: 6 名
2/1: 12 名

(3) 成果

実際に日本での就職活動を経験した卒業生の話を聞くことにより、キャリアプランニングのヒントとなった。
「グループディスカッション」「面接実践練習講座」「就職・身だしなみ講座」では、就職活動開始直前に疑似体験をすることができ、大変有効であった。

(4) 課題

日本語能力の更なる向上が必須

(5) シラバス(別紙)

【実施大学：名城大学】

(1)実施科目、イベント

キャリア教育講座（全７回中、フィールドワーク５回実施）

就職活動支援講座（全１５回開催）

(2)参加状況（39 名）

キャリア教育講座　参加者　２２名

（内訳：名城大学以外に中部大学・岐阜大学の留学生参加者８名）

就職活動支援講座　参加者　１７名

（内訳：名城大学以外に岐阜大学の留学生参加者１名）

(3)成果

（アンケート結果）

・講座内容の理解度が高く、講座の満足度が非常に高い結果となった。

（講師のコメント）

キャリア教育講座

・外国人留学生は日本での就職を希望するにも関わらず、学校やアルバイト以外の日本人の姿に接する機会が少ないため、職業的視野を広げるべく実施したものである。

・キャリアデザインでは、目の前の課題にほぼ集中している現状から、時間的視野を広げることに留意したが、企業人、NPO 法人、起業家と対談することにより、多様な

・キャリア観に触れることができ、自らの職業観について考えることができた。

・企業見学及びフィールドワークで、企業の方や職人たちと対談することにより、もの作りの深さや技術の広さや、そのための取り組みに触れることができた。何より自ら行動して成果を得ることや日本人からの評価を得る貴重な体験となった。

就職活動支援講座

・日本の就活のスケジュール、ステップ、進め方について学ぶことができ、日本で就活する際の不安を解消することができた。

・ワークショップでは、社会人講師（企業人）及び就職した先輩との交流を通して、日本企業で働くイメージ、企業が外国人に期待していることに触れることができた。

・講座のゲストスピーカー（企業人や留学生の先輩社員）を通して、日本企業へ働くこと、及び、日本企業の組織風土のイメージを留学生が持つことが出来た。

(4)課題

・参加者が少ない点

・特に、理系学生より文系学生の継続参加者が少ない。

・スクール形式よりカジュアルな座談会形式の方が参加しやすい雰囲気と思われる。

・講義が重なって、参加できない状況があった。

(5)シラバス(別紙)

③インターンシップ

初年度である平成 29 年度の取組みとして、既存のインターンシップに加え、企業と連携してワークショップを開催する等、産官学での連携により地元企業の国際化支援を行った。従来の愛知県庁等が実施しているインターンシップに加え、岐阜県庁では新たに留学生を対象としたインターンシップ事業が開始する等、より多くの留学生に対しインターンシップを提供することが出来、最終的に 25 名の留学生が参加した。

また、コンソーシアムとしての取り組みの具体的事例としては、10 月に地元企業と独自開発のインターンシップを実施したところ、コンソーシアムから 7 名の参加者があり、これを皮切りに、留学生に特化したインターンシップに関する相談を多数受けたうち、実際に 8 社のインターンシップを共有した。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施プログラム

愛知県庁及び名古屋外国人雇用サービスセンターが実施する愛知県留学生インターンシップに当コンソーシアム加盟団体である名古屋大学、名古屋工業大学、名城大学、及び中部経済連合会の教職員が運営員会に参画し、1 週間以上を参加期間とするインターンシッププログラムを開発してきた。また、本学独自の取り組みとして、企業と連携した留学生向けインターンシップを試験的に開発し、計 7 名が参加した。（うち 3 社に派遣された 4 名分のインターンシップは、本学と派遣先企業との間で覚書を取り交わし、その内容や課題設定に至るまで企業と協働してプログラム内容を開発した。）

(2)参加状況（26 名）

愛知県庁及び名古屋外国人雇用サービスセンターが実施するインターンシップには本学より 30 名が申し込み、19 名のマッチングが成立した。また上述のとおり、この他に本学独自の留学生インターンシップを開発した結果、7 名が参加した。

(3)成果

インターンシップについては、研修中の内容に留まらず、参加申し込み前のオリエンテーションや研修直前の導入研修を通じた「動機付け」を行い、インターンシップへの参加目的を顕在化させるような教育を施した。事後のフィードバック面談などで、参加した学生からは一様に「日本企業への印象が変わった」などの感想を得ることができた。

(4)課題

4 週間程度の長期インターンシップの実施を許諾する企業が少ないため、1,000 名以上の留学生を抱える本学として、どのように受け入れ企業を開拓すべきか、課題である。

(5)プログラム概要(別紙)

【実施大学：岐阜大学】

(1)実施プログラム

岐阜県主催平成２９年度外国人留学生県内就職促進事業

(2)参加状況

※ 企業向けセミナー（外国人留学生 採用・活用セミナー）

・日時　平成２９年１２月１２日（火）

・参加企業数　１７社２０名

※ 企業向けセミナー（インターンシップ準備セミナー）

・日時　平成２９年１２月１９日（火）

・参加企業数　　８社１０名

※ 留学生向けセミナー（日本で就職したいっ！セミナー）

・開催日時及び参加者数

・参加者数

日付	１２月１３日（水）	１２月１８日（月）	１２月２１日（木）	１２月２２日（金）
当日参加者数	４名	５名	３名	３名

※ 留学生向けセミナー（インターンシップ直前セミナー）

・日時　平成３０年１月２３日（火）

・参加者数　５名

※ 大学におけるマッチング会、説明会等の実施

・日時

岐阜経済大学	平成３０年１月３０日（水）
岐阜大学	平成３０年２月７日（水）

・参加者数

岐阜経済大学	９名
岐阜大学	９名

※ インターンシップ参加留学生

インターンシップ参加留学生総数：１０名

岐阜大学	７名
岐阜経済大学	３名

(3)成果

・留学生・企業共に、インターンシップ参加・受入れをする意義を理解してもらい、不安感や課題点の解消につなげることができた。

・留学生、企業、大学等の関連機関との連携、関係構築ができたので、今年度の経験を踏まえ、次年度以降の取組につなげることが期待できる。

(4)課題

１．周知方法の見直し

有効かつ効果的な周知活動ができる仕組みを作る。

・周知期間の確保、日時・周知方法、セミナー等の開催場所などの再検討をする。
・県内企業の魅力を情報収集し、留学生に分かりやすく説明する。

２．事業実施計画の見直し

・インターンシップを留学生が参加しやすい夏季休暇に実施する（今年度は 1/24～3/14 に開催した）。

３．関連機関との連携

・関連機関との意見交換により、参加留学生・企業の確保と留学生のニーズに応じたセミナーやインターンシップを実施する。

(5)プログラム概要(別紙)

【実施大学：名古屋工業大学】

(1) 実施プログラム

公募型インターンシッププログラム

ジェネラルインターンシッププログラム

IMURA America インターンシッププログラム

愛知県外国人留学生インターンシップ

(2) 参加状況

25 名

(3) 成果

留学生が日本で企業において就業を体験するという貴重な機会になった。

また、数名の学生はインターンシップを行った企業で、就職することとなった。

(4) 課題

まだ、インターンシップに参加できている留学生の数が限られているので

今後、更に数を伸ばしていきたい。

(5) プログラム概要(別紙)

【実施大学：名城大学】

(1)実施プログラム

春季インターンシップ説明会および報告会（11/16 開催）

インターンシップ報告会（12/14 開催）

(2)参加状況（25 名）

■インターンシップ報告会参加者数

春季インターンシップ説明会および報告会（11/16 開催）　参加者４名

インターンシップ報告会（12/14 開催）　参加者６名

■インターンシッププログラムへの参加者数

名古屋外国人雇用サービスセンター（厚生労働省）のインターンシップ（夏季）

参加者９名

愛知県政策企画局国際課（愛知県）のインターンシップ（春季）

参加者１名

名城大学のインターンシップ

参加者５名

(3)成果

＜アンケート結果＞

・報告会参加者は、インターンシップの内容に大変興味を持つことができ、満足度が概ね高かった。

＜講座参加者の発言＞

・インターンシップ報告会参加者は、日本企業でのインターンシップのイメージが明確となった。インターンシップの流れが理解でき参加する際の注意点がわかったので、インターンシップ参加への意欲が湧いた。

・報告者からの感想として、自らのインターンシップ実習参加の振り返りを通し、日本企業の風土や働き方が理解でき、日本で働く意欲が高まった。

(4)課題

・早い段階で、留学生に対しインターンシップに向けての準備が出来ていないので、インターンシップについての理解が少なく、インターンシップ実習への参加に繋げることができなかった。インターンシップ報告会への参加が少ない。

(5)プログラム概要(別紙)

④公的機関、企業との連携イベント

コンソーシアムを通した産官学の連携を深め、地域の留学生に対して十分な支援ができるよう、コンソーシアム参画大学のみでなく、より多くの近隣大学の学生に対してプログラムの開放を行う。また、海外進出等を目指す地元企業に対しても国際課支援を行う。本年度は初年度として下記のとおりイベントを行った。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施イベント

中部経済同友会の参加企業との交流会（1 月 25 日）

中部経済同友会の参加企業 19 社が参加し、意見交換会及び懇親会を行った。

まず、加盟企業で勤務する外国籍社員(元外国人留学生)5 名を招いたパネルディスカッションを行い、日本で働くことの長所・短所について、現役の留学生、企業関係者を交えたディスカッションを行った。その直後に、1 グループあたり 10 名前後（企業関係者 5 名・留学生 5 名）のグループに分かれ、「日本で働くとは?」をテーマに討議を行うワークショップを実施した。 本実践では、外国人留学生には、元留学生の先輩や日本企業に勤務するビジネスパーソンとの交流を通じて、日本企業で の就職に対する不安を軽減し、そしてその疑問を少しでも解消することを目標と定めた。また、同友 会企業関係者には、日本企業がグローバル化やダイバーシティを推進する際に、外国籍社員の採用及び登用は企業戦略上、一考に値することを再認識して貰うことを目指し、本実践を行った。

(2)参加状況（43 名）

22 社の同会加盟企業関係者(主に企業経営者)40 名及び 15 カ国の外国人留学生 43 名が参加した。

(3)成果

当日の討議では、外国人留学生からは「日本企業は、外国人留学生のどのような所に期待している のか?(どのような仕事を任せたいと思っているのか?)」、「採用、昇格あるいは待遇において、日本 人(学生及び社員)との違いは無いか?」、「入社後、海外転勤は可能なのか(どのようなキャリアパ スが待っているのか?)」、「日本の会社では、裁量が無い状態で仕事を任されるイメージだが、実際はどうなのか?」、「優良企業とは、どのように調べれば良いのか?(何が良ければ、「優良企業」と呼ば れるのか?)」等の質問が企業関係者に寄せられた。そして、企業関係者は外国人留学生に理解しても らえるよう、なるべく平易な日本語(あるいは英語)を用いて、日本企業の雇用慣習等を織り混ぜな がら回答を行っていた。本会終了後に実施したアンケートでは、出席した外国人留学生からは、「日本 の企業理念や制度を勉強させていただきました」、「留学生は“日本企業の労働力”だと思っていましたが、今回の交流会を通して企業側の優しさを実際に感じました。考え方は変わりました」等のコメントを得ることができた。また、企業関係者からは、「留学生の就活等に対する本音を直接聞くことができ、大変参考になった」、「留学生の語学、思考能力の高さに感銘を受けた」等の感想が寄せられた。そして、外国人留学生及び企業関係者のアンケート回答者のほぼ全員より、本取組みに対する高い満足度を得ることができた。

(4)課題

　より多くの参加者を募るため、平日夕方の実施ではなく、土日の実施なども一考に価すると感じた。

(5)概要・ポスター等(別紙)

【実施大学：岐阜大学】

(1)実施イベント及び（2）参加状況

・留学生向けイベント

番号	イベント名	開催日	場所	参加 留学生数
1	地元企業との交流会 （共催：岐阜信用金庫）	29.11.15	研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階ミーティングルーム	第1部 22 第2部 24
2	留学生就職促進プログラム講演会 外国人留学生の採用動向&活用事例紹介	29.11.17	大学会館2F 第6集会室	23
3	外国人留学生交流フォーラム （共催：十六銀行）	29.11.22	研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階ミーティングルーム	13
4	マレーシアに向けた商品設計と企業展開	29.11.24	アクティブ・ラーニング教室1A	4
5	岐阜地域留学生交流推進協議会主催 第16回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会 第1部 弁論大会 第2部 企業等との交流会 （講演：大垣共立銀行、十六銀行）	29.11.25	岐阜大学講堂 岐阜大学地域科学部棟1F101講義室	第1部 23 第2部 11
6	交通安全・防犯指導の講習会	29.12.15	全学共通教育棟3F35教室	36
7	外国人留学生積極的活用企業代表者との交流会（共催：経済産業省中部経済産業局）	30.1.24	研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階ミーティングルーム	14
8	外国人留学生対象社長を囲む夕食懇談会(三幸電機株式会社代表取締役社長)	30.1.30	図書館1F会議室	5
			合　計	175

・企業向けイベント

番号	イベント名	開催日	場所	参　加 企業等数
1	岐阜県経営者協会会員への説明会	29.12.5	岐阜大学サテライトキャンパス	50
			合　計	50

(3)成果

連携イベントに参加した留学生が、参加企業に就職が内定した。

連携イベントに参加することにより、留学生が企業から日本企業の考え方及び特徴を知ることができた。

(4)課題

就職促進プログラムの認知度をあげ、イベントの参加を促すことにより、日本での就活意識を醸成する。

外国人留学生の就職活動・定着における課題及び企業が外国人留学生を雇用する際の課題等について、実態の把握・分析を行う。

(5)概要・ポスター等(別紙)

【実施大学：名古屋工業大学】

(1) 実施イベント

平成 29 年 11 月 1 日（水）スズキ株式会社見学

平成 29 年 12 月 8 日（金）サン電子株式会社、CKD 株式会社見学

平成 30 年 2 月 14 日（水）セイコーエプソン株式会社見学

(2) 参加状況

11/7: 31 名

12/14: 28 名

2/19: 31 名

(3) 成果

日本を代表する企業方々から直接説明を聞き、日本のものづくりを垣間見る大変貴重な機会となった。

また、そこで働く元留学生の活躍に大変刺激を受けた。

(4) 課題

今後、見学する企業の業種の幅を広げていきたい。

(5) 概要・ポスター等(別紙)

【実施大学：名城大学】

(1)実施イベント

【シンポジウム】

外国人留学生フォーラム　　（10/26 開催）参加企業・団体数　３社

日本企業で働くことの効果と課題（11/18 開催）参加企業・団体数　４社

外国人留学生と地域とのつながり（12/ 7 開催）参加企業・団体数　２社

【就職活動支援講座の最終回】

愛知県の優良企業紹介　　（ 1/29 開催）　参加企業・団体数　７社

(2)参加状況（36 名）

外国人留学生フォーラム　　参加者　１０名（内、名古屋経済大学１名）

日本企業で働くことの効果と課題　　参加者　　４名

外国人留学生と地域とのつながり　　参加者　　５名（内、中部大学２名）

愛知県の優良企業紹介　　参加者　１７名

(3)成果

外国人留学生フォーラム；日本で働く外国人の概況、留学生の就職先の状況を知ることができた。また、参考事例として、地元商社及び製造業の企業の海外事業展開の戦略、外国人留学生の活用方針を知ることができた。

日本企業で働くことの効果と課題；母国で当たり前のことが、日本では通用しない。母国と日本とのギャップについての実体験を知ることができ、留学生にとって多くのことを知る機会となった。

外国人留学生と地域とのつながり；ボランティア団体、NPO 法人の事業紹介及び交流を通して、日本の社会問題及び地域の課題に触れることができ、実際これらの団体の地域活動に参加する学生もその後出てきました。卒業後に、地域に就職・定着につなげるきっかけとなった。

愛知県の優良企業紹介；地域の経済団体との連携イベントで、留学生に地域の高い技術力を持つ優良企業の紹介ができた。地域企業の魅力を伝えることができた。また、企業の求めることを知ることで自分の足りない点を知り、今後取り組む方向の設定ができたとの感想もありました。

(4)課題

・製造業に偏ったので、幅広い業界を見せる必要がある。
・企業の教育内容（研修）を知りたいとの意見が留学生からあったので、その点についても触れる必要があった。
・留学生が知りたい情報に基づいたプレゼン内容であることが望ましい。

(5)概要・ポスター等(別紙)

⑤その他

【実施大学：名古屋大学】

○　教育プログラムのポイント制

本事業のプログラムに参加した留学生の質の保証を図るため、教育プログラムをポイント制とし、修了に必要なポイント数を決定し、修了者にはコンソーシアム共通の修了証を発行することとした。具体的なプログラムとしては、日本語教育プログラム、キャリア教育のプログラムやカウンセリング、企業インターンシップや企業連携ワークショップ等を設定している。

○　ホームページの活用

本事業の情報伝達ツールとしてホームページ（HP）を作成し、設置した。この HP では留学生のための日本語カリキュラムや具体的なカリキュラム教育科目のシラバスを公開し、さらに関連する就職セミナーの開催通知やインターンシップの公募情報を提供している。地域の留学生やコンソーシアムの関係者との情報共有を図りつつ、本事業の取り組みや内容を他大学や地域に波及させる。なお、ホームページ上にマイページを構築しており、各プログラムの申込みや受講状況等を個人で確認できる機能も実装している。

○　学生報告会（3 月 15 日、5 月 8 日）

年に 2、3 度、本事業のコンソーシアムが主催する学生報告会を開催し、本事業の成果を地域の関係者や企業、さらには今後就職を目指している留学生と共有することを計画している。各大学より本プログラムに参画した学生が参加し、日本での就職活動についてや教育プログラムについて等をテーマに活動報告を行う。

○　岐阜県経営者協会参加企業への説明会（12 月 5 日）

岐阜大学と岐阜県経営者協会が共催し、参加企業への説明会を行った。50 名以上の企業幹部らが参加し、関係者から本コンソーシアムの概要等について説明を行った後、意見交換を行った。

【実施大学：名城大学】

○　カウンセリング

１．日程全３０回開催

9/25(月)・9/28(木)・10/2(月)・10/5(木)・10/12(木)・10/16(月)・10/19(木)・12/23(月)・10/26(木)・10/31(火)・11/6(月)・11/9(木)・11/13(月)・11/20(月)・11/23(木)・11/27(月)・11/30(木)・12/4(月)・12/7(木)・12/11(月)・12/14(木)・12/19(火)・12/21(木)・1/11(木)・1/15(月)・1/18(木)・1/22(月)・1/25(木)・1/29(月)

２．延べカウンセリング人数　６０人

３．主な相談内容

１）進路相談　　２）自己分析　３）自己 PR の素材　４）自分の強み探し
５）企業の探し方　６）企業分析　７）履歴書添削　　８）模擬面接

４．成果

・カウンセリングを通して、日本企業への就職に興味が低かった学生が、興味を持ち講座への出席に繋がった。
・個々の学生の課題（日本語、就活意識、自己分析不足、業界設定、あがり症など）の抽出、早期の対策ができた。
・個々の不安点の解消ができ、就活に対して自信を持ってもらうことができた。

５．課題

カウンセリングを受けていない学生を、カウンセリングに参加させること。

○　現状

・日本での就職意識が数年前と比較して低下傾向にある。
・帰国して、就職する希望の留学生が増加傾向にある。
・ビジネス日本語について、興味があり、一定の参加者がいる。しかし、日本での就職に関することになると、必要性を感じてなく、参加者が少ない。

○　対策

・日本の魅力を伝えることが重要

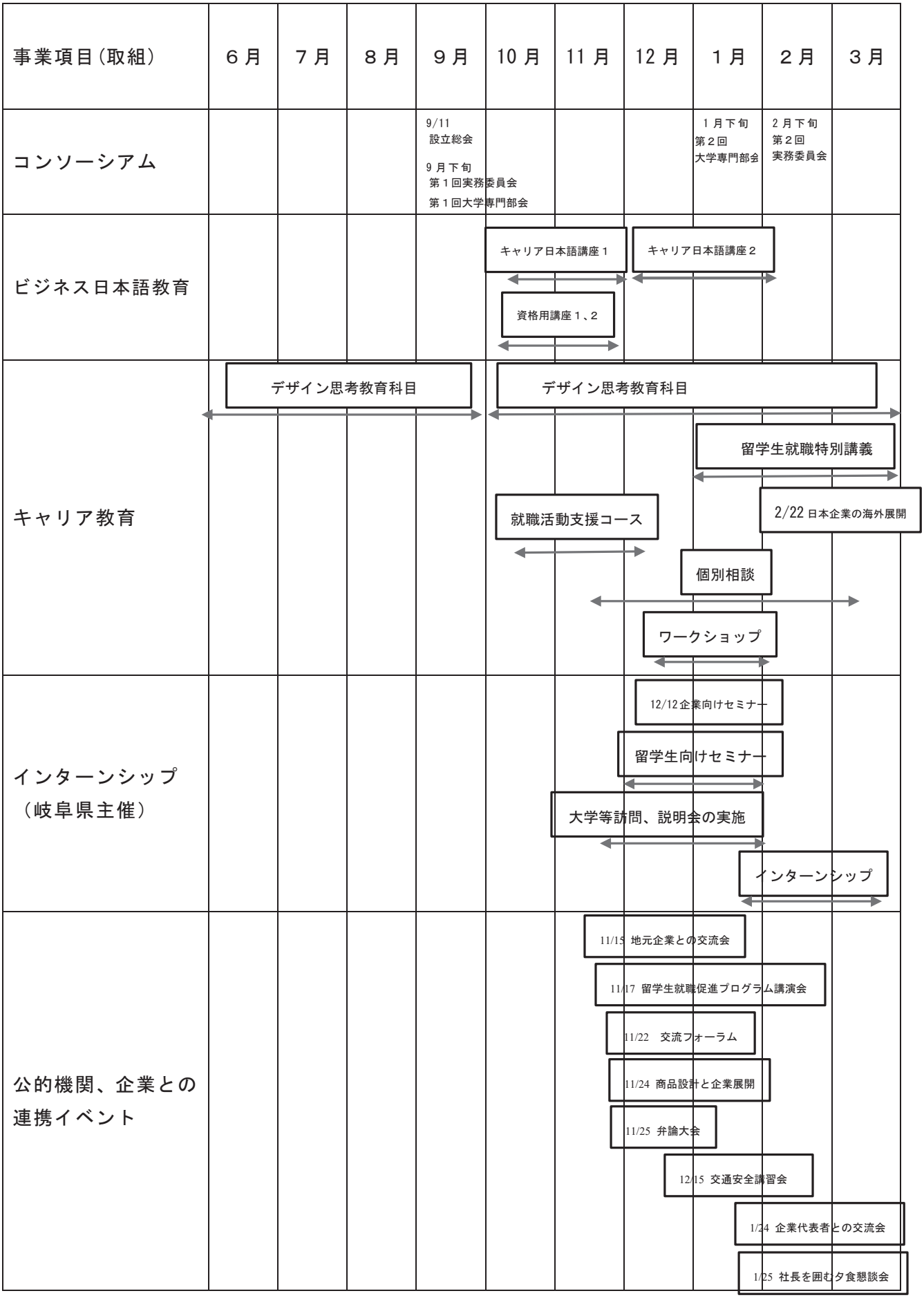
（本年度実施した講座やカウンセリングを通して、日本への就職に興味がない留学生が日本に就職したい希望に変わった学生がいた。これからは、参加していない留学生を講座等に参加させるための対策を今年以上に、対応していく必要がある。）

３．平成２９年度事業実施項目別一覧

【名古屋大学】

事業項目(取組)	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
コンソーシアム	中旬 設立前打合せ	上旬 教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ打合せ 下旬 設立前打合せ	下旬 教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ打合せ	9/11 設立総会 下旬 第１会実務委員会 第１回大学専門部会			下旬 第２回実務委員会	下旬 第２回大学専門部会		上旬 第３回実務委員会 学生報告会
ビジネス日本語教育				中旬 資格取得 (N5N4N1)	中旬 資格取得(N1) ビジネス日本語				中旬 資格取得(N5N4N1) ビジネス日本語	
キャリア教育					中旬 ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 内定者座談会 下旬 キャリア支援講座	11/23 バスツアー	12/15 業界理解	1/15 業界理解 1/25 同友会企業との交流会	2/9 Job Fair 中旬・下旬 バスツアー 下旬 ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ講座	
インターンシップ							中旬 JETRO 共催 ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ			
公的機関、企業との連携イベント								1/25 同友会企業との交流会		

【岐阜大学】


事業項目(取組)
６月
７月
８月
９月
10 月
11 月
12 月
１月
２月
３月
コンソーシアム
9/11
設立総会
9 月下旬
第１回実務委員会
第１回大学専門部会
１月下旬
第２回
大学専門部会
２月下旬
第２回
実務委員会
ビジネス日本語教育
キャリア日本語講座１
キャリア日本語講座２
資格用講座１、２
キャリア教育
デザイン思考教育科目
デザイン思考教育科目
留学生就職特別講義
就職活動支援コース
2/22 日本企業の海外展開
個別相談
ワークショップ
インターンシップ
（岐阜県主催）
12/12企業向けセミナー
留学生向けセミナー
大学等訪問、説明会の実施
インターンシップ
公的機関、企業との
連携イベント
11/15 地元企業との交流会
11/17 留学生就職促進プログラム講演会
11/22 交流フォーラム
11/24 商品設計と企業展開
11/25 弁論大会
12/15 交通安全講習会
1/24 企業代表者との交流会
1/25 社長を囲む夕食懇談会

【名古屋工業大学】

事業項目(取組)	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
コンソーシアム				9/19 月 設立総会 下旬 第１回実務委員会 第１回大学専門部会				１月下旬 第２回 大学専門部会	２月下旬 第２回 実務委員会	
ビジネス日本語教育				←→ 下旬 資格 取得	← 下旬 ビジネス 日本語	← 中旬 資格 取得			→ →	
キャリア教育					10/28 就職 セミナー		12/8，22 GD 実践 講座 12/17 ベトナム進出 企業との 交流会	1/23， 25，26 就職・身だしなみ講座 面接実践練習 講座	2/1	
インターンシップ		← インターンシップ	→						← インターンシップ	→
公的機関、企業との連携イベント						11/7 スズキ 株式会社見学	12/14 サン電子株式会社見学		2/14 セイコーエプソン株式会社見学	

【名城大学】

事業項目(取組)	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
ビジネス日本語教育				ビジネス日本語 9/28～2/15 木曜日 16:30～18:00　14 回講座 就活日本語 9/28～2/15 木曜日 13:10～14:40　12 回講座						
キャリア教育				9/23 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	10/7 ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ 10/14 日本企業の特徴 10/26 外国人留学生フォーラム	11/18 日本企業で働くことの効果と課題	12/7 外国人留学生地域とのつながり 12/9 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	1/27 多様な職業観		
				就職活動支援講座 9/21～1/29 月曜日 16:30～18:00　15 回講座						
インターンシップ						11/16 春季説明会および報告会	12/14 報告会			
公的機関、企業との連携イベント						11/1 製造業（中央電機工業・ナベヤ）企業見学	12/23 ｻｰﾋﾞｽ業（本陣平野屋・船坂酒造店・日新木工）企業見学	1/29 中部経済産業局との共催企業紹介		

様式第１１
（別添）

平成２９年度実施状況報告　(5)別紙資料一覧

①ビジネス日本語教育
- 名古屋大学　3
- 岐阜大学　15
- 名古屋工業大学　19
- 名城大学　45

②キャリア教育
- 名古屋大学　49
- 岐阜大学　59
- 名古屋工業大学　73
- 名城大学　77

③インターンシップ
- 岐阜大学　81
- 名古屋工業大学　87
- 名城大学　93

④公的機関、企業との連携イベント
- 名古屋大学　95
- 岐阜大学　97
- 名古屋工業大学　107
- 名城大学　111

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ１対策」

開講日時：2月13日、2月19日、2月21日、3月1日、3月2日、3月5日＊

（全７回）＊3月5日(1･2時限）

1時間目（8時45分～10時15分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）

担当：宗林　由佳　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：① 日本語能力試験N1の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。

② 合格に求められる知識（文法･語彙･漢字等)と技能（読む･聞く技能)を身につける。

授業内容

第１回	オリエンテーション（試験の形式と内容について）
(2月13日)	練習問題①（聴解・文法）と解説
	やってみよう①（文字・語彙）
第２回	練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
(2月19日)	やってみよう②（文字・語彙）
第３回	練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
(2月21日)	やってみよう③（文字・語彙）
第４回	練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
(3月1日)	やってみよう④（文字・語彙）
第５回	練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
(3月2日)	やってみよう⑤（文字・語彙）
第６回	模擬試験
(3月5日)	
第７回	模擬試験の解説
(3月5日)	

＊受講上の注意

授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

JLPTN5 Preparation Courses （日本語 能力 試験 N5 対策 コース）

日時 ：2 月 13 日、14 日、15 日、16 日、19 日、20 日、21 日（全 7 回）

2 時限目（10 時 30 分～12 時）

場所 ：名古屋大学 国際棟 （International Center）

教員 ： 服部 淳 atshattori@gmail.com

授業 内容

第 1回（2 月13日） N5 文法 ① （Grammar） と 語彙 ① （Vocabulary） の 説明

練習 問題 ①〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

第2回（2 月14日） N5 文法 ② （Grammar） と 語彙 ②（Vocabulary） の 説明

練習 問題 ②〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

第3回（2 月 15 日） N5 文法 ③ （Grammar） と 語彙 ③ （Vocabulary） の 説明

練習 問題 ③〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

第4回（2 月 16 日） N5文法 ④ （Grammar） と 語彙 ④ （Vocabulary） の 説明

課題 問題 ④〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

第5回（2 月 19 日） N5文法 ⑤ （Grammar） と 語彙 ⑤ （Vocabulary） の 説明

課題 問題 ⑤〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

第6回（2月 20 日） N5文法 ⑥ （Grammar） と 語彙 ⑥ （Vocabulary） の 説明

課題 問題 ⑥〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

第7回（2月 21 日） N5文法 ⑦ （Grammar） と 語彙 ⑦ （Vocabulary） の 説明

課題 問題 ⑦〔語彙 （Vocabulary）・文法（Grammar）・聴 解 （Listening）〕 の 解説

JLPT N5・N4 Preparation Courses （日本語 能力 試験 N5・N4 対策 コース）

日時 ：２月 22 日、23 日、26 日、27 日、28 日、３月１日、２日（全 7 回）

2 時限目（10 時 30 分～12 時）

場所 ：名古屋大学 国際棟 （International Center）

教員 ：宗林 由佳 ・ 服部 淳

授業 内容

第 1回（2 月 22 日） N5 実力 試験 ① と 試験 解説

第2回(2 月 23 日） N5 実力 試験 ② と 試験 解説

第3回(2 月 26 日） N4 文法 ① (Grammar) と 語彙 ① (Vocabulary) の 説明

練習 問題 ①〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第4回(2 月 27 日） N４文法 ② (Grammar) と 語彙 ② (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ①〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第5回(2 月 28 日） N４文法 ③ (Grammar) と 語彙 ③ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ②〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第6回(3 月1日） N４文法 ④ (Grammar) と 語彙 ④ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ③〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第7回(3 月 2 日） N４文法 ⑤ (Grammar) と 語彙 ⑤ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ④〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="4">ビジネスコミュニケーションのための日本語
（Japanese skills for business comunication）</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="4">品田　潤子</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="4">ビジネスの多様な場面で通用する日本語力とはどのようなものか理解し、実践的なコミュニケーション力をつけるためのタスク活動を行う。
タスク活動では、マーケティングの手法であるSWOT分析を用いて、業界分析と結果発表のシミュレーションに取り組む。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">講座スケジュール
（全２回）</td><td></td><td colspan="2">日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">2月15日</td><td>9:00～10：30</td><td>ビジネスコミュニケーションに必要な日本語力とは何か
自己の日本語力の課題分析と改善目標の設定</td></tr>
<tr><td>10：40～12：10</td><td>SWOT分析（１）　　手法の理解
業界分析に使われる日本語</td></tr>
<tr><td>13：10～14：40</td><td>SWOT分析（２）　　分析体験（グループワーク）
情報収集、情報集約、意見交換</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">2月16日</td><td>9:00～10：30</td><td>SWOT分析（３）　　発表準備（グループワーク）
情報整理、資料作成</td></tr>
<tr><td>10：40～12：10</td><td>SWOT分析（４）　　発表と質疑応答</td></tr>
<tr><td>13：10～14：40</td><td>改善目標の達成度チェック</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="4">＜ポイント付与基準＞全講座（2月15日16日、全6コマ）出席で1ポイントを付与とする。</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="4">2018年2月8日</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="4">国際棟308教室　International Center, Room308</td></tr>
<tr><td>定　員（公開用）</td><td colspan="2">25名</td><td>定員
（非公開/システム用）</td><td>40名</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="4">日本での就職を目指す全コンソーシアム加盟大学留学生
全講義日本語で行われるため、上級以上の日本語レベルを保有していることが望ましい。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="4">就活日本語支援講座</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="4">加藤　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="4">就職準備を進めている学生のための実践的な指導を行う講座。自己のキャリアパスに基づいた「伝わる」履歴書やエントリーシートの書き方の再点検、面接で適切に質問に答える練習、グループディスカッション練習などを通して、自信を持って就職活動に臨むことができる日本語の表現力を身につける。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">講座スケジュール
（全４回×２クラス）
２クラス同一内容</td><td></td><td colspan="2">日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">2月23日</td><td>8：45～10：15</td><td rowspan="2">履歴書／エントリーシート再点検
自己PR／「学生時代に頑張ったこと」は、どう書くか</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">2月26日</td><td>8：45～10：15</td><td rowspan="2">履歴書／エントリーシート再点検
キャリアパスを見直そう</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">2月27日</td><td>8：45～10：15</td><td rowspan="2">面接での日本語
履歴書やエントリーシートからみた面接の受け答え</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">2月28日</td><td>8：45～10：15</td><td rowspan="2">グループディスカッション
議論に参加する自分を客観的に観察する</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="4">＜ポイント付与基準＞3講義以上出席で1ポイントを付与とする。</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="4">平成30年2月16日（金）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="4">国際棟302教室（International Center, Room302）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="4">4名</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="4">名古屋大学の正規学生で、学部３年生以上・大学院生
また、日本語能力Ｎ２を保有しており、日本での就職活動を“強く"望む学生に限る。
（定員に達した場合、就活準備日本語講座、またはビジネスコミュニケーションのための日本語の講座を受講した学生を優先的に受講対象とする。）</td></tr>
</table>

講座タイトル	中上級日本語能力向上支援講座		
教員	①服部淳　②宗林由佳　③加藤淳 ※以下スケジュールは①の場合のもの		
講義概要	学部留学生を対象とし、学生が自らの考えを深め、明確に伝える力を身につけることを目標とした講座である。授業では、各自がテーマを選んで発表するが、テーマ選択の過程からお互いに「対話」をすることで視野を広げたり内容を深めたりする。また、対話の過程はワークシートにして振り返り、問題意識を明確にした上で議論する。これらを踏まえて、最終レポートに仕上げていく。		
講座スケジュール （全７回）		日時	内容
	1	10月25日　10：30～12：00	魅力ある「自己紹介」について考える ワークシート：いつ／どこで／誰に／何を伝えるか
	2	11月1日　10：30～12：00	「自己紹介」を振り返る ワークシート：伝わったこと／伝わらなかったこと
	3	11月8日　10：30～12：00	テーマ発表（１）テーマを決める ワークシート：何を／なぜ　取り上げたいのか
	4	11月15日　10：30～12：00	テーマ発表（２）ワークシートを読みコメント ワークシート：他者のコメントを読んでの対話活動
	5	11月22日　10：30～12：00	テーマ発表（３）発表とコメント ワークシート：発表コメントについての対話活動
	6	11月29日　10：30～12：00	テーマ発表（４）対話活動報告、議論 ワークシート：発表テーマに基づきレポートを書く
	7	12月6日　10：30～12：00	テーマ発表（５）レポートを読み合い、コメント ワークシート：コメントについての対話活動報告
備　考			
申込期限	な　し		
会　場	名古屋大学国際棟 302教室（Internatrional Center, Room302）		
定　員	各７名		
対　象	日本で就職の意志がある全名古屋大学留学生		

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">就活準備日本語講座（基礎）</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">加藤　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">「日本の企業で働く」準備のための基礎講座。履歴書やエントリーシート、面接やグループディスカッションなどの実践を通して、日本語で適切に発信するための基本的なスキルを磨く。
なお、ビジネス用語や敬語などの日本語だけでなく、基本的なビジネスマナー、信頼される所作、日本の企業文化などについても学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">講座スケジュール
（全８回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>10月21日　8：45～10：15</td><td>オリエンテーション
日本の就職活動についての情報／自己点検</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>自己紹介の仕方
自分を知る／自分を表現する／敬語／マナー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>10月28日　8：45～10：15</td><td>履歴書・エントリーシートの実践（１）
エントリーシート・履歴書の準備</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>履歴書・エントリーシートの実践（２）
エントリーシート・履歴書の作成／添削</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>11月11日　8：45～10：15</td><td>仕事の日本語（１）
問い合わせ（電話のかけ方／メールの書き方）</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>仕事の日本語（２）
面接／会社訪問（マナー、服装、所作）＋敬語</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>11月18日　8：45～10：15</td><td>仕事の日本語（３）
働く場面の日本語（ホウレンソウ／ウチソト）</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>模擬練習
面接の基礎／グループディスカッションの基礎</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 207教室（International Center, Room207）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">15名～20名程度</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本での就職を目指す全留学生</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">就活準備日本語講座（実践）</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">加藤　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">就職活動やインターンシップ参加にも配慮した、より実践的な活動を通して就職活動に必要な日本語の習得を目指す。個々人のキャリアパスを見据えてエントリーシートを書く練習や、職種・業種・企業分析の方法を学び、具体的な進路を描けるようにする。また、企業説明会や就職セミナーなど、学内外で実施されるイベントに参加できる日本語力及びコミュニケーション力も養う。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">講座スケジュール
（全８回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>11月25日　8：45～10：15</td><td>オリエンテーション／自己分析（１）
自己分析の実際：キャリアパスを考える</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>自己分析（２）
自己分析の実際：キャリアデザインを描く</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>12月2日　8：45～10：15</td><td>企業分析（１）
企業分析の必要性と進め方／業界研究・職種研究</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>企業分析（２）
企業分析の実践／企業説明会で質問をしてみよう</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>12月9日　8：45～10：15</td><td>応募書類準備（１）
エントリーシート、履歴書の作成</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>応募書類準備（２）
エントリーシート、履歴書の作成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>12月16日　8：45～10：15</td><td>マナー研修（１）
面接（個人面接・集団面接）模擬練習</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>マナー研修（２）
グループディスカッション模擬練習</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 207教室（International Center, Room207）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">15名～20名程度</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本での就職を目指す全留学生
※就活準備日本語講座（基礎）からの継続受講が望ましい。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">日本語能力試験N1　対策コース
JLPT N1　Preparation Courses</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">宗林　由佳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">日本語能力試験N1レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。
This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N1 level Japanese language skills.
授業では、日本語能力試験N1の問題形式を知り、出題傾向をつかみ、合格に求められる知識（文法・語彙・漢字等）と技能（読む・聞く技能）を身につけます。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">講座スケジュール
（全7回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>10月13日　18：15～19：45</td><td>オリエンテーション（試験の形式と内容について）練習問題①（聴解・文法）と解説
やってみよう①（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>2</td><td>10月20日　18：15～19：45</td><td>練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう②（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>10月27日　18：15～19：45</td><td>練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう③（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>11月10日　18：15～19：45</td><td>練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう④（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>11月17日　18：15～19：45</td><td>練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑤（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>6</td><td>11月24日　18：15～19：45</td><td>練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑥（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>7</td><td>12月1日　18：15～19：45</td><td>練習問題⑦（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑦（文字・語彙）</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 207教室（International Center, Room207）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">な　し
※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。
（Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本語能力試験N1の取得を目指す全留学生</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">日本語能力試験N5・N4　対策コース
JLPT N5・N4　Preparation Courses</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">宗林　由佳、　服部　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">日本語能力試験N5・N4レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。
This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N5・N4 level Japanese language skills.</td></tr>
<tr><td rowspan="8">講座スケジュール
（全7回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>9月11日　10：30～12：00</td><td>N5実力試験①と試験解説</td></tr>
<tr><td>2</td><td>9月12日　10：30～12：00</td><td>N5実力試験②と試験解説</td></tr>
<tr><td>3</td><td>9月13日　10：30～12：00</td><td>N4文法①と語彙①
練習問題①（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>4</td><td>9月14日　10：30～12：00</td><td>N4文法②と語彙②
課題問題①（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>5</td><td>9月15日　10：30～12：00</td><td>N4文法③と語彙③
課題問題②（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>6</td><td>9月19日　10：30～12：00</td><td>N4文法④と語彙④
課題問題③（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>7</td><td>9月20日　10：30～12：00</td><td>N4文法⑤と語彙⑤
課題問題④（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">登録方法については別紙参照</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 308教室（International Center, Room308）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">な　し
※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。
（Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本語能力試験N5・N4の取得を目指す全留学生</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">日本語能力試験N4　対策コース
JLPT N4　Preparation Courses</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">宗林　由佳、　服部　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">日本語能力試験N4レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。
This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N4 level Japanese language skills.</td></tr>
<tr><td rowspan="8">講座スケジュール
（全7回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>9月21日　10：30～12：00</td><td>N4 文法①と 語彙①
練習問題（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>2</td><td>9月22日　10：30～12：00</td><td>N4 文法②と 語彙②
課題問題①（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>3</td><td>9月25日　10：30～12：00</td><td>N4 文法③と 語彙③
課題問題②（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>4</td><td>9月26日　10：30～12：00</td><td>N4 文法④と 語彙④
課題問題③（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>5</td><td>9月27日　10：30～12：00</td><td>N4 文法⑤と 語彙⑤
課題問題④（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>6</td><td>9月28日　10：30～12：00</td><td>N4 文法⑥と 語彙⑥
課題問題⑤（語彙・文法・聴解）の解説</td></tr>
<tr><td>7</td><td>9月29日　10：30～12：00</td><td>模擬試験</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">登録方法については別紙参照</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 308教室（International Center, Room308）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">な　し
※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期締め切る場合もあります。
（Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本語能力試験N4の取得を目指す全留学生</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">日本語能力試験N1　対策コース
JLPT N1　Preparation Courses</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">宗林　由佳、　服部　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">日本語能力試験N1レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。
This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N1 level Japanese language skills.</td></tr>
<tr><td rowspan="8">講座スケジュール
（全7回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>9月12日　8：45～10：15</td><td>文法①と 語彙①
練習（聴解・読解）と問題解説</td></tr>
<tr><td>2</td><td>9月13日　8：45～10：15</td><td>文法②と 語彙②
課題問題①（語彙・文法・聴解・読解）の解説</td></tr>
<tr><td>3</td><td>9月14日　8：45～10：15</td><td>文法③と 語彙③
課題問題②（語彙・文法・聴解・読解）の解説</td></tr>
<tr><td>4</td><td>9月15日　8：45～10：15</td><td>文法④と 語彙④
課題問題③（語彙・文法・聴解・読解）の解説</td></tr>
<tr><td>5</td><td>9月19日　8：45～10：15</td><td>文法⑤と 語彙⑤
課題問題④（語彙・文法・聴解・読解）の解説</td></tr>
<tr><td>6</td><td>9月20日　8：45～10：15</td><td>文法⑥と 語彙⑥
課題問題⑤（語彙・文法・聴解・読解）の解説</td></tr>
<tr><td>7</td><td>9月21日　8：45～10：15</td><td>文法⑦と 語彙⑦
実践練習と解説</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">登録方法については別紙参照</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 308教室（International Center, Room308）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">な　し
※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。
（Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本語能力試験N1の取得を目指す全留学生</td></tr>
</table>

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	日本語資格用講座1 JLPT N4　Preparation Courses	
教員	橋本慎吾（コーディネーター）	
講義概要		日本語能力試験N4レベルの日本語スキルを身につけることを目標 This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N4 level Japanese language skills.
講座スケジュール （全7回）		内容
	1	N4文法①
	2	N4文法②
	3	N4文法③
	4	N4文法④
	5	N4文法⑤
	6	N4文法⑥
	7	N4文法⑦
対　象		日本語能力試験N4の取得を目指す全留学生

講座タイトル	日本語資格用講座2 JLPT N2　Preparation Courses	
講義概要		日本語能力試験N2レベルの日本語スキルを身につけることを目標とする This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N2 level Japanese language skills.
講座スケジュール （全7回）		内容
	1	N2文法①
	2	N2文法②
	3	N2文法③
	4	N2文法④
	5	N2文法⑤
	6	N2文法⑥
	7	N2文法⑦
対　象		日本語能力試験N2の取得を目指す全留学生

講座タイトル	キャリア日本語講座1 Career Japanese Course 1	
講義概要		日本語口頭表現スキルを身につけることを目標とする
講座スケジュール （全7回）		内容
	1	口頭表現①
	2	口頭表現②
	3	口頭表現③
	4	口頭表現④
	5	口頭表現⑤
	6	口頭表現⑥
	7	口頭表現⑦
対　象		全留学生（日本語能力試験Ｎ１相当レベル）

講座タイトル	キャリア日本語講座2 Career Japanese Course 2	
講義概要		日本語口頭表現スキルを身につけることを目標とする
講座スケジュール （全7回）		内容
	1	口頭表現①
	2	口頭表現②
	3	口頭表現③
	4	口頭表現④
	5	口頭表現⑤
	6	口頭表現⑥
	7	口頭表現⑦
対　象		全留学生（日本語能力試験Ｎ１相当レベル）

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	文字		
教員	松野　美海		
講義概要	ひらがな、カタカナ、漢字の読み書き習得		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月4日　13：00～14：30	ひらがな、かたかな
	2	10月11日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第1、2課
	3	10月18日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第3、4課
	4	10月25日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第5課
	5	11月8日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第6、7課
	6	11月15日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第8、9課
	7	11月22日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第10課
	8	11月29日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第11、12課
	9	12月6日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第13、14課
	10	12月13日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第15課
	11	12月20日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第16、17課
	12	1月10日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第18、19課
	13	1月17日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第20課
	14	1月24日　13：00～14：30	Basic Kanji Book vol.1 第21、22課
	15	1月31日　13：00～14：30	修了テスト
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：日本語かな入門・Basic Kanji Book Vol.1		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	初級Ⅰa		
教員	李　芝賢		
講義概要	基本的な文法を応用した会話力の獲得		
講座スケジュール （全15回）		日時	内容
	1	10月10日　8：50～10：20	名詞文
	2	10月17日　8：50～10：20	時間の言い方
	3	10月24日　8：50～10：20	動詞文
	4	10月31日　8：50～10：20	形容詞
	5	11月7日　8：50～10：20	存在表現
	6	11月14日　8：50～10：20	復習
	7	11月21日　8：50～10：20	過去形
	8	11月28日　8：50～10：20	～てください
	9	12月5日　8：50～10：20	～してから
	10	12月12日　8：50～10：20	名詞句
	11	12月19日　8：50～10：20	復習
	12	1月9日　8：50～10：20	普通形
	13	1月16日　8：50～10：20	連体形
	14	1月23日　8：50～10：20	くれます、～てあげます、もらいます、くれます
	15	1月30日　8：50～10：20	復習
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語初級Ⅰ本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	初級Ⅰb		
教員	李　芝賢		
講義概要	基本的な文法を応用した会話力の獲得		
講座スケジュール （全15回）		日時	内容
	1	10月4日　8：50～10：20	自己紹介
	2	10月11日　8：50～10：20	場所表現
	3	10月18日　8：50～10：20	～へ行きます/来ます
	4	10月25日　8：50～10：20	～にあげます/もらいます
	5	11月8日　8：50～10：20	～がわかります/好きです/嫌いです
	6	11月15日　8：50～10：20	復習
	7	11月22日　8：50～10：20	ものの数え方
	8	11月29日　8：50～10：20	～が欲しいです/したいです
	9	12月6日　8：50～10：20	動詞のて形
	10	12月13日　8：50～10：20	動詞のない形/～ないでください
	11	12月20日　8：50～10：20	動詞のた形
	12	1月10日　8：50～10：20	間接話法
	13	1月17日　8：50～10：20	～と
	14	1月24日　8：50～10：20	条件表現
	15	1月31日　8：50～10：20	修了テスト
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語初級Ⅰ　本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	初級Ⅱa		
教員	山本　百合子		
講義概要	初級前半を修了した学習者（日本語を150時間程度学習し、漢字100字程度と語彙800語程度習得）が対象		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月10日　14：40～16：10	Lesson 26「ごみは、どこに出したらいいですか」
	2	10月17日　14：40～16：10	Lesson 28「出張も多いし、試験もあるし」
	3	10月24日　14：40～16：10	Lesson 30「非常袋を準備しておかないと」
	4	10月31日　14：40～16：10	Lesson 31「料理を習おうと思っています」
	5	11月7日　14：40～16：10	Lesson 33「これはどうい意味ですか」
	6	11月14日　14：40～16：10	Lesson 35「どこかいい所、ありませんか」
	7	11月21日　14：40～16：10	Lesson 36「毎日運動するようにしています」
	8	11月28日　14：40～16：10	Lesson 38「片づけるのが好きなんです」
	9	12月5日　14：40～16：10	Lesson 40「友達ができたかどうか、心配です」
	10	12月12日　14：40～16：10	Lesson 41「ご結婚おめでとうございます」
	11	12月19日　14：40～16：10	Lesson 43「毎日楽しそうです」
	12	1月9日　14：40～16：10	Lesson 45「コースをまちがえた場合は、どうしたらいいですか」
	13	1月16日　14：40～16：10	Lesson 46「先週直してもらったばかりなのに、また…」
	14	1月23日　14：40～16：10	Lesson 48「休ませていただけませんか」
	15	1月30日　14：40～16：10	Lesson 50「心から感謝いたします」
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語初級Ⅱ　本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	初級Ⅱb		
教員	山本　百合子		
講義概要	初級前半を修了した学習者（日本語を150時間程度学習し、漢字100字程度と語彙800語程度習得）が対象		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月4日　14：40～16：10	Lesson 27「なんでも作れるんですね」
	2	10月11日　14：40～16：10	Lesson 29「忘れ物をしてしまったんです」
	3	10月18日　14：40～16：10	復習L26～L30
	4	10月25日　14：40～16：10	Lesson 32「無理をしないほうがいいですよ」
	5	11月8日　14：40～16：10	Lesson 34「わたしがしたとおりにしてください」
	6	11月15日　14：40～16：10	復習L31～L35
	7	11月22日　14：40～16：10	Lesson 37「金閣寺は14世紀に建てられました」
	8	11月29日　14：40～16：10	Lesson 39「遅れてすいません」
	9	12月6日　14：40～16：10	復習、中間テスト
	10	12月13日　14：40～16：10	Lesson 42「ボーナスは何に使いますか」
	11	12月20日　14：40～16：10	Lesson 44「この写真みたいにしてください」
	12	1月10日　14：40～16：10	復習L41～L45
	13	1月17日　14：40～16：10	Lesson 47「婚約したそうです」
	14	1月24日　14：40～16：10	Lesson 49「よろしくお伝えください」
	15	1月31日　14：40～16：10	修了テスト
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語初級Ⅱ　本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	中級Ⅰa		
教員	新實　葉子		
講義概要	この授業の目的は、初級の勉強をしたけれどまだ日本語を上手に話せない人を対象として、初級で勉強したことを復習しながら中級レベルのことばや文法を身につけることです。具体的な目標は初級レベルの文法・語彙を使ってスムーズな会話ができるようになること、中級レベル文法・語彙を覚えて会話の中で使えるようになることを目指す。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月16日　14：40～16：10	第１課「お願いがあるんですが」「畳」
	2	10月23日　14：40～16：10	第２課「何のことですか」「外来語」
	3	10月30日　14：40～16：10	第３課「遅れそうなんです」「時間よ、止まれ！」
	4	11月6日　14：40～16：10	第４課「伝言、お願いできますか」「電話嫌い」
	5	11月13日　14：40～16：10	復習テスト・解説
	6	11月20日　14：40～16：10	第５課「どう行ったらいいでしょうか」「地図」
	7	11月27日　14：40～16：10	第６課「行かせていただいたんですが」「メンタルトレーニング中」
	8	12月4日　14：40～16：10	第７課「楽しみにしています・遠慮させてください」「まんじゅう、怖い」
	9	12月11日　14：40～16：10	第８課「迷子になっちゃたんです」「科学者ってどう見える？」
	10	12月18日　14：40～16：10	復習テスト・解説
	11	1月15日　14：40～16：10	第９課「どこが違うんですか？」「カラオケ」
	12	1月22日　14：40～16：10	第１０課「そんなはずはありいません」「記憶型と注意型」
	13	1月29日　14：40～16：10	第１１課「お勧めのところ、ありませんか」「白川郷の黄金伝説」
	14	2月5日　14：40～16：10	第１２課「ご迷惑をかけてすみせんでした」「座談会日本で暮らす」
	15	2月8日　14：40～16：10	期末テスト・解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語中級Ⅰ　本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	中級Ⅰb		
教員	新實　葉子		
講義概要	この授業の目的は、初級の勉強をしたけれどまだ日本語を上手に話せない人を対象として、初級で勉強したことを復習しながら中級レベルのことばや文法を身につけることです。具体的な目標は初級レベルの文法・語彙を使ってスムーズな会話ができるようになること、中級レベル文法・語彙を覚えて会話の中で使えるようになることを目指す。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月5日　14：40～16：10	第１課「お願いがあるんですが」「畳」
	2	10月12日　14：40～16：10	第２課「何のことですか」「外来語」
	3	10月19日　14：40～16：10	第３課「遅れそうなんです」「時間よ、止まれ！」
	4	10月26日　14：40～16：10	第４課「伝言、お願いできますか」「電話嫌い」
	5	11月2日　14：40～16：10	復習テスト・解説
	6	11月9日　14：40～16：10	第５課「どう行ったらいいでしょうか」「地図」
	7	11月16日　14：40～16：10	第６課「行かせていただいたんですが」「メンタルトレーニング中」
	8	11月30日　14：40～16：10	第７課「楽しみにしています・遠慮させてください」「まんじゅう、怖い」
	9	12月7日　14：40～16：10	第８課「迷子になっちゃたんです」「科学者ってどう見える？」
	10	12月14日　14：40～16：10	復習テスト・解説
	11	12月21日　14：40～16：10	第９課「どこが違うんですか？」「カラオケ」
	12	1月11日　14：40～16：10	第１０課「そんなはずはありいません」「記憶型と注意型」
	13	1月18日　14：40～16：10	第１１課「お勧めのところ、ありませんか」「白川郷の黄金伝説」
	14	1月25日　14：40～16：10	第１２課「ご迷惑をかけてすみせんでした」「座談会日本で暮らす」
	15	2月1日　14：40～16：10	期末テスト・解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語中級Ⅰ本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	中級Ⅱa		
教員	小室　輝代		
講義概要	この授業の目的は、初級の勉強をしたけれどまだ日本語を上手に話せない人を対象として、初級で勉強したことを復習しながら中級レベルのことばや文法を身につけることです。具体的な目標は初級レベルの文法・語彙を使ってスムーズな会話ができるようになること、中級レベル文法・語彙を覚えて会話の中で使えるようになることを目指す。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月16日　14：40～16：10	第１３課
	2	10月23日　14：40～16：10	第１４課
	3	10月30日　14：40～16：10	第１５課
	4	11月6日　14：40～16：10	第１６課
	5	11月13日　14：40～16：10	第１３課～第１６課　まとめのテスト
	6	11月20日　14：40～16：10	第１７課
	7	11月27日　14：40～16：10	第１８課
	8	12月4日　14：40～16：10	第１９課
	9	12月11日　14：40～16：10	第２０課
	10	12月18日　14：40～16：10	第１７課～第２０課　まとめのテスト
	11	1月15日　14：40～16：10	第２１課
	12	1月22日　14：40～16：10	第２２課
	13	1月29日　14：40～16：10	第２３課
	14	2月5日　14：40～16：10	第２４課
	15	2月8日　14：40～16：10	期末テスト・解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語中級Ⅱ　本冊		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	中級Ⅱb		
教員	小室　輝代		
講義概要	この授業の目的は、初級の勉強をしたけれどまだ日本語を上手に話せない人を対象として、初級で勉強したことを復習しながら中級レベルのことばや文法を身につけることです。具体的な目標は初級レベルの文法・語彙を使ってスムーズな会話ができるようになること、中級レベル文法・語彙を覚えて会話の中で使えるようになることを目指す。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月5日　14：40～16：10	第１３課
	2	10月12日　14：40～16：10	第１４課
	3	10月19日　14：40～16：10	第１５課
	4	10月26日　14：40～16：10	第１６課
	5	11月2日　14：40～16：10	第１３課～第１６課　まとめのテスト
	6	11月9日　14：40～16：10	第１７課
	7	11月16日　14：40～16：10	第１８課
	8	11月30日　14：40～16：10	第１９課
	9	12月7日　14：40～16：10	第２０課
	10	12月14日　14：40～16：10	第１７課～第２０課　まとめのテスト
	11	12月21日　14：40～16：10	第２１課
	12	1月11日　14：40～16：10	第２２課
	13	1月18日　14：40～16：10	第２３課
	14	1月25日　14：40～16：10	第２４課
	15	2月1日　14：40～16：10	期末テスト・解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：みんなの日本語　中級Ⅰ		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	N3級a		
教員	伊藤　亜希子		
講義概要	この授業の目標は、日常的な場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることです。日本語能力試験N３合格をめざします。初級の勉強が終わった人のレベルです。この授業では、語彙・聴解を勉強します。文法・読解についてはN3級bで勉強しますので、両方受けると効果的です。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月16日　14：40～16：10	オリエンテーション・レベルチェック
	2	10月23日　14：40～16：10	聴解①　聞き取りの練習
	3	10月30日　14：40～16：10	語彙①
	4	11月6日　14：40～16：10	聴解②　何と言いますか：発話表現
	5	11月13日　14：40～16：10	語彙②
	6	11月20日　14：40～16：10	聴解③　何をするか理解する：課題理解
	7	11月21日　14：40～16：10	語彙③
	8	11月27日　14：40～16：10	聴解④　ポイントを理解する：ポイント理解
	9	12月1日　14：40～16：10	語彙④
	10	12月4日　14：40～16：10	聴解⑤　表現・返事の仕方：即時応答
	11	12月11日　14：40～16：10	語彙⑤
	12	12月18日　14：40～16：10	聴解⑥　どのような話か理解する：概要理解
	13	1月15日　14：40～16：10	語彙⑥
	14	1月22日　14：40～16：10	修了テスト
	15	1月29日　14：40～16：10	説明
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：プリント		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	N3級b		
教員	伊藤　亜希子		
講義概要	この授業の目標は、日常的な場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることです。日本語能力試験N３合格をめざします。初級の勉強が終わった人のレベルです。この授業では、文法・読解を勉強します。聴解・語彙についてはN3級aで勉強しますので、両方受けると効果的です。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月10日　13：00～14：30	オリエンテーション・レベルチェック
	2	10月17日　13：00～14：30	読解①　お知らせ・案内を読む
	3	10月24日　13：00～14：30	文法①
	4	10月31日　13：00～14：30	読解②　通信文を読む
	5	11月7日　13：00～14：30	文法②
	6	11月14日　13：00～14：30	読解③　内容理解（短文）
	7	11月21日　13：00～14：30	文法③
	8	11月28日　13：00～14：30	読解④　内容理解（中文）
	9	12月5日　13：00～14：30	文法④
	10	12月12日　13：00～14：30	読解⑤　内容理解（長文）
	11	12月19日　13：00～14：30	文法⑤
	12	1月9日　13：00～14：30	読解⑥　情報検索
	13	1月16日　13：00～14：30	文法⑥
	14	1月23日　13：00～14：30	修了テスト
	15	1月30日　13：00～14：30	解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：プリント		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	N2級a		
教員	李　芝賢		
講義概要	幅広い場面で用いられる日本語を理解できるようになることを目標とする。文法表現や言い回し、語彙の習得を通して最終的には日本語能力試験2級程度に相当する日本語能力を身につけることを目指す		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月10日　10：30～12：00	オリエンテーション・レベルチェック
	2	10月17日　10：30～12：00	文法①
	3	10月24日　10：30～12：00	読解①（身の回りの文書）
	4	10月31日　10：30～12：00	文法②
	5	11月7日　10：30～12：00	読解②（お知らせ・通知）
	6	11月14日　10：30～12：00	文法③
	7	11月21日　10：30～12：00	読解③（意見文・説明文）
	8	11月28日　10：30～12：00	文法④
	9	12月5日　10：30～12：00	読解④（エッセイ・小説）
	10	12月12日　10：30～12：00	文法⑤
	11	12月19日　10：30～12：00	読解⑤（新聞）
	12	1月9日　10：30～12：00	文法⑥
	13	1月16日　10：30～12：00	読解⑥（論説文）
	14	1月23日　10：30～12：00	期末テスト
	15	1月30日　10：30～12：00	期末テスト解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	N2級b		
教員	松野　美海		
講義概要	この授業の目標は、日常的な場面で使われる日本語に加え、幅広い場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることである。日本語能力試験N2合格をめざす。この授業では、主に語彙・聴解について学習する。文法・読解についてはN2aで扱うので、合わせて受講すればより効果的である。		
講座スケジュール （全15回）		日時	内容
	1	10月4日　10：30～12：00	オリエンテーション、聴解①、間違えやすい音、音の変化
	2	10月11日　10：30～12：00	語彙①
	3	10月18日　10：30～12：00	聴解②　語彙・表現を聞き取る（1）
	4	10月25日　10：30～12：00	語彙②
	5	11月8日　10：30～12：00	聴解③　語彙・表現を聞き取る（2）：即時応答
	6	11月15日　10：30～12：00	語彙③
	7	11月22日　10：30～12：00	中間テスト
	8	11月29日　10：30～12：00	聴解④　何をするか理解する、主張を理解する
	9	12月6日　10：30～12：00	語彙④
	10	12月13日　10：30～12：00	聴解⑤　どのような話か理解する
	11	12月20日　10：30～12：00	語彙⑤
	12	1月10日　10：30～12：00	聴解⑥　統合理解
	13	1月17日　10：30～12：00	語彙⑥
	14	1月24日　10：30～12：00	修了テスト
	15	1月31日　10：30～12：00	フィードバック、復習
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：プリント		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	N1級a		
教員	伊藤　亜希子		
講義概要	日本語能力試験N1合格を目指して、問題演習を中心に実践力を養う。N1の認定基準は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと、つまり、高度の文法・感じ・語彙を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力を持つこととされている。普段の会話で使っている以上の、大学における学習・研究の基盤としても役立つようなレベルの日本語能力が求められることになる。こと授業では、主に文字・語彙・聴解についてN1レベルの日本語能力の育成を行う。文法・読解については日本語能力試験N1級ｂで扱うので、合わせて受講すれば効果的である。		
講座スケジュール （全15回）		日時	内容
	1	10月16日　8：50～10：20	オリエンテーション・レベルチェック
	2	10月23日　8：50～10：20	聴解①（課題理解）
	3	10月30日　8：50～10：20	聴解②（ポイント理解）
	4	11月6日　8：50～10：20	聴解③（概要理解）
	5	11月13日　8：50～10：20	聴解④（即時応答）
	6	11月20日　8：50～10：20	聴解⑤（統合理解）
	7	11月21日　8：50～10：20	文字・語彙①（性格・気持ち・動作などを表す言葉）
	8	11月27日　8：50～10：20	文字・語彙②（様子・程度などを表す言葉）
	9	12月1日　8：50～10：20	文字・語彙③（副詞）
	10	12月4日　8：50～10：20	文字・語彙④（初級漢字の語彙）
	11	12月11日　8：50～10：20	文字・語彙⑤（中級漢字の語彙）
	12	12月18日　8：50～10：20	文字・語彙⑥（意味が多い言葉）
	13	1月15日　8：50～10：20	文字・語彙⑦（カタカナ語・組み合わせの言葉）
	14	1月22日　8：50～10：20	修了テスト
	15	1月29日　8：50～10：20	解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：プリント		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	N1級b		
教員	伊藤　亜希子		
講義概要	日本語能力試験N1合格を目指して、問題演習を中心に実践力を養う。N1の認定基準は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと、つまり、高度の文法・感じ・語彙を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力を持つこととされている。普段の会話で使っている以上の、大学における学習・研究の基盤としても役立つようなレベルの日本語能力が求められることになる。こと授業では、主に文字・語彙・聴解についてN1レベルの日本語能力の育成を行う。文法・読解については日本語能力試験N1級ｂで扱うので、合わせて受講すれば効果的である。		
講座スケジュール （全15回）		日時	内容
	1	10月10日　14：40～16：10	オリエンテーション・レベルチェック
	2	10月17日　14：40～16：10	文法①（～こそすれ・～ものとして・～ことだから）
	3	10月24日　14：40～16：10	文法②（～なりに・どんなに～うが・～か～まいか）
	4	10月31日　14：40～16：10	文法③（～までも・～を限りに・～といえども）
	5	11月7日　14：40～16：10	文法④（～ものを・～ですら・～ぐるみ）
	6	11月14日　14：40～16：10	文法⑤（～ではすまない・～そうもない・～ごとく）
	7	11月21日　14：40～16：10	文法⑥（～に即して・～つもりで・～ながらも）
	8	11月28日　14：40～16：10	文法⑦（～だに・～ぶり・～に堪えない）
	9	12月5日　14：40～16：10	読解①（内容理解）（短文・中文）
	10	12月12日　14：40～16：10	読解②（内容理解）（長文）
	11	12月19日　14：40～16：10	読解③（統合理解）
	12	1月9日　14：40～16：10	読解④（主張理解）（長文）
	13	1月16日　14：40～16：10	読解⑤（情報検索）
	14	1月23日　14：40～16：10	修了テスト
	15	1月30日　14：40～16：10	解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：プリント		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館219教室（Bldg.19, Room 219）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	ビジネス日本語（読）		
教員	新實　葉子		
講義概要	就職活動するための日本語、就職後のビジネス活動を行うための日本語の読解力を身につける。社会問題等に関する新聞記事やビジネス雑誌の記事などを読み、内容を正しく理解する。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月5日　13：00〜14：30	現在のレベルチェック、自分のレベルの把握
	2	10月12日　13：00〜14：30	新聞を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	3	10月19日　13：00〜14：30	新聞を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	4	10月26日　13：00〜14：30	新聞を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	5	11月2日　13：00〜14：30	雑誌を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	6	11月9日　13：00〜14：30	雑誌を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	7	11月16日　13：00〜14：30	雑誌を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	8	11月30日　13：00〜14：30	雑誌を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
	9	12月7日　13：00〜14：30	メモを取る練習
	10	12月14日　13：00〜14：30	関連資料を読み取る 1
	11	12月21日　13：00〜14：30	関連資料を読み取る 2
	12	1月11日　13：00〜14：30	情報を読み取る 1
	13	1月18日　13：00〜14：30	情報を読み取る 2
	14	1月25日　13：00〜14：30	情報を読み取る 3
	15	2月1日　13：00〜14：30	最終レベルチェック
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名〜20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	ビジネス日本語（書）		
教員	山本　百合子		
講義概要	この授業は、さまざまなビジネス場面において必要とされる、日本語を「書く」能力の基礎を見につけ、ビジネス定型文からまとまりのある長文へと練習を積み上げることで、最終的には各種ビジネス文書が作成できることを目標とする。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月10日　13：00〜14：30	オリエンテーション、レベルチェック
	2	10月17日　13：00〜14：30	表記・待遇表現
	3	10月24日　13：00〜14：30	三段論法１
	4	10月31日　13：00〜14：30	三段論法２
	5	11月7日　13：00〜14：30	正しい構造の文
	6	11月14日　13：00〜14：30	箇条書き
	7	11月21日　13：00〜14：30	文のつながり
	8	11月28日　13：00〜14：30	客観的に書く
	9	12月5日　13：00〜14：30	説明文を書く
	10	12月12日　13：00〜14：30	意見文を書く
	11	12月19日　13：00〜14：30	要約文を書く
	12	1月9日　13：00〜14：30	社外文書の書き方１
	13	1月16日　13：00〜14：30	社外文書の書き方２
	14	1月23日　13：00〜14：30	社外文書の書き方３
	15	1月30日　13：00〜14：30	総まとめ・修了テスト
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名〜20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	ビジネス日本語（話）		
教員	小室　輝代		
講義概要	日本語での就職活動や日本で実際に働くための、ビジネス日本語会話を勉強するクラスです。また、日本語での会話だけではなく、日本のビジネス現場での常識や習慣など学びます。実際の教室活動は、ビジネス語彙の習得と敬語を使った会話練習などを行います。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月16日　13：00～14：30	日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー①
	2	10月23日　13：00～14：30	日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー②
	3	10月30日　13：00～14：30	日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー③
	4	11月6日　13：00～14：30	電話対応、伝言メモ①
	5	11月13日　13：00～14：30	電話対応、伝言メモ②
	6	11月20日　13：00～14：30	電話対応、伝言メモ③
	7	11月21日　13：00～14：30	ビジネスメール
	8	11月27日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　アポイントを取る
	9	12月4日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　アポイントを変更する
	10	12月11日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　正式に挨拶する・名刺交換①
	11	12月18日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　正式に挨拶する・名刺交換②
	12	1月15日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　会議に参加する
	13	1月22日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　クレームを受ける・お詫びをする①
	14	1月29日　13：00～14：30	基本的なビジネス日本語　クレームを受ける・お詫びをする②
	15	2月5日　13：00～14：30	まとめとテスト・解説
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	ビジネス日本語（聞）		
教員	川口　直巳		
講義概要	就職活動するための日本語、就職後のビジネス活動を行うための日本語力を身につけます。DVD（実際のビジネスマンの仕事に対しての考え方や信念などが録画されたもの）を視聴し、日本語を聞き取るだけでなく、仕事に対する考えや思いについてどのような日本語で語られているかを知ります。また、実際のビジネスマンへのインタビューテープを聞き、内容を理解します。日本語を聞くだけではなく、それを自分でも使えるようになることを目標とします。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月16日　10：30〜12：00	オリエンテーション、自分の現在の日本語力について
	2	10月23日　10：30〜12：00	メモを取る練習１
	3	10月30日　10：30〜12：00	DVD視聴（メモを取る練習２）
	4	11月6日　10：30〜12：00	DVD視聴（メモを取る練習３）
	5	11月13日　10：30〜12：00	ロールプレイ
	6	11月20日　10：30〜12：00	ロールプレイ
	7	11月21日　10：30〜12：00	DVD視聴（内容確認）
	8	11月27日　10：30〜12：00	DVD視聴（感想を発表）
	9	12月4日　10：30〜12：00	企業へのインタビューを聞く①（内容確認）
	10	12月11日　10：30〜12：00	企業へのインタビューを聞く②（内容確認）
	11	12月18日　10：30〜12：00	企業へのインタビューを聞く③（発表：感想を企業が求めている人材について）
	12	1月15日　10：30〜12：00	DVD視聴（内容確認）
	13	1月22日　10：30〜12：00	DVD視聴（内容確認、感想を発表）
	14	1月29日　10：30〜12：00	まとめとテスト（個別に）
	15	2月5日　10：30〜12：00	まとめとテスト（個別に）
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする 使用教科書：プリント		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名〜20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	就活日本語１		
教員	李　芝賢		
講義概要	各受講者のレベル・目的・目標に応じ、個別あるいは少人数での指導を行うことで、日本語のブラッシュアップを図る。		
講座スケジュール（全15回）		日時	内容
	1	10月4日　10：30～12：00	日本語表現の基礎
	2	10月11日　10：30～12：00	日本語表現の基礎
	3	10月18日　10：30～12：00	日本語表現の基礎
	4	10月25日　10：30～12：00	日本語表現の基礎
	5	11月8日　10：30～12：00	日本語表現の基礎
	6	11月15日　10：30～12：00	表現力ブラッシュアップ
	7	11月22日　10：30～12：00	表現力ブラッシュアップ
	8	11月29日　10：30～12：00	表現力ブラッシュアップ
	9	12月6日　10：30～12：00	表現力ブラッシュアップ
	10	12月13日　10：30～12：00	表現力ブラッシュアップ
	11	12月20日　10：30～12：00	実際の場面で役立つ日本語
	12	1月10日　10：30～12：00	実際の場面で役立つ日本語
	13	1月17日　10：30～12：00	実際の場面で役立つ日本語
	14	1月24日　10：30～12：00	実際の場面で役立つ日本語
	15	1月31日　10：30～12：00	実際の場面で役立つ日本語
備　考	レベルや内容により、個別あるいは少人数の指導をします。受講者は、教えてほしい問題や添削してほしいものを自分で持ってきてください。		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	15名～20名程度		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	就活日本語２		
教員	小室　輝代		
講義概要	各受講者のレベル・目的・目標に応じ、個別あるいは少人数での指導を行うことで、日本語のブラッシュアップを図る。		
講座スケジュール（全10回）		日時	内容
	1	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	2	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	3	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	4	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	5	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	6	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	7	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	8	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	9	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	10	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	10名以内		
対　象	全留学生、特にインターンシップ・就職活動を行う者。		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	フォローアップ日本語１（集中）		
教員	山本　百合子		
講義概要	各受講者のレベル・目的・目標に応じ、個別あるいは少人数での指導を行う。特に、後期授業期間中に習得できなかった内容を集中的に学ぶ。		
講座スケジュール（全10回）		日時	内容
	1	2月6日　８：50～16：10	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	2	2月7日　８：50～16：10	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	3	２月中　２回分未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする。		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	10名以内		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	フォローアップ日本語２（集中）		
教員	山本　百合子		
講義概要	各受講者のレベル・目的・目標に応じ、個別あるいは少人数での指導を行う。特に、後期授業期間中に習得できなかった内容を集中的に学ぶ。		
講座スケジュール（全10回）		日時	内容
	1	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	2	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	3	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	4	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	5	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	6	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	7	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	8	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	9	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	10	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	10名以内		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	フォローアップ日本語３（集中）		
教員	新實　葉子		
講義概要	各受講者のレベル・目的・目標に応じ、個別あるいは少人数での指導を行う。特に、後期授業期間中に習得できなかった内容を集中的に学ぶ。		
講座スケジュール（全10回）		日時	内容
	1	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	2	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	3	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	4	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	5	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	6	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	7	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	8	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	9	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	10	３月　未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	10名以内		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	フォローアップ日本語4（集中）		
教員	伊藤　亜希子		
講義概要	各受講者のレベル・目的・目標に応じ、個別あるいは少人数での指導を行う。特に、後期授業期間中に習得できなかった内容を集中的に学ぶ。		
講座スケジュール（全10回）		日時	内容
	1	2月6日　８：50～16：10	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	2	2月7日　８：50～16：10	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	3	２月中　２回分未定	受講者の希望に応じ、少人数指導を行う。
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
備　考	本学所定のプレイスメントテスト受験のうえ、受講開始とする		
申込期限	10月2日（月）		
会　場	名古屋工業大学19号館213教室（Bldg.19, Room 213）		
定　員	10名以内		
対　象	全留学生		

留学生就職促進プログラム　シラバス

講座番号1―①　《科目名》　**就活日本語講座**

《講師》　張　清敬

《開講曜日・時限》　木曜日・３時限

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－412教室

《授業の概要と目的》　就活時に必要な日本語をシーン毎に相応しい行動と共に学ぶ。

《到達目標》　企業訪問、応募書類、面接など、応募企業へのアプローチが不安なくできるようにする

《授業計画》

	実施日	項目	内容
1	9月 28日(木)	説明・発表スキル	分かりやすく説明をすること。相手との関係を考慮した表現
2	10月 5日(木)	質問	短い時間での意思伝達。問題意識等要点の明確化
3	10月1 2日(木)	相手や場面に応じた表現	相手を敬う表現や丁寧な表現と自己を素直に表現する方法
4	10月1 9日(木)	面接や訪問などの場面に応じた自己紹介	名刺の受け渡し、自己紹介・他者紹介時等の日本語と行動
5	11月 9日(木)	場面に応じた挨拶	挨拶時の日本語及び注意点
6	11月 16日(木)	電話応対の仕方及びルール	電話でできることできないことと電話時の決まり文句
7	11月 23日(木)	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の仕方及びタイミング
8	11月 30日(木)	ビジネス文書・メールの表現	書き言葉と話し言葉の違い、常套句等
9	12月 14日(木)	依頼する・断る	緊張を伴う企業への依頼・断りを行うときの言葉使い
10	12月 21日(木)	許可をもらう	当事者のみでなく関係者への配慮・気配り及びその時の言葉
11	1月 11日(木)	アポイントを取る・約束を変更する	時間厳守や約束事の重要性とその変更を依頼するときの言葉
12	2月 15日(木)	訪問する	訪問時のマナーと各シーンでの常套句

《授業方法の形式》　講義。シンポジウムは講演及び座談会。

《受講生へのメッセージ》　外国人が陥りやすい間違いを就活シーンごとに拾っています。コミュニケーションを行う際の不安をなくし、自己表現が生き生きとできることを目指しています。

留学生就職促進プログラム　シラバス

講座番号1—②　《科目名》　**ビジネス日本語講座**

《講師》　向井 淑子

《開講曜日・時限》　木曜日・５時限

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－412教室

《授業の概要と目的》　日本語を用いたビジネス・就職などを行う際に必要とされる日本語能力を身につける。特に口頭表現について練習する。

《到達目標》　ビジネスの場面で使う日本語を学ぶ。具体的には、敬語等の待遇表現やそれにまつわるイントネーション、語彙・表現などを身につけ、円滑なコミュニケーションが行えるようにすることを目標とする。

《授業計画》

	実施日	項目	内容
1	9月28日(木)	オリエンテーション 「紹介する」①	入社、他社訪問時等の自己紹介 敬語表現の確認
2	10月 5日(木)	「紹介する」② 「挨拶をする」①	他社の人に自社の人を紹介する 担当交代の挨拶
3	10月12日(木)	「挨拶をする」②	休んだり早退したりした時の挨拶
4	10月19日(木)	「電話をかける・受ける」①	電話をかける・受ける際の定型表現
5	10月26日(木)	「電話をかける・受ける」②	伝言を頼む・伝える
6	11月 9日(木)	「注意をする・受ける」	婉曲に注意をする・受ける 上司に注意をうける・謝る
7	11月16日(木)	これまでのまとめ	これまでの復習・確認
8	11月23日(木)	「頼む・断る」①	上司に依頼する・依頼を断る
9	11月30日(木)	「頼む・断る」②	値段の交渉をする・答える
10	12月 7日(木)	「許可をもらう」	上司・他社の人に許可を求める
11	12月14日(木)	「アポイントをとる」①	自社・他社の人にアポイントをとる 面識のない人にアポイントをとる
12	12月21日(木)	「アポイントをとる」②	約束の日時を変更する
13	1月11日(木)	「訪問する」	取り次ぎを頼む　辞去する
14	2月15日(木)	これまでのまとめまとめ	これまでの復習・確認

《授業方法の形式》
・ビジネス場面でよく使われる語句や表現を確認する。
・各項目の機能表現を確認し、イントネーションやスピード、動作なども含めてスムーズに行えるように練習する。
・ロールプレイを通して各項目で学んだことを完成させる。
・必要であれば、文法項目を取り上げた口頭練習や、会話文の作成などを行う。

《受講生へのメッセージ》　これまでの大学生活では出会わなかった（出会う機会の少なかった）社会人の日本語を身につけるチャンスです。積極的にチャレンジしてください。
各項目の語句や表現、内容に関する小クイズや、まとめのための復習クイズなども行いたいと思います。疑問や理解が不十分だと思われることについて確かめる機会としてください。

留学生就職促進プログラム　シラバス

講座番号2　《科目名》　**キャリア教育講座**

《講師》　張　清敬

《開講曜日・時限》　土曜日・１時限～4時限　（11月1日のみ水曜日）

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－５０６教室

《授業の概要と目的》　企業訪問やフィールドワークを通じ日本企業の特徴を実践的に体験し、日本での就活のために身に着けておくべき心構えを確立する

《到達目標》　日本企業の技術や管理の特徴や魅力を知り、自らのキャリアビジョンとのマッチングポイントを明確にする

《授業計画》

	実施日	項目	内容
1	9月23日（土）	１）オリエンテーション 日本企業の技術体験	匠の技を通じた日本企業の技術体験
2	10月 7日（土）	２）キャリアデザイン	キャリアとは何か、なぜキャリアデザインが必要か、について深く理解する
3	10月14日（土）	３）日本企業の特徴概要	他国の企業との違いと日本企業でのキャリアのメリット
4	11月 1日（水）	４）企業見学１	製造業企業を訪問し、各企業の競争力と技術的魅力を体験
5	12月 9日（土）	５）フィールドワーク１	製造業を中心とした日本企業の技術と管理の特徴を感じ取る
6	12月23日（土）	６）企業見学２	サービス業企業を訪問し、各企業の競争力と管理体制を体験
7	1月27日（土）	７）多様な職業観を知る	社員、起業家、NPO代表等、働く目的や働き方の多様性を先輩社員から知る

《授業方法の形式》　２）３）は講義。１）と４）－６）は訪問見学・体験、７）は講演及び座談会

《受講生へのメッセージ》　働く目的は経済的自立のためだけではなく、長期的に自己実現を図ることが両立できなければ、キャリア（成長）につながりません。この講座では普段見れない日本企業を訪問し、その特徴を解説することを通じ、日本企業でのキャリアと皆さんの成長をつなげるためのフック探しを行います。

留学生就職促進プログラム　シラバス

講座番号３《科目名》　**就職活動支援講座**

《講師》　張　清敬

《開講曜日・時限》　月曜日・５時限　（9月21日のみ木曜日3時限、場所S-302）

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－５０６教室

《授業の概要と目的》　就職活動に必要な準備事項とそのポイントなどを体系的に解説し、チャンスを逃さない就活準備を行う

《到達目標》　各個人に応じた自己の強みの特定、企業選び、選ばれる応募書類、競争力のある面接訓練等を進め、スキのない就活準備を行う

《授業計画》

	実施日	項目	内容
1	9月 21日(木)	就活ガイダンス	日本の就活の特徴と必須事前準備事項
2	9月 25日(月)	自己分析１	自分の強み・夢の特定に向けた自分の掘り起こし
3	10月 2日(月)	ワークショップ１	留学生の先輩の就活の進め方、日本企業の入社後の感想
4	10月 16日(月)	自己分析２	企業に売り込むべき自己の長所、強みの特定
5	10月 23日(月)	ワークショップ２	外国人と共に働く日本人社員の感想や意見
6	10月 30日(月)	企業分析１	企業分析はなぜ必要か。企業と留学生との視点の違い
7	11月 6日(月)	企業分析２	企業分析の仕方と自分の強みが生かせる企業の選び方
8	11月 13日(月)	ワークショップ３	日本企業の管理者は海外人材をこう見ている
9	11月 20日(月)	応募書類準備１	エントリーシートや履歴書で採用担当者は何を見ているか
10	11月 27日(月)	応募書類準備２	選抜されるために応募書類に何をどう書くか
11	12月 4日(月)	面接訓練	企業は面接でどこに注目しているか。対応のポイント
12	12月 11日(月)	グループディスカッション（GD）	留学生がもっとも弱いGDですべきこと、してはいけないこと
13	12月 18日(月)	コミュニケーション力訓練	わかりやすく説明する力の訓練
14	1月 15日(月)	模擬面接	緊張する面接で自分を出し切るための方法と欠点の修正
15	1月 29日(月)	東海地区の企業紹介	企業説明会を通じて企業に行うアプローチの実践

《授業方法の形式》　ワークショップは座談会。東海地区の企業紹介は企業説明会。その他は講義と実習。

《授業方法の形式》　就活はシーズンが来てから行うものでなく、事前準備でほぼ勝敗が決まります。その準備事項は自己分析から順番に積み上げるもので、急にはできません。この講座では企業の視点を解説し、外さない準備を無理なく体系的に進めます。また、講座参加者には個別相談の機会が別途あり、自分にあった就活ができます。

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">オリエンテーション＆内定者座談会
Orientation ＆ Talk Session with "Senpai" students</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">就活の進め方・就活スケジュールを学び、留学生の先輩から就活の進め方を学ぶ。
Learn how to go on job hunting from senior foreign students.</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講座スケジュール</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>10月12日　16：30～18：00</td><td>日本の企業文化を学び、就職活動で準備すべきこと及びスケジュールを知る</td></tr>
<tr><td>2</td><td>10月19日　16：30～18：00</td><td>企業から内定を取得した留学生の先輩から、就職活動の進め方を学ぶ</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">申し込み方法は、参考資料をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">アジア法交流館2階　レクチャールーム1
Asian Legal Exchange Plaza Second floor, Lecture Room 1</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本で就職を考えている全留学生（日本人学生も受講可能）</td></tr>
</table>

平成29年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム
-留学生のための就職・キャリア支援プログラム（第2回）-
「留学生内定者との座談会」

留学生の先輩たちは、日本での就職活動をいつから、どのように進めてきたのでしょうか？現在学部4年生又は修士2年生の留学生の内定者の方々に協力を頂き、これから就職活動を行なう皆さんが疑問に思うこと気軽に質問できる機会を用意しました。日本での就職活動を考えている留学生の方は、是非ご参加ください。

日　時	2017年10月19日（木）16：30～18：00
場　所	アジア法交流館2階　レクチャールーム１
協力者	・文系学部　（内定先：中部国際空港株式会社） ・文系学部　（内定先：豊田合成株式会社） ・文系研究科　（内定先：エキサイト株式会社） ・理系学部　（内定先：日本テトラパック株式会社） ・理系研究科　（内定先：株式会社ブルボン）

◆参加申込み◆

１０月１２日実施のオリエンテーションに未参加の方は、
オンライン申し込みフォームからお申込み下さい。
https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/77
（オリエンテーションに参加した方は、申込みの必要はありません。）

問合せ：
名古屋大学国際教育交流センター
キャリア支援部門（CSO）　国際棟１０７号室
Email: career@iee.nagoya-u.ac.jp
HP: http://nu-cso.jp
Facebook: https://www.facebook.com/nucareer
(※上記URLより「友達申請」をお願いします)

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">キャリア支援講座(前半)　－自己分析講座－
Career development course (first half) －Self analysis－</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">企業側の留学生へのよくある質問を元に、自らの「ありたい姿」を考える。
Think about what you want to do after your graduation based on the questions asked by Japanese companies</td></tr>
<tr><td rowspan="6">講座スケジュール</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>10月26日　16：30～18：00</td><td>【自己分析】
なぜ自己分析をする必要があるのか、そもそも自己分析とは何か？を知る</td></tr>
<tr><td>2</td><td>11月2日　16：30～18：00</td><td>【過去分析】
自分のライフイベントを分析し、グループでディスカッションをする</td></tr>
<tr><td>3</td><td>11月9日　16：30～18：00</td><td>【将来分析】
自分の価値観やキャリア観を掘り下げ、将来期待したいことを考える</td></tr>
<tr><td>4</td><td>11月16日　16：30～18：00</td><td>【就職活動の軸】
過去と将来を分析し、学生時代に頑張ったこと、自己PR、やりたいことを考える</td></tr>
<tr><td>5</td><td>11月30日　16：30～18：00</td><td>【企業分析】
なぜその業界が良いのか？なぜその企業が良いのか？を説明できるようにする</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">アジア法交流館2階　レクチャールーム1
Asian Legal Exchange Plaza Second floor, Lecture Room 1</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本で就職を考えている全留学生（日本人学生も受講可能）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">キャリア支援講座(後半)　－就活実践対策講座－
Career development course (second half) －Job hunting practice－</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">エントリーシート、企業研究、面接試験（個人面接・グループディスカッション等）のノウハウを学ぶ。
Learn the know-how of entry sheet, company research, interview (personal interview, group discussion etc.).</td></tr>
<tr><td rowspan="6">講座スケジュール</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>12月7日　16：30～18：00</td><td>【ES対策】
具体的な作成方法や大切なポイントを、実例を交えて、学ぶ</td></tr>
<tr><td>2</td><td>12月14日　16：30～18：00</td><td>【SPI対策】
SPIとは何なのか、どのように対策をするのかを知る</td></tr>
<tr><td>3</td><td>12月21日　16：30～18：00</td><td>【面接対策】
面接の評価ポイントは何か？企業が学生に何を求めているか？を知る。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>1月11日　16：30～18：00</td><td>【グループディスカッション対策】
グループディスカッションの評価ポイントや対策方法を知る</td></tr>
<tr><td>5</td><td>1月18日　16：30～18：00</td><td>【求人票の読み方講座】
休日や残業などの労働条件等を求人票から読み取れるようにする</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">アジア法交流館2階　レクチャールーム1
Asian Legal Exchange Plaza Second floor, Lecture Room 1</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本で就職を考えている全留学生（日本人学生も受講可能）</td></tr>
</table>

平成29年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム

JTEKT 刈谷工場見学・懇談会

株式会社ジェイテクト様は、自動車部品、軸受（ベアリング）、工作機械のシステムサプライヤーとしてナンバーワン技術、オンリーワン商品を世界中に供給しています。

今回「留学生就職促進プログラム」の一環として、
刈谷工場へのバスツアーが実現しました。
日本が世界に誇るものづくりの現場を体感できる貴重な機会です。
自身のキャリア形成や、今後の就職活動に積極的に役立てましょう！

スケジュール
2017年11月23日（木） 11：30～17：30
※昼食は各自で済ませてから集合してください

集合場所
名古屋大学からバスで刈谷工場へ向かいます
集合時間：11時30分
集合場所：豊田講堂前駐車場

内容
株式会社ジェイテクト様　概要説明
工作機械・メカトロ事業本部　概要説明
刈谷工場見学（展示施設、製造工場）
外国籍社員業務紹介
質疑応答　　※使用言語：日本語及び英語

定員
30名

参加費
300円（但し、保険代として）

服装
工場内を歩くので、女性はヒールの低いかかとの安定した靴でお願いします

受付方法
①オンラインフォームで申込ください
https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/81
②11月16日13：00～16：00の間に、
キャリア支援室で、300円をお支払ください
（スケジュールが合わない場合は、電話かメールでCSOまでご連絡ください）

問合せ先
キャリア支援室（国際棟1階 107室）
TEL：052-747-6768／月～金　9時～17時
Email：career@iee.nagoya-u.ac.jp

※このイベントは、株式会社ジェイテクト様の協力を得て、実施いたします。

H29年度 愛岐留学生就職支援コンソーシアム

第1回・留学生のための 業界理解講座

日本を代表する優良企業の人事担当者をお招きし
各々の業界について留学生の皆さんに説明頂きます。

各業界の特徴や予測される変化について説明頂くのは
もちろん、留学生にどのような活躍を期待しているのか、
企業の方々から直接お話し頂きます。

企業の方々とのQ&Aの時間も、たっぷりあります。
日本での就職活動に対する不安や疑問を、
少しでも解消することに役立てて下さい！

☆こんなことが聞けちゃいます☆
＃日本企業は、留学生のどのような所に関心があるの？
＃5年後・10年後、どんな人材が必要とされるの？
＃企業が言う「グローバル人材」って、何？

参加企業　日本IBM株式会社（IT・情報処理）
株式会社大和総研（シンクタンク）
オリックス株式会社（リース・金融）

日　時　2017年12月15日（金）16：30～19：30

場　所　名古屋大学（東山キャンパス）豊田講堂３階

内　容　各企業による業界説明（25分×3社）
「企業ｘ留学生」Q&A（80分）
※スーツ着用不要／使用言語：日本語

申込方法　オンラインフォームから応募
ＵＲＬ　https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/84

問合せ先　名古屋大学 国際教育交流センター
アドバイジング部門 キャリア支援室（国際棟1階 107室）
TEL: 052-747-6768　Email: career@iee.nagoya-u.ac.jp

H29年度 愛岐留学生就職支援コンソーシアム

第２回・留学生のための 業界理解講座

日本を代表する優良企業の人事担当者をお招きし
各々の業界について留学生の皆さんに説明頂きます。

各業界の特徴や予測される変化について説明頂くのは
もちろん、留学生にどのような活躍を期待しているのか、
企業の方々から直接お話し頂きます。

企業の方々とのQ&Aの時間も、たっぷりあります。
日本での就職活動に対する不安や疑問を、
少しでも解消することに役立てて下さい！

☆こんなことが聞けちゃいます☆
＃メーカーや広告・インターネット企業って、
具体的にどんな仕事をしているの？
＃留学生だから出来る仕事って何？

参加企業　住友電気工業株式会社（非鉄金属メーカー）
株式会社本田技術研究所（自動車メーカー）
ハウス食品株式会社（食品メーカー）
株式会社セプティーニ（広告・インターネット）

日　時　２０１８年1月１５日（月）16：30～１８：30

場　所　名古屋大学（東山キャンパス）豊田講堂３階

内　容　各企業による業界説明、「企業ｘ留学生」Q&A
※スーツ着用不要／使用言語：日本語

申込方法　オンラインフォームから応募
ＵＲＬ　https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/89

問合せ先　名古屋大学 国際教育交流センター
アドバイジング部門 キャリア支援室（国際棟1階 107室）
TEL: 052-747-6768　Email: career@iee.nagoya-u.ac.jp

平成29年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム

留学生 × 中部経済同友会

意見交換＆懇談会

中部経済同友会は、中部地区の企業経営者が個人で入会し、勉強や意見交換、交流を行う経済団体です。会員数は約980名。
取り扱うテーマは、地域経済、観光振興、国際交流等。企業、地域、社会が抱える課題を見つけ研究し、解決又は改善策を考えています。
本企画は、同友会員の方々と、元留学生社員の方々に本学にお越しいただき、皆さんと卒業後の就職・キャリアについてお話できる機会です。

日本で働くことについて考える絶好の機会です！
見逃さず参加しましょう！

日時　2018年1月25日（木）
1部→16：30～18：40
パネルディスカッション＆座談会
2部→18：40～19：10　懇談会
（軽食をご用意します）

場所　名古屋大学NIC館 1階Idea Stoa
http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/access

詳細　言語：日本語
対象:名大留学生
服装: 自由　参加料: 無料
定員:50名

申込方法　オンラインフォームから応募
締切：2018年1月12日
URL： https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/86

連絡先　キャリア支援室（国際棟　1階　107室）
TEL: 052-747-6768
Email: career@iee.nagoya-u.ac.jp

※本企画は、中部経済同友会様の協力を得て実施いたします。

外国人留学生のための
JOB FAIR@名古屋大学

外国籍社員を積極的に採用している企業の方々と、外国人留学生の皆さんが交流できるチャンスです！日本で働くことに興味のある方、これから就職活動（シュウカツ）を始める方は、是非ご参加ください。

参加対象:
外国人留学生の方なら、どなたでも参加できます！
（日本人学生の方の参加も歓迎です）

日 時：２０１８年２月９日(金)

第１部 10:00~13:00 受付: 9:30~

（1 回目 10:10-10:35, 2 回目 10:40-11:05, 3 回目 11:10-11:35, 4 回目 11:40-12:05, 5 回目 12:10-12:35）

第２部 14:00~17:00 受付: 13:30~

（1 回目 14:10-14:35, 2 回目 14:40-15:05, 3 回目 15:10-15:35, 4 回目 15:40-16:05, 5 回目 16:10-16:35）

場 所：名古屋大学 豊田講堂シンポジオン

使用言語：主に日本語　服装:服装自由

（幾つかの企業様には、英語でも説明して頂ける予定です。）

参加予定企業

LEGOLAND Japan 株式会社、サン電子株式会社、
パナソニックエコシステムズ株式会社、株式会社 MTG、
株式会社アテック、株式会社イオンファンタジー、
株式会社ジェイテクト、株式会社スズケン、
株式会社ニトリ、株式会社マノモクハウジング、
株式会社青山製作所、三栄ハイテックス株式会社、
三甲株式会社、昭和電工株式会社、積水メディカル株式会社、中央発條株式会社、長田廣告株式会社、
東朋テクノロジー株式会社、東邦ガス株式会社、
株式会社錢高組、UD トラックス株式会社、高砂工業株式会社、九鬼産業株式会社、京セラ株式会社、トヨタ紡織株式会社、トヨタテクニカルディベロップメント株式会社、株式会社長谷工コーポレーション
（順不同：1/21 時点）

参加方法

参加には、事前予約が必要です！
（予約済の方に、参加企業の説明資料を事前にお渡しします。）

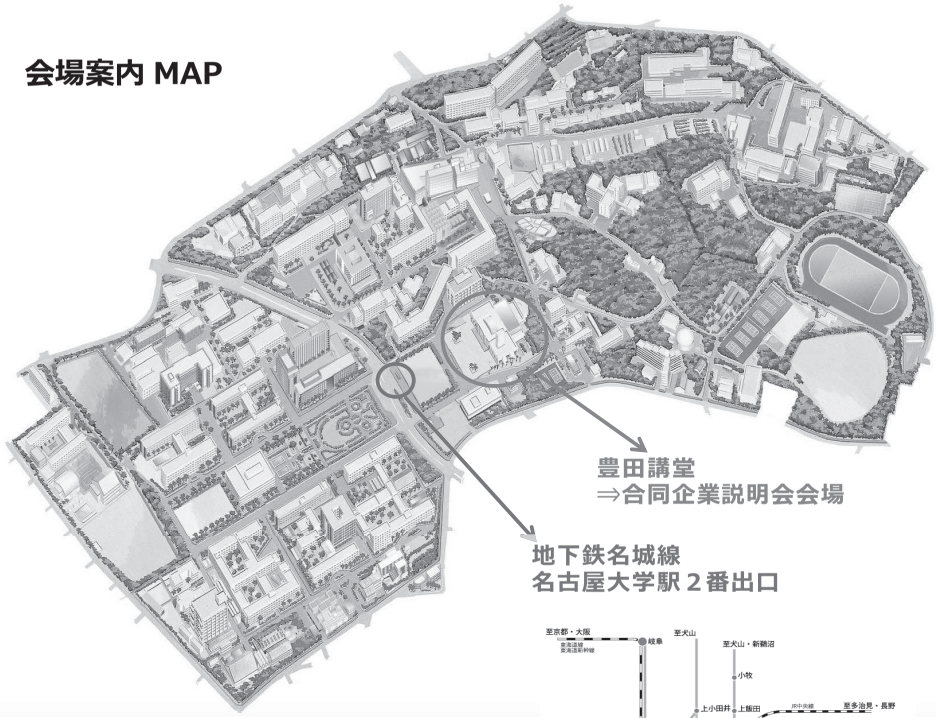
URL：
https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/92

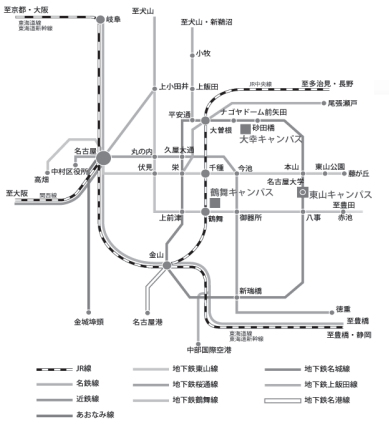
QR コード：

主催：名古屋大学国際教育交流センターキャリア支援室
HP： http://nu-cso.jp
https://ag-int.org

外国人留学生のための
Job Fair
@名古屋大学

会場案内 MAP





お問合せ先：

名古屋大学国際教育交流センター
キャリア支援室（CSO）
名古屋大学東山キャンパス 国際棟１０７号室
TEL: 052-747-6768 FAX: 052-789-3517
HP: http://nu-cso.jp
Fb: http://www.facebook.com/NUCDO

ログインユーザ：
グローカル推進本部留学

シラバス参照

開講年度	2017
授業科目名	デザイン思考序論
授業科目名（英文）	Design Thinking Introduction
担当教員	川瀬　真弓 木村　浩 國枝　稔 小林　信介 嶋津　光鑑 中川　寅 前澤　重禮 三輪　真一 毛利　哲也 森部　絢嗣
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	1年生
開講学期・時間割・教室	前学期(前半) 水曜日 1時限 工　多目的教育・研究棟202 前学期(前半) 水曜日 1時限 応生　104 前学期(前半) 水曜日 1時限 講堂 前学期(前半) 水曜日 2時限 工　多目的教育・研究棟202 前学期(前半) 水曜日 2時限 応生　104 前学期(前半) 水曜日 2時限 講堂
授業の形態	講義
単位	1
履修コード	1ULL006701
備考1	
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2017&semekikn=1&kougicd=1ULL006701

授業概要	未来の問題を戦略的に解決する思考ツール（デザイン思考）を身に付けよう 　私たちは大学で，体系づけられた知識や技能を使って，与えられた問題を解いている．そして問題を解くために，知識や技能を身に付けるトレーニングを続けている．しかし，大学を卒業すると多数の人はなんらかの組織に所属し，社会が必要とする製品やサービスの創出または地域の課題解決が求められる．そのとき に求められる力は，未来のゴールに向けてデザインする力，すなわち，状況を読み取る力，問いを立てる力，仲間と共に解決策をつくり上げていく力である． 　デザイン思考は，よりよい未来をデザインするための思考ツールである．さまざまな経験をもつ人とグループをつくり，未来の潜在的ニーズを自分たちで想定し，起こりうる課題を想定して話し合い，解決策として集合知（アイデア）を創発する．※創発…ある関係性を見つけ，全体像を把握し，そこから新しい体系を生み出すこと． 　本授業で扱うテーマは，「科学技術社会のよりよい未来を描くこと」である． 　デザイン思考を使った話し合いの目的は，集合知（アイデア）を生み出すことであるため，話し合う途中であっても，発表するときであっても，集合知が生まれやすい状態を整える必要がある．そこで，本授業では，視覚ツールを駆使して解決策の過程を構成していく環境を整える．ぜひその環境を活用し，創発プロセスを可視化する視覚ツールを使いこなせるようになってほしい． 　こうした視覚ツールを駆使し，デザイン思考をとおして導き出される解は，例えば，数式から得られるような唯一解ではない．デザイン思考の手順は，確かにあるものの，その手順の進め方，広げ方，創発するアプローチの仕方などは，それぞれのグループで異なる．なぜなら話し合うグループのメンバーの経験知，能動的な態度が異なるからである．ただ，創発が起こりやすいかどうかは，グループの参加者の態度によるため，全員がぜひ能動的に考え，自由に発言し，手を動かすことを期待する． 　以上は，社会に出てからも問題解決するときに求められる必須のデザインスキルといえる．そのとき，深いデザイン，浅いデザインなど，デザインを評価して使いこなすことができるデザインリテラシーを身に付けていることが望ましい．ガヤガヤにぎやかに話し合いながら，しなやかで持続可能な未来をデザインしてほしい．
到達目標	【学習目標】 　理解と技能のゴールを理解し，問題について話し合いをとおして創発し，解決する高度なコミュニケーションを伸長する． 【理解のゴール】 ・視覚ツールを駆使しながら解決策を話し合い，誰の立場でどのように解決策のアイデアを共創し，高度なコミュニケーションを図って創発すればよいのか，わかる． ・戦略的集合知（アイデア）をデザインしているときに，視点が狭いデザイン，思考が浅いデザインなど，目標に対して自分たちのデザインのレベルが把握できる． 【技能のゴール】 ・デザイン思考を進めるときに必要な視覚ツールを使いこなし，仲間とともによりよい未来を創出するために「問い」を立て，解決する集合知（アイデア）を創発し，グループで認知しやすい絵・図などを使って，解決策のアイデア・コンセプトを提案することができる． ・戦略的集合知（アイデア）をデザインしているときに，視点が狭いデザイン，思考が浅いデザインなど，目標に対して自分たちのグループのデザインのレベルを評価することができる．
授業計画と準備学習	※日にちによって教室が異なります．事前に確認してください． 4月12日（水）場所：講堂 企業経験のある外部講師による講演の聴講．講演を聞きながら，ワークシートを作成し，内容理解を促進する．【持ち物】学生証，筆記用具．※学生証は講堂の入り口で機械にかざすこと．また，講演後，ワークシートを提出して帰ること．

	4月19日（水）場所：川瀬クラス：工学部第1会議室，森部クラス：応用生物学部C104 【学習内容】デザイン思考を理解し，デザイン思考のやり方で話し合いが進められるようにする． 4月26日（水）場所：Aクラス（川瀬）：多目的研究棟T202，T203，Bクラス（森部）：応用生物学部C104 【演習内容】課題についてデザイン思考演習① 5月10日（水）場所：Aクラス：多目的研究棟T202，T203，Bクラス：応用生物学部C104 【演習内容】課題についてデザイン思考演習②　クラス発表，理解度を確認するチェック，記述試験あり．
能動的学習	☑ 討論やプレゼンテーションなど，学生による対話や発表 ☐ フィールドワーク，インターンシップ，ものづくり等の体験型学習 ☑ 図書館やラーニングコモンズなど，教室以外の場所を活用 ☑ ゲストスピーカーの招聘 ☑ AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援 ☑ レポートの添削や提出物の返却 ☐ その他
使用言語	☑ 日本語 ☐ 英語 ☐ その他
TA,SA配置予定	☑ TAによる授業支援 ☐ SAによるピアサポート ☐ その他
基盤的能力 専門的能力	**1. 基盤的能力に関する重点指導項目** **進：** ☑ 計画 ☑ 実行 ☑ 管理 **伝：** ☑ 傾聴 ☑ 発信 ☑ 把握 **考：** ☑ 課題 ☑ 創造 ☑ 論理 **2. 専門的能力や資質・能力に関して，育成を意図する指導** 【話し合いのツール】 高度なコミュニケーションを図るため，ファシリテーションの方法を意図して指導する．ファシリテーションの指導には，話し合いの段階に応じた視覚ツールの使い方，認知しやすいツールの選び方の指導が含まれる． アイスブレイクによって，グループ内の緊張を解き，話し合いが行いやすい環境を整える． 【視覚ツール】 付せんを使ってブレインストーミングをすることを理解して，使いこなすことができるように指導する． 【認知しやすいツール】 ブレインストーミングは，情報整理に適している．情報共有時に適しているのは，絵・図・表などある程度かたちをとおして見せたいものがあるときである．情報共有時には，プレゼンテーションのように，発表原稿と視覚に訴える認知ツールを適確に使用しているか指導する．
授業時間外の学習	デザイン思考を使ってグループで課題解決型学習を進めるときには，話し合いにより課題を分けて分担し，それぞれが責任をもって調べることを進めてほしい．話し合いの成果物はなるべく授業内に作成してほしいが，超過した場合は話し合って完成させてほしい．

成績評価	・2／3以上の出席がない場合成績をつけない．とはいえ，グループ演習形式で学習するため，なるべく休まないことが望ましい． ・授業中の話し合う態度（30%程度の比率），毎時授業後に提出するセルフマネジメントシート（20%程度の比率）とリフレクションの内容（20%程度の比率），授業最終日の発表，記述（30%程度の比率）により評価する．
到達度評価方法	到達度の段階を5段階に分けて評価する．ここでは簡易的な段階（5・3・1）を紹介する． ・授業中の話し合う態度：話し合いに貢献している（5）・話し合いの段階を理解して次に向かおうとしている（3）・話し合いに参加している（1） ・毎時授業後に提出するセルフマネジメントシート：授業で説明された内容を駆使してオリジナルな学習目標とし，振り返りをしている（5），授業で説明されたことを取り入れて自分の学習目標とし，振り返りをしている（3），授業で説明されたことを学習目標としている（1） ・リフレクションの内容：他者の知見を聞いて，自分の意見と組み合わせた知見を書いている（5），話し合いから知識を構成しようとしている（3），話し合いの内容が書いてある（1） ・授業最終日の発表，記述： ◆発表について：聴講者の賛同を得る発表している（5），聴講者に分かりやすい発表をしている（3），話し合ったことを発表している（1）， ◆記述について：本授業の演習をとおして学んだことがパラグラフライティングで書かれている（5），本授業の演習をとおして学んだことが書かれている（3），本授業の演習の流れが書いてある（1）
テキスト	
テキスト（詳細）	必要があれば，授業内，AIMSで紹介する

参考文献

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN
1.	『ファシリテーション入門』	堀　公俊	日経文庫	2004	
2.	『システム×デザイン思考で世界を変える慶應SDM「イノベーションのつくり方」』	前野隆司・保井俊之	日経BP社	2014	
3.	『誰のためのデザイン？―認知科学者のデザイン原論』	ノーマン,ドナルド・A（著），野島久雄（翻訳）	新曜社	1990	
4.	『デザイン思考が世界を変える』	ティム・ブラウン（著），千葉敏生（翻訳）	早川書房	2014	

参考文献（詳細）	1. グループワークの進め方を，4つに分けて捉える方法を紹介．入門書ながら必携の内容 2. ゼロから1を生み出すアイデアをどうつくっていくか，考え方，フレームを事例紹介している入門書 3. デザインを認知科学からとらえた著作．デザイン思考の原点と言われている歴史的名著． 4. IDEOのCEOであるティム・ブラウンによって書かれた著作．コラボレーションやコミュニケーション，デザイン思考を使って，社会に変化をもたらす新しいアイデア，イノベーションを起こそうとする方法，試みについて書かれた名著．購入しやすい廉価版を紹介した．
備考	本授業は，これらの話し合う方法をデザイン思考のイントロダクションとして扱うため，授業名をデザイン思考序論としている．是非ともデザイン思考の進め方を身に付け，身近な問題解決に応用して発展させてほしい．そのため，もし，今後，グローバル社会で活躍するリーダーになりたいのであれば，本授業の発展版であるデザイン思考トレーニングを受講し，さらなるデザインリテラシーのスキルを磨いてほしいと願っている．

ログインユーザ：
グローカル推進本部曹学

シラバス参照

開講年度	2017
授業科目名	デザイン思考序論
授業科目名（英文）	Design Thinking Introduction
担当教員	川瀬　真弓 木村　浩 國枝　稔 小林　信介 嶋津　光鑑 中川　寅 前澤　重禮 三輪　真一 毛利　哲也 森部　絢嗣
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	１年生
開講学期・時間割・教室	前学期（後半）水曜日 １時限 工　多目的教育・研究棟202 前学期（後半）水曜日 １時限 応生　104 前学期（後半）水曜日 １時限 講堂 前学期（後半）水曜日 ２時限 工　多目的教育・研究棟202 前学期（後半）水曜日 ２時限 応生　104 前学期（後半）水曜日 ２時限 講堂
授業の形態	講義
単位	1
履修コード	1ULL006702
備考1	
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2017&semekikn=1&kougicd=1ULL006702

授業概要	未来の問題を戦略的に解決する思考ツール（デザイン思考）を身に付けよう 私たちは大学で，体系づけられた知識や技能を使って，与えられた問題を解いている．そして問題を解くために，知識や技能を身に付けるトレーニングを積んでいる．しかし，大学を卒業すると多数の人はなんらかの組織に所属し，社会が必要とする製品やサービスの創出または地域の課題解決が求められる．そのとき求められる力は，未来のゴールに向けてデザインする力，すなわち，状況を読み取る力，問いを立てる力，仲間と共に解決策をつくり上げていく力である． デザイン思考は，よりよい未来をデザインするための思考ツールである．さまざまな経験をもつ人とグループをつくり，未来の潜在的ニーズを自分たちで想定し，起こりうる課題を想定して話し合い，解決策として集合知（アイデア）を創発する．※創発…ある関係性を見つけ，全体像を把握し，そこから新しい体系を生み出すこと． 本授業で扱うテーマは，『科学技術社会のよりよい未来を描くこと』である． デザイン思考を使った話し合いの目的は，集合知（アイデア）を生み出すことであるため，話し合う途中であっても，発表するときであっても，集合知が生まれやすい状態を整える必要がある．そこで，本授業では，視覚ツールを駆使して解決策の過程を構成していく環境を整える．ぜひその環境を活用し，創発プロセスを可視化する視覚ツールを使いこなせるようになってほしい． こうした視覚ツールを駆使し，デザイン思考をとおして導き出される解は，例えば，数式から得られるような唯一解ではない．デザイン思考の手順は，確かにあるものの，その手順の進め方，広げ方，創発するアプローチの仕方などは，それぞれのグループで異なる．なぜなら話し合うグループのメンバーの経験知，能動的な態度が異なるからである．ただ，創発が起こりやすいかどうかは，グループの参加者の態度によるため，全員がぜひ能動的に考え，自由に発言し，手を動かすことを期待する． 以上は，社会に出てからも問題解決するときに求められる必須のデザインスキルといえる．そのとき，深いデザイン，浅いデザインなど，デザインを評価して使いこなすことができるデザインリテラシーを身に付けていることが望ましい．ガヤガヤにぎやかに話し合いながら，しなやかで持続可能な未来をデザインしてほしい．
到達目標	【学習目標】 理解と技能のゴールを理解し，問題について話し合いをとおして創発し，解決する高度なコミュニケーションを伸長する． 【理解のゴール】 ・視覚ツールを駆使しながら解決策を話し合い，誰の立場でどのように解決策のアイデアを共創し，高度なコミュニケーションを図って創発すればよいのか，わかる． ・戦略的集合知（アイデア）をデザインしているときに，視点が狭いデザイン，思考が浅いデザインなど，目標に対して自分たちのデザインのレベルが把握できる． 【技能のゴール】 ・デザイン思考を進めるときに必要な視覚ツールを使いこなし，仲間とともによりよい未来を創出するために「問い」を立て，解決する集合知（アイデア）を創発し，グループで認知しやすい絵・図などを使って，解決策のアイデア・コンセプトを提案することができる． ・戦略的集合知（アイデア）をデザインしているときに，視点が狭いデザイン，思考が浅いデザインなど，目標に対して自分たちのグループのデザインのレベルを評価することができる．
授業計画と準備学習	※日にちによって教室が異なります．事前に確認してください． 6月14日（水）場所：講堂． 企業経験のある外部講師による講演の聴講．講演を聞きながら，ワークシートを作成し，内容理解を促進する．【持ち物】学生証，筆記用具．※学生証は講堂の入り口で機械にかざすこと．また，講演後，ワークシートを提出して帰ること．

	6月21日(水)場所：川瀬クラス：工学部第1会議室，森部クラス：応用生物学部C104 【学習内容】デザイン思考を理解し，デザイン思考のやり方で話し合いが進められるようにする． 6月28日(水)場所：Aクラス(川瀬)：多目的研究棟T202，T203，Bクラス(森部)：応用生物学部C104 【演習内容】課題についてデザイン思考演習① 7月5日(水)場所：Aクラス：多目的研究棟T202，T203，Bクラス：応用生物学部C104 【演習内容】課題についてデザイン思考演習② クラス発表，理解度を確認するチェック，記述試験あり．
能動的学習	☑ 討論やプレゼンテーションなど，学生による対話や発表 ☐ フィールドワーク，インターンシップ，ものづくり等の体験型学習 ☑ 図書館やラーニングコモンズなど，教室以外の場所を活用 ☑ ゲストスピーカーの招聘 ☑ AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援 ☑ レポートの添削や提出物の返却 ☐ その他
使用言語	☑ 日本語 ☐ 英語 ☐ その他
TA,SA配置予定	☑ TAによる授業支援 ☐ SAによるピアサポート ☐ その他
基盤的能力 専門的能力	**1. 基盤的能力に関する重点指導項目** **進:** ☑ 計画 ☑ 実行 ☑ 管理 **伝:** ☑ 傾聴 ☑ 発信 ☑ 把握 **考:** ☑ 課題 ☑ 創造 ☑ 論理 **2. 専門的能力や資質・能力に関して，育成を意図する指導** 【話し合いのツール】 高度なコミュニケーションを図るため，ファシリテーションの方法を意図して指導する．ファシリテーションの指導には，話し合いの段階に応じた視覚ツールの使い方，認知しやすいツールの選び方の指導が含まれる． アイスブレイクによって、グループ内の緊張を解き、話し合いが行いやすい環境を整える。 【視覚ツール】 付せんを使ってブレインストーミングをすることを理解して，使いこなすことができるように指導する． 【認知しやすいツール】 ブレインストーミングは，情報整理に適している．情報共有時に適しているのは，絵・図・表などある程度かたちをとおして見せたいものがあるときである．情報共有時には，プレゼンテーションのように，発表原稿と視覚に訴える認知ツールを適確に使用しているか指導する．
授業時間外の学習	デザイン思考を使ってグループで課題解決型学習を進めるときには，話し合いにより課題を分けて分担し，それぞれが責任をもって調べることを進めてほしい．話し合いの成果物はなるべく授業内に作成してほしいが，超過した場合は話し合って完成させてほしい．

成績評価	・2／3以上の出席がない場合成績をつけない．とはいえ，グループ演習形式で学習するため，なるべく休まないことが望ましい． ・授業中の話し合う態度（30%程度の比率），毎時授業後に提出するセルフマネジメントシート（20%程度の比率）とリフレクションの内容（20%程度の比率），授業最終日の発表，記述（30%程度の比率）により評価する．
到達度評価方法	到達度の段階を5段階に分けて評価する．ここでは簡易的な段階（5・3・1）を紹介する． ・授業中の話し合う態度：話し合いに貢献している（5）・話し合いの段階を理解して次に向かおうとしている（3）・話し合いに参加している（1） ・毎時授業後に提出するセルフマネジメントシート：授業で説明された内容を駆使してオリジナルな学習目標とし，振り返りをしている（5），授業で説明されたことを取り入れて自分の学習目標とし，振り返りをしている（3），授業で説明されたことを学習目標としている（1） ・リフレクションの内容：他者の知見を聞いて，自分の意見と組み合わせた知見を書いている（5），話し合いから知識を構成しようとしている（3），話し合いの内容が書いてある（1） ・授業最終日の発表，記述： ◆発表について：聴講者の賛同を得る発表している（5），聴講者に分かりやすい発表をしている（3），話し合ったことを発表している（1）， ◆記述について：本授業の演習をとおして学んだことがパラグラフライティングで書かれている（5），本授業の演習をとおして学んだことが書かれている（3），本授業の演習の流れが書いてある（1）
テキスト	
テキスト（詳細）	必要があれば，授業内，AIMSで紹介する
参考文献	No / 書籍名 / 著者名 / 出版社 / 出版年 / ISBN/ISSN 1. 『ファシリテーション入門』 / 堀　公俊 / 日経文庫 / 2004 / 2. 『システム×デザイン思考で世界を変える慶應SDM「イノベーションのつくり方」』 / 前野隆司・保井俊之 / 日経BP社 / 2014 / 3. 『誰のためのデザイン？―認知科学者のデザイン原論』 / ノーマンドナルド・A（著），野島久雄（翻訳） / 新曜社 / 1990 / 4. 『デザイン思考が世界を変える』 / ティム・ブラウン（著），千葉敏生（翻訳） / 早川書房 / 2014 /
参考文献（詳細）	1. グループワークの進め方を，4つに分けて捉える方法を紹介．入門書ながら必携の内容 2. ゼロから1を生み出すアイデアをどうつくっていくか，考え方，フレームを事例紹介している入門書 3. デザインを認知科学からとらえた著作．デザイン思考の原点と言われている歴史的名著． 4. IDEOのCEOであるティム・ブラウンによって書かれた著作．コラボレーションやコミュニケーション，デザイン思考を使って，社会に変化をもたらす新しいアイデア，イノベーションを起こそうとする方法，試みについて書かれた名著．購入しやすい廉価版を紹介した．
備考	本授業は，これらの話し合う方法をデザイン思考のイントロダクションとして扱うため，授業名をデザイン思考序論としている．是非ともデザイン思考の進め方を身に付け，身近な問題解決に応用して発展させてほしい．そのため，もし，今後，グローバル社会で活躍するリーダーになりたいのであれば，本授業の発展版であるデザイン思考トレーニングを受講し，さらなるデザインリテラシーのスキルを磨いてほしいと願っている．

ログインユーザ：
グローカル推進本部留学

シラバス参照

開講年度	2017
授業科目名	デザイン思考トレーニング
授業科目名（英文）	Design Thinking Training
担当教員	川瀬　真弓 三輪　真一 森部　絢嗣
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	1年生
開講学期・時間割・教室	後学期（前半） 水曜日 4時限 工 204
授業の形態	
単位	1
履修コード	2ULL00660
備考1	
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2017&semekikn=1&kougicd=2ULL00660

授業概要	日本社会は世界的にみて成熟の段階にある．今後，国としての発展には世界中のどの国にもない「イノベーション」を遂げることが要求されている．イノベーションがなければ多くの先進各国のみならず急速な成長を示している途上国にも近い将来に後れをとることが懸念されている．こうした背景から，企業のみならず研究機関，自治体も「イノベーション」を志向しているものの，従来の技術・知識ではもはや達成できない「領域」へのチャレンジに苦悩しているのが現状といえる．とりわけ企業においてはグローバルな市場での熾烈な新商品開発競争の真っただ中にあり，企業内において「人材開発」の重要性が認識されて大学の専門知識を統合活用できるように各種の人材教育プログラムに多くに資金と時間を投下しているのが実情である． 本授業において，前学期に開講された「デザイン思考序論」を受けて，さらに実践化した「グローバル組織，企業経営のデザイン思考トレーニング」を開講する．その目的は，学生生活で「デザイン思考」を活用できることはもとより，企業，研究機関，自治体等に就職した後，グローバルな視点でイノベーションを遂げられる思考を実践的に身に付けることである． そこで，経営工学的視点から取り入れた数値シミュレーション（コストと利益）を実践的に計算する場を設け，演習する．具体的にはそのコストの各要素である設備投資償却費，人件費，エネルギー代，生産性，歩留（ぶどまり）等の各因子をグループワーキングで分担分析し，メンバー間での各因子試算結果の最適化（利益極大化）検討シミュレーションを通してデザイン思考をより数値化して現場体験する． この演習により，「デザイン思考」と「経営工学の基礎」とを統合的に俯瞰できるようになることが大きな目標である．将来，本授業で学んだことを活かして，各部署の技術をつなぐキーパーソンとなり，グローバル組織，日本の官民組織等でキャリアアップされることを期待している．
到達目標	1．グローバル経営の基本事項について講義をとおして理解し，それにかかわる課題解決についてグループで　取り組む．―グローバル経営の基本因子を理解後，数値シミュレーションしながら，経営モデルを獲得する 2．解決に必要な条件を特定して，話し合い・推論の展開(＊)が自分たちでできるよう，デザイン思考を使って戦略的にコミュニケーションする．＊話し合い・推論の展開…異なる意見，能力をもつメンバーが，クリアする課題について抽象化，具体化を繰り返して双方向に発言し，建設的，創造的に問題解決する 3．社会で活用できる社会人基礎力を伸長する
授業計画と準備学習	本授業は，10月4日から4・5限の2コマずつ，4回，計8コマを実施する．ただし，他の授業と重なる場合は，2コマまでであれば，了承を得て，他の授業を優先することはできる．その場合は，教員に必ず申し出ること． 経営工学に関する講義は，三輪真一が担当する． 第1回：10月4日／デザイン思考の活用法，経営工学，グローバル経営の基本理論の講義，課題発表 第2回：10月11日／グローバル経営にかかわる課題解決演習，デザイン思考を活用したグループワーク 第3回：10月18日／グローバル経営にかかわる課題解決演習，デザイン思考を活用したグループワーク 第4回：10月25日／プレゼンテーション大会，筆記試験 ○準備学習について 本授業を受講するにあたって，特に書籍を読んでおくなどの必要はない．あえて言うのであれば，新聞を読んで，世界各国の情勢，文化，民族性，今起こっている現実的な課題を把握するとより深く取り組めると思われる．
能動的学習	☑ 討論やプレゼンテーションなど，学生による対話や発表 ☐ フィールドワーク，インターンシップ，ものづくり等の体験型学習 ☐ 図書館やラーニングコモンズなど，教室以外の場所を活用 ☐ ゲストスピーカーの招聘 ☐ AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援 ☑ レポートの添削や提出物の返却 ☐ その他
使用言語	☑ 日本語 ☐ 英語 ☐ その他 必要に応じて英語を使う場合がある．
TA,SA配置予定	☐ TAによる授業支援 ☐ SAによるピアサポート ☑ その他 基本的に，三輪先生，森部先生，川瀬で，授業運営とグループワーク支援を実施する．
基盤的能力 専門的能力	**1．基盤的能力に関する重点指導項目** **通：** ☑ 計画 ☑ 実行 ☑ 管理 **伝：** ☑ 傾聴 ☑ 発信 ☑ 把握 **考：** ☑ 課題 ☑ 創造 ☑ 論理 **2．専門的能力や資質・能力に関して，育成を意図する指導** ・グループワークで上記を実施する
授業時間外の学習	課題解決のための，情報収集をグループ内で相談の上実施すること（になるだろう），グループメンバー間内のチームワークを充実させるために，最非とも自主的に進めること，誰にも気づかれない地道な作業となると思われるが，こうした積み重ねが信頼関係を強固なものとするので，視野を広げるためにも，アンテナを張り続け，ポイントとなる情報をキャッチして臨んでほしい．
成績評価	・　第1回目の授業を必ず出席できること，ならびに，全体の3分の2以上の時間数の出席がない場合は成績を出さない．なぜなら，第1回目の授業で，経営工学，グローバル経営の理論を学び，学んだ知識を使って，実践し，知識を活用できる状態（技能を身に付けた状態）になってほしいと考えているため． ・　グループワークにおける，話し合い・推論の展開の貢献度によって，評価する．
到達度評価方法	第1回～第3回の授業内に提示するので，各自で記入し，提出する． （到達度評価項目例） ・　経営工学の重要項目について，全ていることができる ・　業種ごとの主要コストについて，計算シミュレーションができる ・　グローバル経営の方針づくりについて，授業内で示したポイントをいうことができる ・　デザイン思考を使って戦略的にコミュニケーションし，自主的に話し合い・推論を展開することができる，など
テキスト	
テキスト（詳細）	・テキストに相当する資料は適宜，授業内で配布する

https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?value(risyunen)=2017&value(s... 2018/04/18

参考文献	
参考文献（詳細）	
備考	

開講案内
留学生就職推進
特別講義スケジュール

	日時	場　所	概　要
1	1/22 4限目	工学部棟 11番	世界における日本産業の位置づけ 日本産業における東海地区の位置づけ
2	1/29 4限目	工学部棟 11番	日本の企業グループ紹介 （パナソニック、日立、三菱、三井等）
	2/5	休講	
3	2/19 4限目	工学部棟 **14**番	自動車、機械、造船産業
4	2/26 4限目	工学部棟 11番	電気、精密、通信産業
5	3/5 4限目	工学部棟 **41**番	環境関連産業、素材産業、 医療、食品
6	3/19 4限目	工学部棟 11番	エネルギー、資源産業、新分野産業 (シェアリングエコノミー、人口知能、IoT)
7	3/26 4限目	工学部棟 11番	建設、不動産産業、産業総括 （追加説明、今後の日本産業方向性）

連絡先：グローバル化推進室（B202）　青野 江美
gpo@gifu-u.ac.jp

Free 外国人留学生向け

就職活動支援コース

第１回　オリエンテーション・自己分析

・日本での就職活動スケジュール及びポイント
・なぜ日本では自己分析が重要か？その進め方
１０月１８日（水）　14:40～17:10

第2回　企業分析

企業分析の必要性と進め方
１０月２５日（水）　14:40～17:10

第3回　応募書類

ＥＳとＣＶの違い、競争力をどうつけるか？
１１月１５日（水）　14:40～ 17:10

第4回　面接訓練

各種選考の基本、評価ポイント及び対策
１２月６日（水）　14:40～ 17:10

開催場所：図書館２Ｆ プレゼンルーム（定員：30名・狭い時は全共棟22教室）

【申込先・問合せ先】岐阜大学 就職支援室 E-mail: job@gifu-u.ac.jp ・Tel: 058-293-2147
希望者は10月18日までに右記内容をメールしてください：1.氏名 2.学部・専攻・学年 3.連絡先（E-mail ,Tel）

上記４回の講座以外、別途実践型ワークショップも開催します。

㈱keiseiが実施した講座の卒業生就職先一部（順不同）

【理系】トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、三菱自動車㈱、㈱日立製作所、㈱豊田自動織機、㈱デンソー、アイシン精機（㈱）、太平洋工業㈱、ゼネラルパッカー㈱、㈱ナベヤ、㈱ケーヒン　など
【文系】日本メナード化粧品㈱、豊島㈱、㈱ＪＴＢコミュニケーションズ、昭和コンクリート工業㈱、ダイナパック㈱、㈱スズケン、オオサキメディカル㈱、㈱テンポスなど

講　師
㈱keisei 張 敬清

主催：岐阜大学 就職支援室・留学支援室
愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

平成29年度留学生就職促進プログラム　特別セミナー

日本企業の海外展開

―天野エンザイム（株）の事例を元に―

日時：2月22日（木）14:00～16:30
場所：応用生物科学部11教室
講師：天野エンザイム株式会社マーケティング本部
メディカル用酵素事業部長　山口 庄太郎　様
使用言語：日本語・英語

外国人留学生対象

就職活動 個別相談
申込受付中！（2018年１月）

履歴書の作成で困っている！　企業分析のポイントとは？

就活の準備はいまから・・・　日本語には不安・・・・

個別相談実施日程（1月） 約1時間/人

1月24日（水） 10:30-.11:30-. 12:30-. 13:30-
1月31日（水） 10:30-. 11:30-. 12:30-. 13:30-
実施場所： 図書館1F 海外学術交流協定大学オフィス
（受付：留学支援室）

参加申込み：
以下の内容をメールしてください。
1. 氏名、2. 学部・研究科、3. 学年、4. 連絡先（e-mail, Tel）、
5. 希望時間（先着順）

岐阜大学　グローカル推進本部留学支援室
E-mail:gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp
Tel: 058-293-2011

就活に役に立つ実践的スキル！

外国人留学生向け
実践型
ワークショップ

12月13日（水）▶1月31日（水） 14:40～17:10

12/13（水） 内定者就活体験談
内定者の先輩から就活の体験、対策をなんでも聞いてみよう♪

12/20（水） ビジネスマナー研修
会社訪問及び面接時のマナー、外国人が特に注意すべき点をマスターしよう～！

1/10（水） グループディスカション
留学生が苦手なグループディスカッションの対策、評価ポイントの把握。

1/17（水） プレゼンテーション訓練
理系などのような専門性の高い内容を伝えるための工夫♪

1/24（水） 模擬面接訓練①
あなたも面接官になってみて、早期に自分の課題を発見しよう～！

1/31（水） 模擬面接訓練②
あなたも面接官になってみて、早期に自分の課題を発見しよう～！

開催場所:12月全共棟22番教室，1月図書館２Ｆプレゼンルーム（定員：20名）
申込先・問合せ先:岐阜大学留学支援室E-mail:gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp Tel:058-293-2011
希望者は下記内容をメールしてください：
1.氏名 2.学部・専攻・学年・学籍番号 3.連絡先（E-mail ,Tel）

主催：岐阜大学 留学支援室
愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

活躍する卒業生を迎えて
就職セミナー　パネルディスカッション

Welcoming active graduates
Career seminar & Panel discussion

2017年 **10/28** SAT　4号館 会議室3

＜プログラム＞ <program>

13:00 ～ 14:40　就職セミナー Career Seminar

日本国内、自国へ帰国し就職した留学生に就職時の体験と仕事の内容など現況の講演。

Lecture of the present situation of work and job hunting experience by graduates who found a job in Japan and who went back to own country.

15:00 ～ 16:30　パネルディスカッション Panel Discussion

企業での就業体験を通じ、本学での勉強がどのように活かされているかディスカッションして頂きます。

Discussion about how the study at NITech is utilized through employment experience at a company.

17:20 ～ 20:30　情報交換会 Information Exchange Meeting

講演者、セミナー参加者、日本人学生と就職、学生生活の情報又は互いの文化について交流を図ります。

Exchange information on each other's cultures, job hunting activities, student life.

＜パネリスト＞ <panelist>

Sivaranjani Jayaprasad
五洋建設㈱
技術研究所土木技術開発部
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD
2016年卒　class of 2016

周　慶鋼
㈱トヨタデジタルクルーズ
第1ﾈｯﾄﾜｰｸｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ部主任
TOYOTA DIGITAL CRUISE, INC.
2008年卒　class of 2008

問い合わせ先：学生生活課留学生支援室　Contact: International Student Affairs Office
international@adm.nitech.ac.jp

長期的日本プラン

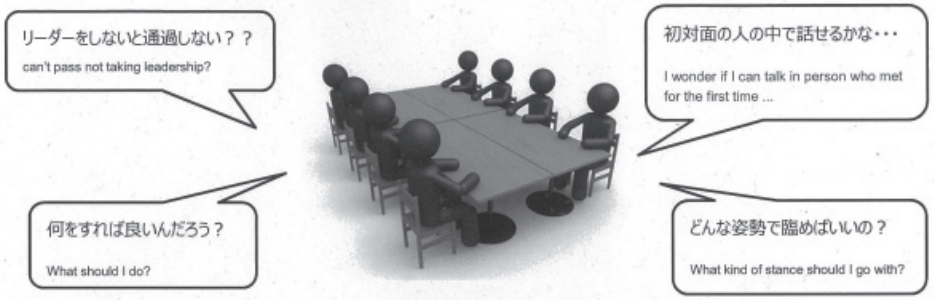
ベトナム留学生と進出企業との交流会

17/12/2017(CN)@名工大(鶴舞)
goo.gl/zEXcnX

愛知県 Aichi Prefectural Government

グループディスカッション・集団面接
開催します！！

Course for "Group Discussion" and "Collective Interview"



外国人留学生が苦手なグループディスカッションと集団面接の講座を開催します。

実際に体験しながら、どのように進めればいいのか、何を話せばいいのかを理解できます。

ポイントを掴み、本番に備えましょう。

We will hold Group discussion and Collective interview courses that foreign students are not good at.
Experiencing the actual discussion and interview, you can understand how to proceed and what to talk about.
Let's grab points and prepare for actual one.

参加希望者は、参加予約を行ってください。
If you wish to participate please make a reservation at Student Center window 10.

学生センター10 番窓口で予約受付 **Please make a reservation at Student center window 10**

講座名/Course	日時/Date, Time	場所/Venue	定員/Quota
グループディスカッション Group Discussion	①12 月 8 日（金）16:30～18:00	19 号館 204 室 Bldg19 room204	各回 5 名 5 people each time
	②12 月 8 日（金）18:00～19:30		
	③12 月 22 日（金）16:30～18:00		
	④12 月 22 日（金）18:00～19:30		
集団面接 Collective Interview	①1 月 25 日（木）16：30～18:00		
	②1 月 25 日（木）18:00～19:30		
	③2 月 1 日（木）16:30～18:00		
	④2 月 1 日（木）18:00～19:30		

問い合わせ先：学生センター 10 番窓口 長篠まで（nagashino.yuko@nitech.ac.jp）
Contact:Student Center window 10 （nagashino.yuko@nitech.ac.jp）

外国人留学生向け
就職・身だしなみ講座
Job hunting and Manners & Appearance Course for International Students

予約制
Need Reservation

＜日時＞
第1回 2018年1月23日（火） 16:30～18:00
第2回 2018年1月26日（金） 17:00～18:30
※都合のいい日時を選んで下さい
＜場所＞ 2号館 0212教室

＜内容＞日本での就職活動の特徴・流れ
身だしなみ、マナーについて

＜Date & Time＞
1st Tuesday 23rd January 2018 4:30pm～6:00pm
2nd Friday 26th January 2018 5:00pm～6:30pm
※please choose the convenient date
＜Venue＞ Bldg2 room 0212

＜Contents＞
Features and basic flow of Job-hunting in Japan
Manners and Appearance lecture for Job- hunting

予約制です。学生センター７番窓口 留学生支援室で予約をして下さい。
For attendance, please make a reservation at International Student Affairs Office.

問い合わせ先：留学生支援室 Contact: International Students Affairs Office
international@adm.nitech.ac.jp

主催：名城大学　キャリアセンター

留学生のための キャリア教育講座 第6回

企業に学ぶ、夢の実現の仕方！

参加費無料
先着30名様
（事前予約制）

［日時］▸▸▸ 12月23日（土）9:00～20:00

［目的］▸▸▸ 1　want・can・need を知る
2　企業の強みを知る
3　実現へのstoryを知る

「当日の流れ」

9:00　集合：名城大学天白キャンパス 附属図書館前、バスで移動

12:00　見学：1社目　飛騨高山の宿　本陣平野屋

2社目　（有）船坂酒造店

3社目　日進木工㈱

20:00　解散：名城大学天白キャンパス附属図書館前

名城大学　留学生就職促進プログラム

希望者は以下のメールアドレスまで「大学名・学部・学年・氏名・性別・生年月日」を送信してください

お申込
お問合せ先　TEL 052-838-2038　MAIL career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

（申込期限：12月12日　までに）

主催：名城大学　キャリアセンター

留学生のための キャリア教育講座 第7回

―多様な職業観を知る

仕事のやりがいや楽しさを見つけましょう！

参加費無料
先着30名
（事前予約制）

［日 時］▸▸▸ 1月27日（土）9:10–17:00

［会 場］▸▸▸ 講義：名城大学天白キャンパスN506教室
フィールドワーク：岐阜県 関市

●9:10–10:40【講義】 ゲスト講師　ブラザー工業（株）　CSR＆コミュニケーション部　杉村 良彦氏
オオサキメディカル（株）　営業本部　購買部　任 晗氏

●10:50–　バスで移動

●12:20–15:20【フィールドワーク】 ゲスト講師　せき・まちづくりNPOぶうめらん　代表 北村 隆幸氏
（株）アルファ　代表取締役社長　周 暁涛氏

●17:00　解散　名城大学天白キャンパスにて

名城大学　留学生就職促進プログラム

希望者は以下のメールアドレスまで「大学名・学部・学年・氏名・性別・生年月日」を送信してください

お申込み
お問い合わせ　TEL 052-838-2038　MAIL career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

（申込期限：1月17日　までに）

平成２９年度　留学生就職促進プログラム

ものづくり企業代表者＆留学生　交流会

共催：名城大学　キャリアセンター
経済産業省　中部経済産業局

中部地区では外国人留学生を積極的に採用、活用をする企業がたくさんあります。今回は外国人留学生の活用を考えている企業の代表取締役等にお越しいただきます。この機会を利用して、留学生と企業間の交流を図り、日本での就活に役にたつ情報収集ができるチャンスです。是非ご参加ください。

入場無料

日程	2018年 1月29日（月）
時間	14:50～16:20
会場	名城大学　天白キャンパス　N５０６教室
企業	サン樹脂（株）、シミズ工業（株）、（株）水貝製作所、（株）トーメーコーポレーション、東洋精鋼（株）、日本ハードウェアー（株）、（株）名神精工

交流会内容
・14:50-15:20 企業による紹介
・15:20-16:20 企業代表者と留学生との交流会

コーディネータ：(株)keisei　代表取締役　張　敬清

参加申込：以下のメールアドレス宛にご連絡ください。又、当日参加も可能。

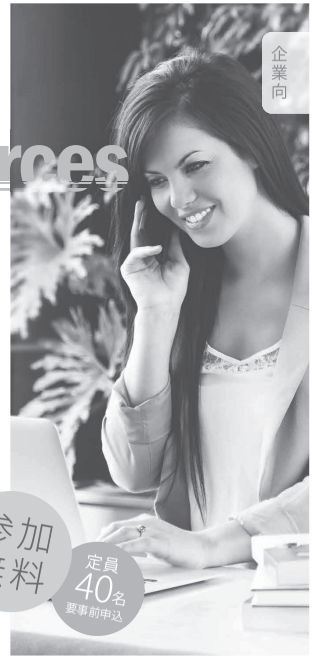
主催　名城大学　キャリアセンター
Email　career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

送信内容：件名　「企業代表者＆留学生交流会 参加申込」
大学名、氏名、学年、学部、国籍　（１月２５日までに）

岐阜県主催

企業向

Global human resources
外国人留学生 採用・活用セミナー



12/12（火）

平成29年 12月12日 火曜日
14:00～16:00 受付13:30～
会場：**じゅうろくプラザ 5F 小会議室1**

参加無料　定員40名 要事前申込

労働人口減少、グローバル化の中 日本語のできる外国人留学生の採用増加中！

少子化に伴い、日本の労働力不足は深刻な問題になっています。また、グローバル化に伴い、留学生を採用する企業は増加しています。

このような中、岐阜県内の企業においても、海外でも通用する人材の確保、グローバル競争力強化の観点から日本で就職を希望する外国人留学生を積極的に採用する企業が増えています。

本セミナーでは、外国人留学生の現状（日本語レベル・知識・能力・就職状況等）を、特に、東海三県の外国人留学生の現状に詳しい講師から直接話を聞くことができます。人材確保にお悩みの企業経営者、人事・採用担当者のみなさま、ぜひご参加ください。

Guest ゲスト

名古屋大学総長補佐
大学院経済学研究科
国際交流担当准教授
土井 康裕氏

ドイツで学部・修士（相当）、名古屋大学で博士学位を取得。名古屋大学で留学生担当講師などを経て、現在に至る

講演
「企業が留学生と一緒に成長するために」

大学で長年留学生指導に当たってきた立場から、留学生とどのように向き合い、どのように彼らの能力を活用するかについてお話しします。

特に、昨今進んでいる企業における新たな留学生活用の事例を踏まえ、企業の国際化や活性化へのヒントをご提供できればと考えております。

外国人留学生の活用事例を紹介
採用ノウハウを公開

Target 対象者

外国人留学生採用・活用に興味がある岐阜県内のすべての企業様
※定員に達し次第、申込みを締め切らせて頂く場合がございます。予めご了承下さい。

Sign up
参加はこちら

contact 問合せ先

主催：岐阜県　運営：Man to Man Animo株式会社　岐阜県岐阜市金町6-21 岐阜ステーションビル 7階
TEL 058-215-5511（担当：中島）　URL http://www.animostyle.jp
岐阜県商工労働部産業人材課　産学金官連携係　TEL 058-272-8406

岐阜県主催

Global human resources

参加無料

外国人留学生 採用・活用セミナー

12/12(火)

平成29年 12月12日 火曜日
14:00〜16:00 受付13:30〜
会場:**じゅうろくプラザ 5F 小会議室1**

Schedule スケジュール

企業向け **留学生採用セミナー** 12/12 → 企業向け **インターンシップ準備セミナー** 12/19 → 留学生×企業 **企業説明ミーティング** 1/11 → 留学生×企業 **インターンシップ参加**

対象
外国人留学生の採用に興味がある岐阜県内の企業

対象
外国人留学生のインターンシップ受入れに興味がある岐阜県内の企業

Program プログラム

14:00	開会あいさつ
14:05	講演　土井 康裕 氏
15:35	質疑応答
15:55	閉会の言葉
16:00	終了

参加申込書　FAX:058-215-5512　締め切り 12月5日(火)まで

法人名	業種
住所	
電話番号	FAX
E-mail	
参加者　役職	お名前
参加者　役職	お名前
留学生インターンシップの受入　□希望する □希望しない	
質問等ありましたらお書きください。	

contact 問合せ先

本事業は、岐阜県から受託し運営しています。
主催:岐阜県　運営:Man to Man Animo株式会社　岐阜県岐阜市金町6-21 岐阜ステーションビル 7階
TEL 058-215-5511(担当:中島)　**URL http://www.animostyle.jp**
岐阜県商工労働部産業人材課　産学金官連携係　TEL **058-272-8406**

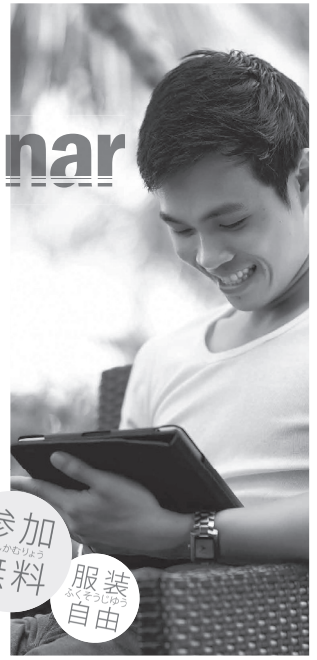
Sign up こちらからもお申込みできます

岐阜県主催

Job-hunting Seminar

外国人留学生向け 日本で就職したいっ! セミナー

全4回　場所 **じゅうろくプラザ**



参加無料　服装自由

日本で働くことに興味がある
留学生の皆さんのためのセミナーです
たくさんの留学生の皆さんの参加をおまちしています!

Date 日時

❶12/13(水) 17:30〜19:00 じゅうろくプラザ **4F 研修室2**
▶日本における就職活動の進めかた

❷12/18(月) 17:30〜19:00 じゅうろくプラザ **4F 研修室2**
▶ビジネスマナーの基本・ビジネス日本語の基本

❸12/21(木) 17:30〜19:00 じゅうろくプラザ **4F 研修室1**
▶自己分析　業界・企業研究

❹12/22(金) 17:30〜19:00 じゅうろくプラザ **4F 研修室2**
▶インターンシップを有効活用しよう!

Target 対象者

・**岐阜県内の大学、大学院、短大、高等専門学校、日本語教育機関等に在籍するすべての留学生**
・**日本語が話せる** ※日本語能力試験Ｎ２以上、または同程度の日本語能力がある(セミナーは日本語で行います。)

Internship インターンシップ

時期:**2018年1月〜3月**　実習先:順次おしらせします
※セミナー中に、インターンシップについてご案内します。

Contact 問合せ先

主催:岐阜県　運営:Man to Man Animo株式会社　岐阜県岐阜市金町6-21 岐阜ステーションビル 7F
TEL 058-215-5511(担当:中島・橋本)　**URL http://www.animostyle.jp**
岐阜県商工労働部産業人材課　産学金官連携係　TEL **058-272-8406**

Sign up
参加はこちら

定員40名

岐阜県主催

Job-hunting Seminar

参加無料

外国人留学生向け 日本で就職したいっ!セミナー

場所:**じゅうろくプラザ**

Schedule スケジュール

外国人留学生	留学生×企業	外国人留学生	留学生×企業
日本で就職したいセミナー	**インターンシップ企業説明**	**インターンシップ直前セミナー**	**インターンシップ参加**
12/13・18・21・22	1/11	1/23	1月〜3月

details 詳細

日時	場所	内容
12/13 17:30〜19:00	じゅうろくプラザ **4F 研修室2**	**日本における就職活動の進めかた** これから就職活動を始める人も、いま就職活動をしている人にも役にたつ情報がいっぱい!ぜひ参加しよう!
12/18 17:30〜19:00	じゅうろくプラザ **4F 研修室2**	**ビジネスマナーの基本・ビジネス日本語の基本** よい第一印象を与えるためのヒントがいっぱい。 ビジネス日本語は、実践をとおして、練習しよう!
12/21 17:30〜19:00	じゅうろくプラザ **4F 研修室1**	**自己分析、業界・企業研究** 就職活動において、自己を、希望する業界や企業を知ることはとても大切。講義と実践でその方法を身につけよう!
12/22 17:30〜19:00	じゅうろくプラザ **4F 研修室2**	**インターンシップを有効活用しよう!** 日本企業のインターンシップって?不安に思う方も多いはず。 インターンシップについてと、その魅力をお話しします!

4回すべて出席すれば、就職活動の準備はバッチリ! 日程が合う日のみの参加もOK!

※定員(40名)に達し次第、申込みを締め切らせて頂く場合がございます。予めご了承ください。 ※セミナーだけでも参加できます。

ACCESSMAP アクセスマップ

じゅうろくプラザ
岐阜県岐阜市橋本町1丁目10−11

■名神高速道路
各務原I.C.から 車で約20分

■JR東海道本線
岐阜駅から 徒歩2分

Sign up
参加はこちら

岐阜県主催

Internship

外国人留学生 インターンシップ

参加募集

日本で働くために企業で勉強しよう

岐阜県には、あなたの知らないすばらしい企業が、たくさんあります。
日本で働くために、日本の文化を経験するために、インターンシップに参加しよう!
時期:**2018年1月〜3月** インターンシップ先:順次おしらせします

Schedule スケジュール

申込み → 留学生×企業 **インターンシップ マッチング説明会** 1/11 → 外国人留学生 **インターンシップ直前セミナー** 1/23 → 留学生×企業 **インターンシップ参加** 1月下旬〜3月中旬

- QRコードからおもうしこみください。エントリーシートをおくります
- 希望どおりのインターンシップをおこなうため、企業との個別面談をします。
- 就職セミナーでは分からない、インターンシップのポイントをおしえます。
- **インターンシップ企業 12/20から ホームページに発表**

Target 対象者

・**岐阜県内の大学、大学院、短大、高等専門学校、日本語教育機関等に在籍するすべての留学生**
・**日本語が話せる** ※日本語能力試験N2以上、または同程度の日本語能力がある(インターンシップは日本語で行います。)

Sign up 申込方法

入力フォーム(http://form.animo-web.jp/Registration/student-internshipBriefing)よりお申し込みください。

Matching マッチング説明会

1/11(木) 14:00〜16:00 受付13:30〜
会場:**じゅうろくプラザ 5F 中会議室**
内容:インターンシップ受入先企業との個別面談

定員20名 ようじぜんもうしこみ要事前申込

Contact 問合せ先

主催:岐阜県 運営:Man to Man Animo株式会社 岐阜県岐阜市金町6-21 岐阜ステーションビル 7F
TEL 058-215-5511(担当:中島・橋本) **URL http://www.animostyle.jp**
岐阜県商工労働部産業人材課 産学金官連携係 TEL **058-272-8406**

ジェネラルインターンシップについて

本学は、平成19年度に文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）に（若き・支え・促し）連携キャリア教育プログラムが採択されました。これに伴い、本学独自のインターンシップ制度「ジェネラルインターンシップ」を立ち上げ、学生の積極的な参加を推進してきました。プログラム採択事業としては、平成21年度末で終了しましたが、現在も大学独自の取組として継続しています。

1 自分理解を深める
2 仕事・業界の理解を深める
3 勤労観を培い、自身の将来像を展望する

▶ 工科系大学に特化したキャリア教育の一環として学生の社会的・職業的自立を目指して

特に「1 自分理解を深める」に関しては、インターンシップでの経験が非常に役立ちます。本学では、経済産業省の「社会人基礎力」を使って、自分自身の主観的評価と企業担当者の客観的評価から自己の強み、弱みを理解することを促しています。

社会人基礎力とは

（3つの能力／12の要素）

前に踏み出す力（アクション）
～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～
- 主体性　物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力　他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力　目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力（シンキング）
～疑問を持ち、考え抜く力～
- 課題発見力　現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力　課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力　新しい価値を生み出す力

チームで働く力（チームワーク）
～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～
- 発信力　自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力　相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性　意見の違いや立場の違いを理解する力
- 情況把握力　自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性　社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力　ストレスの発生源に対応する力

※「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。

（出典：経済産業省 ホームページ）

ジェネラルインターンシップ実施概要

受入期間	8月上旬～9月下旬（夏季休業期間中）で、最低2週間・実働10日以上の期間とします。
実習プログラム	貴社・貴機関にて御設定ください。
受入人数（本学枠）	貴社・貴機関指定の人数
対象	工学部第一部3年生、工学部第二部4年生が対象です。
選考方法	本学で学生の履歴書と志願票を取りまとめさせていただきます。貴社・貴機関にて学生の書類選考をお願いします。
カリキュラム上の取扱い	原則として正課外活動であるためカリキュラム外であり、成績評価及び単位認定を行いません。

年間スケジュール

4月	企業・機関受入照会 インターンシップガイダンス
5月上旬	受入企業・機関から受入書受領
5月中旬	学生へ企業・機関情報公開・申込受付
6月下旬	学生の履歴書・志願票を企業に送付
7月中旬	企業・機関にて学生選考　結果通知
7月末まで	受入等の調整・準備
8－9月	実習期間
9－10月	評価報告書等提出

※本学学生の受入を御検討いただける場合は、学生生活課　就職・キャリア支援係まで御連絡ください。詳細を御説明させていただきます。

研究インターンシップについて

これまでに学んだ知識や技術を実践で活用し、研究能力を向上させると共に、工学人材としての実力を身に付けることを目的とします。

❶ 多様なものの見方や考え方に対する理解と、研究手法の多様性に対する協調力を体得する

❷ 工科系単科大学に少ない理学を多く学び、理学に裏打ちされた研究力を体得する

❸ 実社会で要素技術を価値あるモノに変化させる力を体得する

❹ 必ずしも解が一つでない課題に対して、種々の学問・技術を利用して、実現可能な解を見つけ出していく能力の向上

研究インターンシップ実施概要

受入期間
8月～翌年3月で、3か月～6か月の期間とします。

実習プログラム・受入人数・選考方法
貴社・貴機関の実習担当者、本学の指導教員、実習を希望する学生で協議のうえ、御決定ください。

対象
以下の条件を満たした大学院1年生（博士前期課程）が対象です。

- 知的財産権特論Ⅰ・Ⅱの履修
- 工学倫理特論Ⅰ・Ⅱの履修
- CITI Japan　eラーニングの受講（研究倫理）
- 派遣オリエンテーションの参加
- 保険の加入

カリキュラム上の取扱い
正課のカリキュラムであり、各専攻において成績評価及び単位認定を行います。
（各専攻の専門科目：研究インターンシップ）

年間スケジュール

4月～7月	事前研修及び本学と受入先において受入等の調整
8月～翌年3月	実習期間及び成果報告会等

※研究インターンシップにおいては貴社・貴機関と本学において、「協定書」の締結をお願いします。
※研究インターンシップは、貴社・貴機関の研修担当者と本学教員が、緊密な連携のもと実施するインターンシップです。以下の本学教員の「研究者データベースシステム」を御覧いただき、教員及び研究内容等を御確認ください。

研究者データベースシステム　http://researcher.nitech.ac.jp/

※教員及び研究内容等によっては、御相談に応じられないことがありますので、御承知おきください。
※本学学生の受入を御検討いただける場合は、学生生活課 就職・キャリア支援係まで御連絡ください。詳細を御説明させていただきます。

公募型インターンシップの取扱いについて

インターンシップの情報について、学生生活課　就職・キャリア支援係まで郵送・メール等の方法により情報を御提供ください。就職資料室の学生掲示板等で周知させていただきます。
※実習予定の学生は、本学の責任において、傷害及び賠償保険（学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険）に加入させます。なお、学生が故意または過失により貴社・貴機関に対する損害を及ぼした場合、本学が連帯保証を負うことはできませんことを御承知おきください。
※実習予定の学生に関して、本学との間に覚書等の締結を希望する場合は、御相談ください。

「岐阜県主催　外国人留学生インターンシップ」説明会

International Student Internship Program Briefing Session hosted by Gifu Prefecture

「岐阜県主催 外国人留学生インターンシップ」の運営を担当しているMan to Man Animo株式会社のスタッフが、下記のとおり説明会を開催します。県内企業でのインターンシップについて、情報収集ができますので、ぜひ、この機会を利用してください。留学生の皆さんのご参加を心よりお待ちしています。

日　時：２０１８年2月7日（水）10：00～12：00

会　場：地域科学部・全学共通教育棟Ａ-４０４（留学生センター）

外国人留学生インターンシップ受入企業（15社）：アサヒフォージ株式会社、株式会社エヌテック、有限会社大橋量器、岐セン株式会社、株式会社キョウワ、株式会社黒田製作所、株式会社ＴＹＫ、株式会社テクノプレニードヒダ、株式会社ナベヤ、鍋屋バイテック株式会社、株式会社ブルーメイト、丸栄コンクリート工業株式会社、株式会社水生活製作所、株式会社武芸川精工、矢橋ホールディングス株式会社

主　催：グローカル推進本部

お問合せ＆申込先　岐阜大学　グローカル推進本部留学支援室
TEL:058-293-2011　E-mail:gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp

事前に留学支援室にお申込みください。当日会場にて受付も可能です。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

― 2017 年度　海外インターンシップ募集 ―

研修先：IMRA America （アメリカ・ミシガン州）　URL:http://www.imra.com

・アイシン精機関連会社
・コア技術：フェムト秒レーザー・名工大との共同研究など交流がある企業です。

1. 募集人数　　2名程度　　学内審査後 IMRA 社面談（5月中旬@学内）で実施

2. 研修日程　2017 年 8 月下旬 ～ 9 月下旬（約1ヶ月の予定）

3. 研修場所　アメリカ カリフォルニア州 フリーモント市
　　イムラアメリカ Application Development Center

4. 応募要件
　A)　大学院学生 （原則1年生）
　B)　研修予定分野
　　フェムト秒ファイバーレーザーを用いた加工応用実験
　C)　共通必要要件
　　（ア）　英語　英語業務を行うレベルの意志疎通が可能で J1 ビザ取得に必要な英語力（目安 TOEIC600 点以上）
　　（イ）　パソコン　MS エクセル又はオリジンなどの表計算ソフト、及び MS ワード等の MS オフィースソフトが Windows 上で使える事

5. 費用等
　　渡航費、交通費、宿泊費は負担不要
　　食事手当　15$／日支給。 その他は自費

6. 研修予定分野
　A)　レーザー加工装置開発
　　精密リニアモーションステージ、ガルバノスキャナー等を組み合わせたレーザー加工装置の制御ソフト開発を行っていただきます。まずは既存の加工装置によるレーザー加工体験をしていただき、その後 LabVIEW もしくは C を用いてユーザーインターフェースの開発を行っていただきます。プログラミングに関しては基礎的な経験があることが必須。ユーザーの立場に立って、こんなのあったら便利かも？と言うアイデアを自分で出していただきながら制御ソフト開発に携わっていただきます。

　B)　レーザー加工プロセス開発
　　弊社製のフェムト秒ファイバーレーザーを用いて新規加工プロセス開発を行っていただきます。詳細は未定ですが、複数のテーマから最も興味あるものを選んでいただき新技術の開発を行っていただきます。ゴールはこちらでは設定しておりませんので、ご自分のアイデアを出しながら技術創出する事に興味がある方を求めています。
　　特に必要なスキルはありませんが、光学と材料科学に関する基礎知識があることが望ましい。

応募要領：下記宛てに参加希望の Email を下さい。折り返し申請書を送付します。

申込先：学生生活課 就職・キャリア支援室（19号館10番窓口）
　　e-mail:syusyoku@adm.nitech.ac.jp

応募〆切：2017 年 4 月 24 日

外国人留学生のみなさん

主催：愛知県

外国人留学生インターンシップに参加してみませんか？

全学年対象
参加費無料

愛知県では、日本の企業に就職したい外国人留学生の皆さんを対象に、日本企業でのインターンシップ（就業体験）を実施します。
今後の就職活動の参考になりますので、ぜひご参加ください。

実施時期

２０１７年8月中旬頃～９月中旬までの間（２週間程度）

※　具体的な日程は、受入企業によって変わります。

参加資格

愛知県内の大学等（短大、大学、大学院及び高等専門学校）に在籍、又は愛知県内に在住する外国人留学生です。

- 日本語能力試験Ｎ２以上、又はそれと同程度の日本語能力が必要で、インターンシップはすべて日本語で行われます。
- 参加にあたっては、大学等からの推薦が必要です。

受入企業

愛知県内に事務所・事業所がある企業です。

- 受入企業の情報は、以下の愛知県ウェブページに順次アップしていきますので、最新情報をご確認ください。（http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/h29internship.html）

条件など

- 受入企業からの報酬（賞金）はありません。交通費や食費なども基本的には支払われませんが、企業によっては交通費等を支給してくれるところもあります。
- インターンシップ期間中にけがをしたり、受入企業に対して損害を与えた場合のために、主催者側の負担で保険に入ります。

申込方法

- 参加を希望する方は、各大学の留学生担当又は就職（キャリア）支援担当にお問い合わせ、お申し込みください。★☆★申し込み期限：２０１７年６月５日（月）★☆★
- エントリーシートは県のウェブページからダウンロードしていただけます。
（http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/h29internship.html）

愛知県政策企画局国際課国際戦略第二グループ　[Tel]052-954-6872　[E-mail]kokusai@pref.aichi.lg.jp

めいじょうだいがくりゅうがくせいしゅうしょくそくしん
名城大学留学生就職促進プログラム

名城大学インターンシップ報告会　ご案内

日本の企業でのインターンシップを知り、
就業体験（インターンシップ）をしてみませんか？

日時：平成29年11月16日（木）4限（14：50～16：20）

会場：名城大学　共通講義棟北102（N102）

名古屋市天白区塩釜口1-501

地下鉄鶴舞線　塩釜口駅下車　一番出口（右）徒歩４分

内容：

1. 留学生のインターンシップ報告会
2. 質疑応答等
3. 春季インターンシップ説明（名古屋外国人雇用サービスセンター）

定員：130名（予約不要）

≪問合せ先≫

名城大学　キャリアセンター
TEL：(052) 838-2038

2017年度名城大学留学生就職促進プログラム

日本企業を「内」から体験してみよう！

インターンシップ報告会

どなたでも参加可

申込不要

留学生のみなさん、日本でのインターンシップを経験したことがありますか？
インターンシップは組織を「外」からではなく、「内」から見る大変貴重な機会です。日本の企業文化を体験でき、自分と日本企業とのマッチングでもあります。

今回の報告会では、今年の夏に一般社団法人、公益財団法人でインターンシップを経験した留学生が体験を語ります！
なお、ゲスト講師としてＮＯＰ法人の専務理事田辺友也氏をお招きし、ＮＰＯ法人でのインターンシップ情報も紹介します。

インターンシップの中身は何ですか？

先輩の経験を聞きたい

インターンシップ参加のポイント

日時 12月14日(木) 14:50－16:20

場所 名城大学 天白キャンパス N102

発表者 鄭 子茂さん、朱 曦さん

講師 NPO法人まちづくりスポット 専務理事 田辺 友也氏

コーディネーター：㈱keisei 代表取締役 張敬清

お問い合わせ先

名城大学 キャリアセンター

TEL 052-838-2038

Email career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

平成29年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム

留学生 × 中部経済同友会

意見交換＆懇談会

中部経済同友会は、中部地区の企業経営者が個人で入会し、勉強や意見交換、交流を行う経済団体です。会員数は約980名。
取り扱うテーマは、地域経済、観光振興、国際交流等。企業、地域、社会が抱える課題を見つけ研究し、解決又は改善策を考えています。
本企画は、同友会員の方々と、元留学生社員の方々に本学にお越しいただき、皆さんと卒業後の就職・キャリアについてお話できる機会です。

日本で働くことについて考える絶好の機会です！
見逃さず参加しましょう！

日時 2018年1月25日（木）
1部→16：30～18：40
パネルディスカッション＆座談会
2部→18：40～19：10　懇談会
（軽食をご用意します）

場所 名古屋大学NIC館 1階Idea Stoa
http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/access

詳細 言語：日本語
対象:名大留学生
服装: 自由　参加料: 無料
定員:50名

申込方法 オンラインフォームから応募
締切：2018年1月12日
URL： https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/86

連絡先 キャリア支援室（国際棟　1階　107室）
TEL: 052-747-6768
Email: career@iee.nagoya-u.ac.jp

※本企画は、中部経済同友会様の協力を得て実施いたします。

岐阜大学留学生のみなさん、
海外で働いてみたい岐阜大学生のみなさんへ

Sweets 試食会　参加費 無料!!

地元企業との交流会開催!!

開催日時

2017/11/15 (WED)

第1部 Sweets試食会 13:00～14:30

第2部 交流会 14:30～17:15

(受付開始14:00)

開催場所

第1部 Sweets試食会

研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階
ミーティングルーム

第2部 交流会

岐阜大学 第2生協

プログラム

第1部 Sweets試食会
13:00～14:30 Sweets 試食会

第2部 交流会
14:30～14:45 開会の挨拶 事務局
14:45～15:45 参加企業からのプレゼンテーション
15:45～16:00 休憩
16:00～17:15 懇親会
17:15 閉会の挨拶 事務局
(17:00 より抽選会を開始)

参加方法

事前にお申込みください。
当日会場にて受付も可能です。

主催共催

国立大学法人 岐阜大学 グローカル推進本部・岐阜信用金庫

参加企業

アサヒフォージ㈱
㈱オンダマテック
岐阜産研工業㈱
KTX㈱
㈱島由樹脂
㈱TACT 髙井法博会計事務所
㈱ナベヤ
㈱武芸川精工
今井航空機器工業㈱
和月ホールディングス㈱
岐阜プラスチック工業㈱
サンラリー㈱
昭和商事㈱
㈱トーカイ
㈱樋口製作所
㈱メイホーホールディングス

※試食会は別企業となります。

16社(50音順)

お問合せ先

岐阜大学 グローカル推進本部 058-293-2142

岐阜大学　すばらしい明日をつくる 岐阜信用金庫

愛岐留学生支援コンソーシアム事業 / 文部科学省委託事業　留学生促進プログラム

岐阜大学
秋の国際月間
2017

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

留学生就職促進プログラム講演会（無料）

外国人留学生の採用動向 ＆活用事例紹介

就職活動を進めるにあたって、日本企業が外国人留学生に何を求めているか知ることが大切です。外国人留学生の就職状況や就職活動の基本に関する講演会を開催します。就職を希望する全ての外国人留学生が対象です。ぜひ、ご参加ください。

主催：岐阜大学グローカル推進本部

日時

2017年
11月17日(金) 14:30-16:00

場所：第6集会室（大学会館2F）

第1部

14:30～15:10

中部地域における企業の
外国人留学生採用動向

講師：南田　あゆみ氏（みなみだ　あゆみ）
三菱UFJリサーチ＆コンサルティング㈱

第2部

15:10～15:50

当社の外国人材の活用
事例紹介

講師：佐竹　将昭氏　（さたけ　まさあき）
㈱ナベヤ

SINCE 1560 株式会社 ナベヤ

お問合せ & 申込先

岐阜大学　グローカル推進本部留学支援室
TEL:058-293-2011　E-mail:gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp
事前に留学支援室にお申込みください。当日会場にて受付も可能です。

「外国人留学生交流フォーラム」
～日本企業の中にある活躍の場所～

開催日時：平成２９年１１月２２日（水）１４：３０～１６：３０
会　　場：岐阜大学研究推進・社会連携機構 1F ミーティングルーム
問合せ先：グローカル推進本部留学支援室　TEL: 058-293-2142
E-Mail: gjai05019@jim.gifu-u.ac.jp

◎地域から期待される地元の学生へ（留学生・一般学生）

- 岐阜県には、グローバルなビジネスに取り組む優れた企業がたくさんあります。
- 講演、パネルディスカッション、グループ座談会を通じて、直接企業と交流することができます。
- 「企業はどんなビジネスに取り組み、学生にどんなことを期待しているか」
  「学生にとって、地域の企業にはどのような活躍の場所があるか」を知る良い機会です。
- フォーラムに参加して企業の方と交流する機会を持つことは、自らの活躍のチャンスを広げることにつながります。

内容

14:00　受付開始
14:30　開会挨拶
14:40　十六総合研究所による講演
　岐阜県内企業による自社紹介「アピ株式会社」「株式会社 KVK」
15:10　パネルディスカッション
　「日本企業の中にある外国人留学生の活躍の場所」をテーマにした内容
15:50　岐阜県内企業と学生によるグループ座談会
16:30　終了

「外国人留学生交流フォーラム 申込書」

一般学生も大歓迎！

下記にご記入のうえ、岐阜大学グローカル推進本部留学支援室（岐阜大学図書館１Ｆ）に提出してください。メールでも申込可能です。（gjai05019@jim.gifu-u.ac.jp）

参加者お名前	学部・研究科	学科・専攻	国籍

【共催】

十六銀行　Juroku RI　十六総合研究所 Juroku Research Institute Company Limited　GIFU UNIVERSITY　国立大学法人 岐阜大学

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

2017年度 岐阜大学 秋の国際月間 講演会
マレーシアに向けた商品設計と企業展開

『商品設計に欠かせないもの(文化・言語）』

マレーシア国民大学(UKM)　人文科学部　外国語・翻訳学科　日本語部　日本語教師
東京外国語大学　言語文化学部　マレーシア語学科　特定外国人講師

アズヌール・アイシャ・アブドゥッラー 氏

2010年から2017年3月までUKM日本語部においてコーディネーターを勤める。電子電気工学の学士（群馬大学）および言語学の修士（UKM）を取得後、コンピューターを用いた日本語教育、日本語-マレー語翻訳、電気電子工学、第二外国語としての日本語教育を専門とし、関連分野の研究・出版を行うほか、日本やマレーシアの多国籍企業での就業経験を持つ。

『マレーシアに展開する日本企業』

経済産業省商務サービスグループ
クールジャパン海外戦略室長

手島　恵美 氏

1996年日本貿易振興機構（JETRO）入構。2008年～2013年JETROクアラルンプール事務所駐在。帰国後、東京本部海外調査部アジア大洋州課課長代理として、マレーシア及びASEANの調査を担当。2015年～2017年岐阜貿易情報センター所長として岐阜県内企業の海外進出を支援。2017年7月から現在まで、経済産業省クールジャパン海外戦略室長として勤務。主な著書に「マレーシアビジネスガイド（第2版）」など。

参加費 無料

平成29年 11/24 金

13:30-14:15　アズヌール・アイシャ・アブドゥッラー氏
14:15-15:00　手島　恵美氏

将来、海外で働いてみたい方。東南アジアの国々に興味がある方。
貴重なお話が聞けるチャンスです。ぜひお見逃しなく！！

場所　アクティブ・ラーニング教室1A（全学共通教育棟１階）

言語　日本語

主催・共催　岐阜大学グローカル推進本部・留学生センター

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業　留学生就職促進プログラム

お問い合せ先：グローカル推進本部 国際総務室
TEL: 058-293-2139　E-MAIL: gjai05102@jim.gifu-u.ac.jp

聴講者募集

第１６回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会

岐阜地域留学生交流推進協議会が開催する日本語弁論大会は、今年で 16 回目を迎えます。岐阜県内の教育機関に在学する外国人留学生の日本語学習意欲の喚起、及び日本語の表現能力の向上を目的として開催しています。今年は、岐阜県内の 12 名の外国人留学生が発表します。弁論大会後には、企業等との交流会も予定しています。皆様のご来場をお待ちしています。

日時・会場：

2017 年 11 月 25 日（土）

第１部 弁論大会　13：30 ～ 17：00
会場：岐阜大学講堂
第２部 企業等との交流会　17：15 ～ 18：15
会場：岐阜大学地域科学部棟１階
［地１０１講義室］

※　第２部のみの参加も可

入場無料

大会日程：

12:30 ～	受付
13:30 ～ 13:40	開会式
13:40 ～ 15:50	スピーチ
16:20 ～ 16:50	表彰式
17:15 ～ 18:15	企業等との交流会

主　催：岐阜地域留学生交流推進協議会
共　催：国立大学法人岐阜大学
　　愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業
　　文部科学省委託事業留学生就職促進プログラム
後　援：大垣共立銀行、十六銀行
協　力：（公財）岐阜県国際交流センター

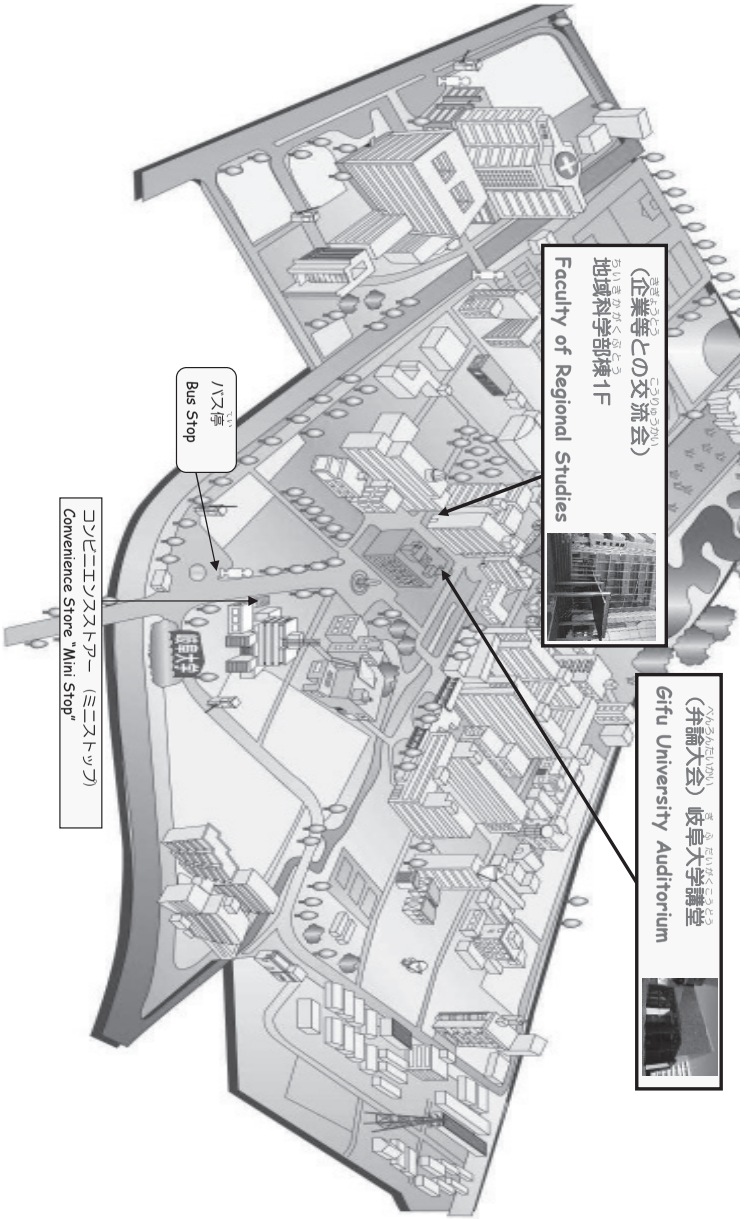
第 15 回大会発表者と審査員のみなさん

問合せ：国立大学法人岐阜大学グローカル推進本部留学支援室内（岐阜大学図書館 1F）
岐阜地域留学生交流推進協議会事務局（小林）
TEL: 058-293-2011, FAX: 058-293-2143
Ｅメール: gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp

申込不要

Gifu University Campus Map

2017年11月25日（土）
第１部　弁論大会　13：30~17：00
会場：岐阜大学講堂
第２部　企業等との交流会　17：15~18：15
会場：岐阜大学地域科学部棟１F［地１０１講義室］



平成 29 年 11 月 10 日

会　員　各　位

一般社団法人 岐阜県経営者協会

文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」説明会のご案内
～愛岐（愛知・岐阜）留学生就職支援コンソーシアム～

拝啓 晩秋の候、益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

さて、岐阜県経営者協会は、名古屋大学、名古屋工業大学、岐阜大学、名城大学、ほか地方公共団体、民間団体等による「留学生就職促進プログラム」に参画する事になりました。

岐阜県を含め東海地区は、既に国際展開している企業が多く、また、今後の人材確保という面からも、留学生の採用に関心をお持ちの企業様もおありかと存じます。当協会においても、留学生の採用に関する情報提供は、多様な人材確保という観点からも意義あるものと考えております。

つきましては、今回、岐阜大学、岐阜県経営者協会の共同主催におきまして、下記のとおり、当事業の概要、および留学生の現状等についてご説明会をいただく機会を設けました。多数の企業の皆様のご参加をお待ちしております。

敬　具

記

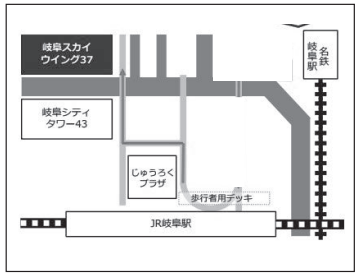
1．日　時　平成２９年１２月５日（火）
15：00～17：00

2．場　所 岐阜大学　サテライトキャンパス
岐阜スカイウイング東棟４Ｆ多目的講義室(大)
（会場連絡先：058-212-0390）
https://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/

3．参加費　無　料

4．定　員　５０名　（先着順）

5．お申込み期限　１１月２７日(月)
裏面申込書を FAX にてご返信下さい。



JR 岐阜駅　北口から徒歩 5 分

6．スケジュール

15：00　開会挨拶　岐阜大学　理事　副学長　鈴木　文昭　氏

15：05 ～ 15：45　「愛岐留学生就職支援コンソーシアムの概要について」
名古屋大学　総長補佐　土井　康裕　氏

15：50 ～ 16：30　「岐阜大学の留学生支援に関する取組について」
岐阜大学　学長補佐　小山　博之　氏

16：30 ～ 16：45　質疑応答

16：45 ～ 16：55　名刺交換

17：00　閉会挨拶　岐阜県経営者協会

7．お問合せ先　（一社)岐阜県経営者協会　澤村　TEL：058-266-1151　FAX：058-266-1153

※お申込書、および事業概要の説明は裏面にございます。

留学生就職促進プログラム　説明会　参加申込書　12 月 5 日（火）開催

お申込みは**下記にご記入頂き、ＦＡＸにてご返信下さい。ＦＡＸ（０５８）２６６－１１５３**

会社名	ＴＥＬ ＦＡＸ e-mail
(ご参加者)所属部署・役職	ご参加者名
(ご参加者)所属部署・役職	ご参加者名

以　上

～留学生就職促進プログラムの事業概要～　**文部科学省委託事業**

成長戦略における「外国人材の我が国企業への就職の拡大」に向け、各大学が地域の自治体や産業界と連携し、就職に必要なスキルである「日本語能力」「日本での企業文化等キャリア教育」「中長期インターンシップ」を一体として学ぶ環境を創設する取組を支援し、外国人留学生の我が国での定着を図るとともに、日本留学の魅力を高め、諸外国から我が国への留学生増加を図る。

東海地区は、製造業を中心とした産業の発展と共に、近年求人倍率が増加している。当地域では、高い技術力を有し、既に国際展開している企業も多く、その中には留学生の採用に興味を持っている企業も少なくない。これまでにも、大学や地方公共団体は様々な取り組みを行ってきたが、個別に独立しており、総合的な人材育成や留学生の就職支援として機能していない部分があった。**本事業では、留学生が日本国内の企業、または海外の日本企業に就職することを目的とする。3 年間における留学生の就職者数は毎年 5%の増加を目指す。**

事業期間　平成 29 年 6 月 26 日～平成 34 年 3 月 31 日
参画機関　【大学】名古屋大学、名古屋工業大学、**岐阜大学**、名城大学
【地方公共団体】愛知県、**岐阜県**、JETRO 名古屋
【民間団体等】中部経済連合会、中部経済同友会
愛知県経営者協会、**岐阜県経営者協会**

お申込みは、当用紙をこのまま FAX にてお送り下さい。

FAX：０５８－２６６－１１５３

（参加票はお送り致しませんので、当日この用紙をお持ち下さい）

一般社団法人 岐阜県経営者協会
Gifu Employers' Association

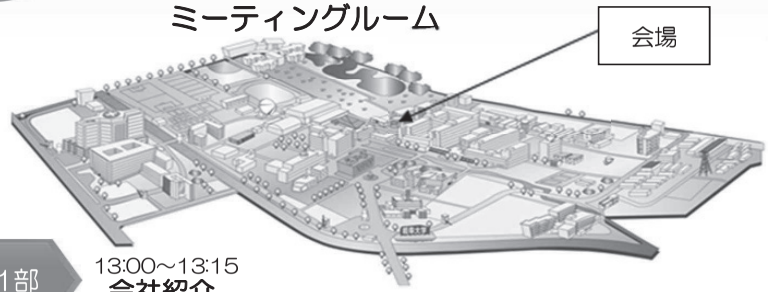
外国人留学生積極活用企業
代表者との交流会

中部地区では外国人留学生を積極的に採用、活用をする企業がたくさんあります。今回は外国人留学生の活用を考えている企業の代表取締役等にお越しいただきます。この機会を利用して、ぜひ留学生と企業間の交流を図り、日本での就活に役に立つ情報収集をしてください。

共催：岐阜大学グローカル推進本部
経済産業省　中部経済産業局

日時　2018年 1月24日 水 13:00-14:30

会場：岐阜大学研究推進・社会連携機構1Ｆ
ミーティングルーム



第1部　13:00～13:15
会社紹介

第2部　13:15～14:30
ものづくり企業 社長等との交流会、質疑応答
ものづくり企業の代表取締役等への直接質問、情報交換ができます。

ものづくり企業参加者：
（株）東和製作所　代表取締役、　（株）名神精工　代表取締役、
（株）トーメーコーポレーション　総務部主任、
日本ハードウェアー（株）代表取締役社長、（株）水貝製作所　代表取締役

外国人留学生のための積極活用企業 代表者との交流会　申込書

下記にご記入の上、岐阜大学グローカル推進本部留学支援室（図書館1Ｆ）に提出してください。メールでも申込み可能です。E-mail:　gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp　当日会場にて受付も可能です。

参加者お名前	学部・研究科	国籍

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

外国人留学生対象

「社長」を囲む「夕食懇談会」

＊＊＊＊＊　参加者募集中！　＊＊＊＊＊

ゲスト：　三幸電機株式会社　代表取締役社長　三枝弘典氏

参加料・食事代 **無料**

［日　時］ 2018年1月30日（火）
PM6：00～PM7：30

［会　場］ 岐阜大学図書館1階会議室

［参加人数］ 先着　10　名

三幸電機株式会社について

- 1951年創業、今年で67年目
- 企業コンセプト：「3+」もう一つ上の創意、熱意、誠意
- 愛知県名古屋市で生まれた会社
- 北米、ASEAN、中国へ積極的に海外展開しています
- 電子機器を設計から、開発、製造、販売まで
- 国内外合わせて日本国籍以外の従業員比率85%

～「社長の本音」「経営者の気持ち」をじっくり聞いてみよう～

岐阜大学　グローカル推進本部留学支援室

お申込み
お問い合わせ　TEL:058-293-2011　E-mail:gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp

留学支援室にお申込みください。先着10名にて締め切ります。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

名古屋工業大学　留学生センター　主催

留学生就職推進プログラム
スズキ株式会社・スズキ歴史館見学旅行
Trip to SUZUKI Motor Cooperation and SUZUKI Plaza

留学生センターでは外国人留学生および外国人研究者と日本人学生の多文化交流見学旅行（少人数グループ行動）を下記のとおり実施します。

Let's make friends through this amazing tour!

◆日時/DATE:　平成29年11月1日(水) Wednesday, November 1st 2017
9:30~18:30

◆集合場所/MEET at:　本学図書館前/In front of NITech Library

◆募集人数/Capacity:　57人/participants
本学外国人留学生・研究者及び日本人学生
NITech international students, researchers and Japanese students)

◆参加費/FEE:　200円/yen
入館料、交通費及び国内旅行傷害保険を含む
This includes entrance fees, transportation expenses and travel accident insurance

【行程/Schedule】

9:30	集合・出発/Meet in front of NITech library
11:00-13:00	豊川稲荷散策及び昼食/Visit TOYOKAWA INARI Shrine and Lunch
14:30-16:30	スズキ株式会社訪問及びスズキ歴史館見学 Visit SUZUKI Mortor Cooperation and SUZUKI Plaza
18:30	名工大到着/Arrive at NITech

名古屋工業大学　留学生センター　主催

留学生就職推進プログラム
サン電子株式会社・CKD株式会社見学旅行
Trip to Sun Corporation and CKD Corporation

留学生センターでは外国人留学生および外国人研究者と日本人学生の多文化交流見学旅行（少人数グループ行動）を下記のとおり実施します。
Let's make friends through this amazing tour!

◆日時/DATE：　平成２９年１２月８日（金） Friday, December 8th 2017
８：１５～１７：１０

◆集合場所/MEET at：　本学図書館前/In front of NITech Library

◆集合時間/Meeting Time：８：１５

◆募集人数/Capacity：　５７人/participants
本学外国人留学生・研究者及び日本人学生
NITech international students, researchers and Japanese students

◆参加費/FEE：　２００円/yen
交通費及び国内旅行傷害保険を含む
This includes transportation expenses and travel accident insurance

【行程/Schedule】

8:15	集合・出発/Meet in front of NITech library
9:30-11:00	サン電子株式会社訪問/Visit Sun Corporation
11:40-13:10	犬山城　昼食/Visit INUYAMA Castle and lunch
13:50-16:20	CKD株式会社/Visit CKD Corporation
17:10	名工大到着/Arrive at NITech

CKD

名古屋工業大学　留学生センター　主催

留学生就職推進プログラム
セイコー　エプソン見学旅行
Trip to SEIKO EPSON CORPORATION

留学生センターでは外国人留学生および外国人研究者と日本人学生の多文化交流見学旅行（少人数グループ行動）を下記のとおり実施します。
Let's make friends through this amazing tour!

◆日時/DATE：　平成３０年２月１４日（水）
Wednesday, February 14th 2018
８：００～１９：４０
◆集合場所/MEET at：　本学図書館前/In front of NITech Library
◆集合時間/Meeting Time：７：４５
◆募集人数/Capacity：３７人/participants（先着順/First come first served basis）
本学外国人留学生・研究者(27名)、日本人学生(10名)
NITech international students, researchers (27 people) and Japanese students (10 people)
◆参加費/FEE：　２００円/yen
交通費及び国内旅行傷害保険を含む
This includes transportation expenses and travel accident insurance

【行程/Schedule】
7:45　集合・出発/Meet in front of NITech library
11:30-12:30　松本城　昼食/ Visit MASTUMOTO Castle and lunch
13:00-16:15　セイコーエプソン株式会社訪問/Visit SEIKO EPSON
19:40　名工大到着/Arrive at NITech

EPSON
EXCEED YOUR VISION

どなたでも参加可 申込不要

留学生就職促進プログラム
シンポジウム

～日本企業で働くことの効果と課題～

留学生30万人計画の一環として、外国人留学生の国内・日経企業への就職率の向上を我が国は目指しています。
しかし、日本企業への就職は容易ではありません。
日本特有の就職活動、留学生の日本語能力やキャリア教育不足等の課題もあります。
当シンポジウムでは、日本企業で働く留学生OB・OGや留学生を受け入れる企業からの事例を通し、日本企業に就職することの効果と課題を考えます。

2017年
11月18日（土）13:10-14:40
会場：名城大学天白キャンパス　共通講義棟北N102

コーディネーター
加藤輝美 氏（㈱ケイクリエイト創業者）

シンポジスト
加藤明彦 氏〈エイベックス㈱　代表取締役会長〉
翁　皓珣 氏〈ACTMAX TECHNOLOGIES INC.〉
グエン・ヴァン・ハイ 氏〈㈱ジェイアンドダブルトレーディング〉

お問い合わせ
名城大学　キャリアセンター
名古屋市天白区塩釜口1－501
Career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

申込不要

留学生就職促進プログラム シンポジウム

外国人留学生と地域とのつながり

外国人留学生が国内・日系企業への就職を希望しても容易ではありません。際立つ特徴も必要です。今回はボランティア活動等の体験報告を通して、就職に役立つ経験や留学生の地域活動について考えます。

日時
2017年
12月7日 木 13:10–14:40

場所
名城大学天白キャンパス 共通講義棟北N412
名古屋市天白区塩釜口1-501

コーディネーター
張　敬清 氏（株式会社keisei 代表取締役）

シンポジスト
北山 克己 氏（守山リス研究会 会長）

佐原恵津子氏（ボラみみより情報局）

近藤 萌生 氏（NAGOYA学生キャンパス「ナゴ校」）

お問い合わせ
名城大学 キャリアセンター
Career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

どなたでも参加可 申込不要

外国人留学生活躍フォーラム

こんなことを知りたい人はぜひ来てください！

日本企業の採用動向、活躍の機会

企業の事業展開に伴う人材戦略

外国人の活用方針、先輩の活躍状況

登壇企業：

三菱UFJリサーチ＆コンサルティング㈱
MUFG

主任研究員
南田 あゆみ氏
（みなみだ あゆみ）

～繊維商社～
豊島㈱
TOYOSHIMA

人事部 参与
田口 剛氏
（たぐち たけし）

～製造業～
三洋電子㈱
SANYO DENSHI

代表取締役 社長
青木 信真早氏
（あおき のぶまさ）

日時 2017 年10 月26日(木) 午後13:10～14:40

会場 名城大学 天白キャンンパス N412教室

主催 名城大学 キャリアセンター

第1部	中部地域における企業の留学生採用動向 講演者：南田 あゆみ氏 （三菱UFJリサーチ＆コンサルティング㈱）
第2部	事例紹介（事業内容、外国人社員の活躍状況紹介） 登壇企業：豊島株式会社、三洋電子株式会社

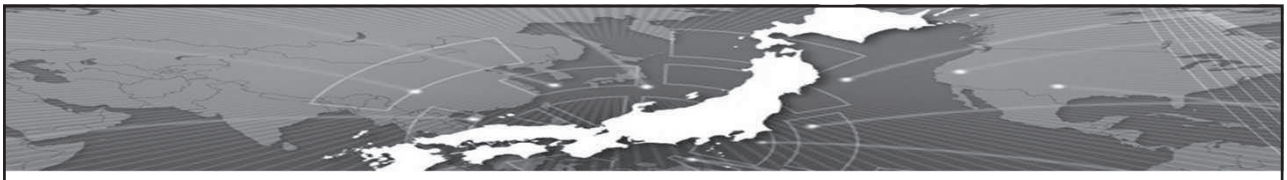
コーディネーター：㈱keisei 代表取締役 張 敬清

お問合せ先 主催者 名城大学 キャリアセンター
career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

文部科学省　留学生就職促進プログラム

愛岐留学生就職支援コンソーシアム
平成29年度外部評価委員会

日　時　　平成30年11月29日（木）　10:00～
会　場　　名古屋大学経済学部経済学研究科　第1会議室



外部評価委員紹介

委員長　久保田　学　氏　（一般社団法人留学生支援ネットワーク）
留学生支援、外国人採用関連セミナー講演、企業や教育機関のコンサルティング業務に従事
文部科学省留学生就職促進プログラム専門委員

委　員　太田　智裕　氏　（愛知労働局職業対策課）
旧労働省（現厚生労働省）に入省後、豊橋や愛知県内のハローワーク、愛知県庁等を経て
現在は愛知労働局の地方職業指導官として勤務

ライアン　優子　氏　（静岡大学）
BEO株式会社→愛知淑徳大学キャリアセンター
現在は静岡大学国際連携推進機構にて国際化・学術交流の推進業務に従事

袴田　麻里　氏　（静岡大学）
海外青年協力隊員としてスリランカ赴任→ヤマハ発動機株式会社
現在は静岡大学国際連携推進機構にて日本語教育、留学生指導・相談、交流活動に従事

愛岐留学生就職支援コンソーシアム

「留学生30万人計画」における優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ
→ **留学生就職促進プログラム**採択（平成29年6月26日）
→ **愛岐留学生就職支援コンソーシアム設立**（平成29年9月11日）

「産官学連携」による、教育を通した留学生と地域企業との連携補助
→ 就職市場の拡大
→ 人材不足の解消を通した地域経済の活性化
→ 多国籍な留学生の採用を通した地域企業の国際化促進

設立総会の様子

【参画機関】
名古屋大学、岐阜大学、名古屋工業大学、名城大学、南山大学、
愛知県、岐阜県、JETRO名古屋、JETRO岐阜、
愛知県経営者協会、岐阜県経営者協会、中部経済同友会、中部経済連合会、愛知県社会保険労務士会
（全14機関）

外部評価委員会スケジュール

10:00	実務委員長挨拶	
10:05	外部評価委員の紹介	
10:10	平成29年度コンソーシアム事業の説明	
	1 全体概要	全体概要
		教育プログラム概要（日本語教育、キャリア教育、インターンシップ）
	2 教育プログラム	各大学の取組み
	3 産官学連携	
	4 組織運営	組織概要
		委員会、部会報告
		現在の取組み
		将来構想
11:10	質疑応答	
11:30	外部評価委員による討議	
11:50	外部評価委員会総評	
12:00	閉会	

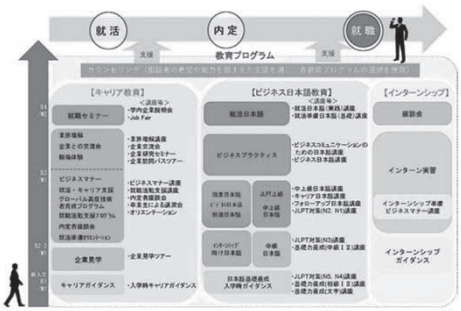
1　全体概要

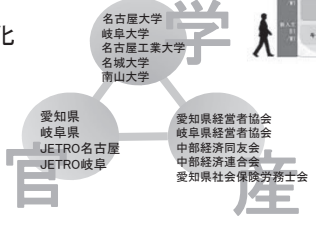
愛岐留学生就職支援コンソーシアム

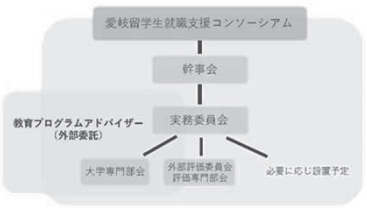
《事業について》

- 留学生と地域企業との相互理解の場を創出
  ⇒就職機会の拡大
- 産官学連携による支援
  愛岐留学生就職支援コンソーシアム設立
  ⇒人材不足の解消を通した地域経済の活性化
  　留学生採用による地域企業の国際化促進

コンソーシアムで各種**会議体**を構成
事業内容についての意思決定を全体で行う
＋　**アドバイザー**との委託契約
　→企業との情報共有やイベント企画などを行う







平成29年度教育プログラムスケジュール

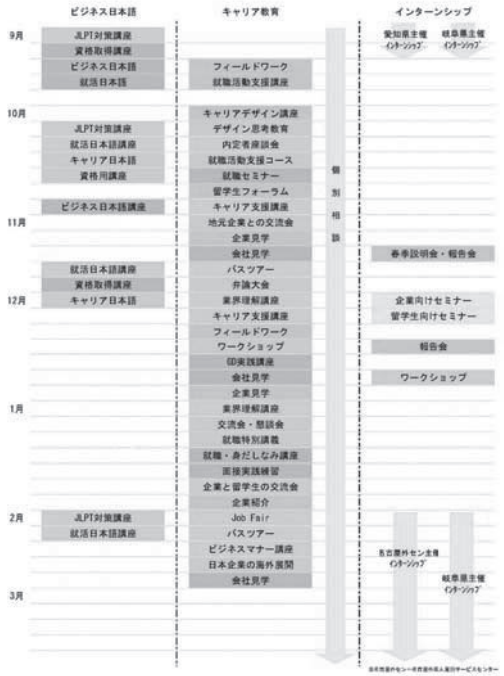
《取組内容》

- 日本語能力の向上
- 日本の社会や職業理解を通じた就業観の育成
- 企業と留学生の接点拡充

→教育プログラムの設定

《教育プログラム》
（ビジネス日本語＋キャリア教育＋インターンシップ）

- 低学年からの**積み上げ式**による就職支援
  →日本語初級者への支援、日本の雇用文化への理解促進
- ビジネス日本語とキャリア教育の連携
- 事業4大学が共通の意識のもとカリキュラムを作成
  →参画大学全ての講座・イベントに参加可能
  4大学全体ですべての範囲をサポート出来るような構成に
- 教育プログラムとは別に、留学生専任**キャリアカウンセラー**による、個々に応じたきめ細かな個別支援を実施



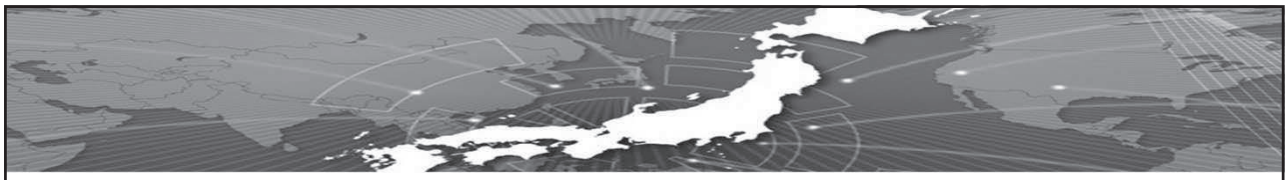
愛岐留学生就職支援コンソーシアム **マイページ**機能設置

《WEBサイト作成・マイページ設置》

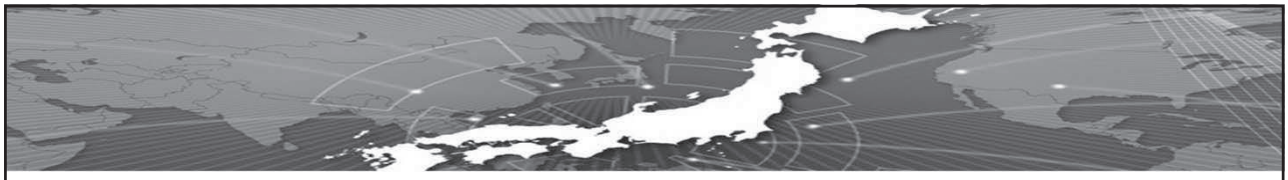
- 情報伝達ツールとしてWEBサイトを作成
  （和英両言語での情報提供）
- カリキュラムやイベント情報の公開
  →コンソーシアム全体の情報を1つのサイトに集約
  →学生の情報収集の場に
- 留学生とコンソーシアムの情報共有
- 地域や企業への本事業の取組みの波及
- マイページ機能実装　→講座やイベントへの申込み
  受講状況やポイント確認機能
- 11月1日現在での登録者数：483名

《ポイント制度の設定》

- 参加した留学生の質の保障を目的とし、**ポイント制**を設定
- 各教育プログラムの付与条件を満たした場合にポイントを付与　→　一定のポイント数にて修了
- 修了者には**修了証**を発行する



2　教育プログラム



名古屋大学:ビジネス日本語プログラム

名古屋大学

項　目	時期	参加人数
日本語能力試験対策講座N5-4①	9月(夏季休業中)	12
日本語能力試験対策講座N5-4②	2月～3月(春季休業中)	21
日本語能力試験対策講座N5	9月(夏季休業中)	16
日本語能力試験対策講座N4	2月～3月(春季休業中)	17
日本語能力試験対策講座N1①	9月(夏季休業中)	20
日本語能力試験対策講座N1②	10月～11月	63
日本語能力試験対策講座N1③	2月～3月(春季休業中)	24
中上級日本語能力向上支援講座	10月～11月	16
就活準備日本語講座(基礎)	10月～11月	56
就活準備日本語講座(実践)	11月～12月	54
ビジネスコミュニケーションのための日本語	2月(春季休業中)	30
就活日本語支援講座	2月(春季休業中)	13
	合計(述数)	342名

《実施状況》

・全12講座
・延べ342名参加

《講座分類》

・JLPT対策　7講座
・日本語向上　1講座
・就活日本語　3講座
・ビジネス日本語　1講座

日本語能力試験対策講座
（N5・N4・N1）

名古屋大学

《参加状況》
・参加者延べ173名
・N1対策講座の参加者は平均30名以上
・N1取得後に就活対策講座に移行するケースも見られた
・N5とN4対策は継続しての受講傾向有り

《課題》
・平成30年度は日本語能力試験対策講座を全レベル開講予定のため、学生のニーズをより掴むことが必要
・初級レベルの学習者の継続的な支援　→　N3・N2レベルの開講

就活・ビジネス日本語講座

名古屋大学

《参加状況》
・参加者延べ169名
・就活準備日本語講座の参加者は平均50名
・他大学からの参加も多数有り　⇒　日常日本語にとどまらない**実践的な日本語**への意識の高さ
・敬語やビジネス日本語に加え、ビジネスマナーやES対策なども含む実践的な内容　⇒　キャリア教育との連携

《課題》
・多様な学生ニーズへの対応
・就職支援としてのキャリア教育との連携

※日本語のレベルが上がるほど出席率も高い傾向
→初級者に対する動機付けが必要

キャリア教育プログラム

名古屋大学

項 目	時期	参加人数
入学時キャリアガイダンス	9月	313
入学時キャリアカウンセリング	10月～12月	11
就活オリエンテーション＆内定者座談会	10月	49
留学生のための就職・キャリア支援プログラム	10月～1月 （全10回）	116
ビジネスマナー講座	2月・3月 （全2回）	40
業界理解講座	12月・1月 （全2回）	82
企業と留学生の交流会	1月25日	43
職場体験プログラム（企業見学バスツアー）	11月・12月・2月 （全4回）	49
キャリアカウンセリング	通年	203
留学生のためのJob Fair	2月9日	82
	合計（述数）	988名

《実施状況》

・全10種類のイベント実施
（25回）

・延べ988名参加

名古屋大学で開催したJob Fairの様子

＊新入生向けのオリエンテーションを皮切りに、10種のキャリア教育プログラムを実施

名古屋大学

《実施内容》

留学生のための就職・キャリア支援プログラム

- 全10回開催　各回30名程参加
- プログラムの前段階として、オリエンテーションと内定者座談会を実施
- 前半：基本的な自己分析や業界分析などを通じ、自身のキャリア観（どこで・何をしたいのか）を掘り下げる
- 後半：日本企業の雇用慣習（採用方針）を踏まえ、エントリーシートの書き方などを学ぶ

→自己理解の促進に加え、日本の雇用文化や労働市場への理解促進

留学生のための就職・キャリア支援講座（全10回）の様子

名古屋大学

職場体験プログラム/企業見学バスツアー、業界理解講座

＜職場体験プログラム/企業見学バスツアー＞
- 日本企業で活躍するOBOGとの交流を通じた、職業観の育成

→「ロールモデル」（元留学生の先輩）を通じた、日本で働くことへのイメージの具体化を目的として実施

＜業界理解講座＞
- 激変する各業界の最新動向を、日本及びグローバル経済の観点で各企業から留学生に解説して貰う講座
  （12月15日、1月15日に実施　計7企業、留学生90名が参加）
- 日本に限らずグローバルな視点で、業界・企業・仕事を捉えることの重要性を理解することを目指して実施

業界理解講座の様子

職場体験プログラム（バスツアー）の様子

名古屋大学

留学生のためのJob Fair@名古屋大学

- 2018年2月9日（金）開催
- 東海地区の企業を中心に留学生積極採用企業33社　留学生82名参加
- 日本企業への就職に関する相互理解
- 元留学生の外国籍社員との直接的な交流

→今後、コンソーシアム全体に拡大・拡充を行う予定

キャリアカウンセリング

名古屋大学

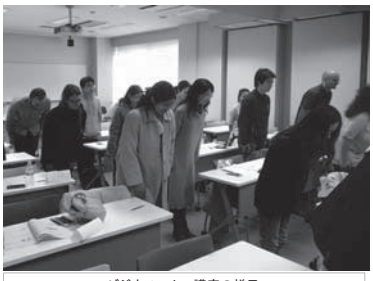
- 期間　平成29年度9月～3月の7ヶ月間
- 新入生対象11件　＋　通年カウンセリング192件　　合計203件　（平成29年度全体では約500件の相談対応）
- 1件1時間を設定し、事前予約制に基づいた個別相談を実施

→ 個別カウンセリングを通じ、日本語教育やキャリア教育のプログラムだけでは網羅できないため、
学生一人ひとりに対する個に応じた教育支援を実施（心理カウンセラー、精神科医、学修アドバイザーとの連携）

《課題》

- 主に就職活動を控えた学部3年生および修士1年生を対象としたが、低学年生に対する
  キャリア教育のアプローチをどのように行っていくか
- 特に日本語初級者に対して、ビジネス日本語とも連携した支援が必要

アナウンサーを招いての話し方講座の様子



ビジネスマナー講座の様子

インターンシッププログラム

名古屋大学

H29年度	時　期	参加人数
愛知県夏季インターンシップ	8月～9月	9名 （うち中長期6名）
名古屋外国人雇用サービスセンター 春季インターンシップ	2月～3月	6名 （うち中長期2名）
名古屋大学独自インターンシップ （実習先企業例） ・損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ・三井住友信託銀行株式会社 ・シーザースインターナショナル　など8社	ー	11名

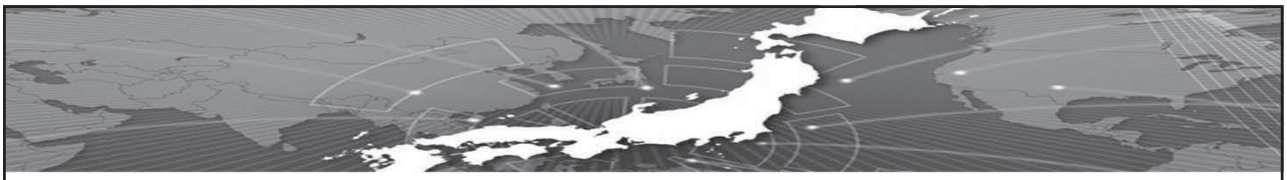
《参加状況》
・実習参加26名
・受入れ企業17社

《実習期間》
・5日～9日　18件
・10日以上　8件

- 1週間以上のインターンシッププログラムの開発
- 企業と連携した留学生向けのインターンシッププログラムの開発（7名参加）
- 実習の事前に動機付けのセミナー開催
- 実習終了後にフィードバックの開催

《基盤事業の開設》

- JETRO名古屋と共催し、企業との**課題解決型ワークショップ**を開催　（**39名**参加＋日本人との共修）
  →インターンシップの基盤事業として、意欲の促進を図る



岐阜大学:ビジネス日本語プログラム

・ビジネス日本語プログラムについては、下記の講座を実施した。

講座名	概要	対象	参加状況（受講者数）
日本語資格用講座1	日本語能力試験N4レベルの日本語スキルを身につけることを目標とする。	日本語能力試験N4の取得を目指す全留学生	5名
日本語資格用講座2	日本語能力試験N2レベルの日本語スキルを身につけることを目標とする。	日本語能力試験N2の取得を目指す全留学生	17名
キャリア日本語講座1	日本語口頭表現スキルを身につけることを目標とする。	全留学生（日本語能力試験N1相当レベル）	13名
キャリア日本語講座2	日本語口頭表現スキルを身につけることを目標とする。	全留学生（日本語能力試験N1相当レベル）	14名

・成果
テストケースとしての開講であったが、十分な受講者数を得ることができた。

・課題
それぞれの講座が目標としている日本語スキルにどの程度到達できたかをより明確に示す方法を検討する。また受講生にとって適切な半期における授業回数を検討する必要がある。

キャリア教育プログラム

・キャリア教育については、下記のとおり実施した。

講義名等	開講時期	受講者数
デザイン思考序論	前学期（前半）（後半）	23
デザイン思考トレーニング	後学期（前半）	2
Design Thinking Training Workshops	後学期（前半）	12
Advanced Workshop Design	後学期（前半）	12
留学生就職推進特別講義	1/22,29,2/19,26,3/5,19,26	22
日本企業の海外展開　―天野エンザイム（株）の事例を元に―	2/22	14
外国人留学生向け就職活動支援コース	10/18,25,11/15,12/6	41
個別相談	11/15,22,29,12/6,13,20,1/10,17,24,31,2/28,3/8,13,15	41
外国人留学生向け実践型ワークショップ	12/13,20,1/10,17,24,30	38
	合計	205

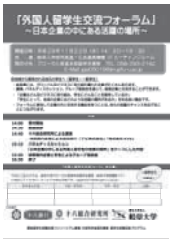
・成果
主に日本の産業構造に対する理解を深めることができた。
受講した留学生のヒアリングでは、就職活動のスケジュール、志望動機、自己分析、エントリーシートの書き方を学ぶことができ、就活に役立ったという意見が多数あった。
実践で学ぶことにより、面接に対する不安を解消できた。

・課題
企業組織、日本企業の特長（雇用形態、賃金体系等）、日本での地方生活費等の情報が必要である。
参加者が少ないので、就職促進プログラムの認知度をあげる必要がある。
個別相談と講座の受講の相乗効果により、成果を最大限に高める仕組みを作る。

キャリア教育プログラム

・公的機関、企業との連携イベントについては、下記のとおり実施した。

番号	イベント名	開催日	場所	参加留学生数
1	地元企業との交流会 （共催：岐阜信用金庫）	29.11.15	研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階ミーティングルーム	第1部 22 第2部 24
2	留学生就職促進プログラム講演会 外国人留学生の採用動向＆活用事例紹介	29.11.17	大学会館2F 第6集会室	23
3	外国人留学生交流フォーラム （共催：十六銀行）	29.11.22	研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階ミーティングルーム	13
4	マレーシアに向けた商品設計と企業展開	29.11.24	アクティブ・ラーニング教室1A	4
5	岐阜地域留学生交流推進協議会主催 第16回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会 第1部 弁論大会 第2部 企業等との交流会 （講演：大垣共立銀行、十六銀行）	29.11.25	岐阜大学講堂 岐阜大学地域科学部棟1F101講義室	第1部 23 第2部 11
6	交通安全・防犯指導の講習会	29.12.15	全学共通教育棟3F35教室	36
7	外国人留学生積極的活用企業代表者との交流会 （共催：経済産業省中部経済産業局）	30.1.24	研究推進・社会連携機構インキュベーション施設1階ミーティングルーム	14
8	外国人留学生対象社長を囲む夕食懇談会（三幸電機株式会社代表取締役社長）	30.1.30	図書館1F会議室	5
			合　計	175



・成果
連携イベントに参加した留学生が参加企業に就職が内定した。
連携イベントに参加することにより、留学生が企業から日本企業の考え方及び特徴を知ることができた。

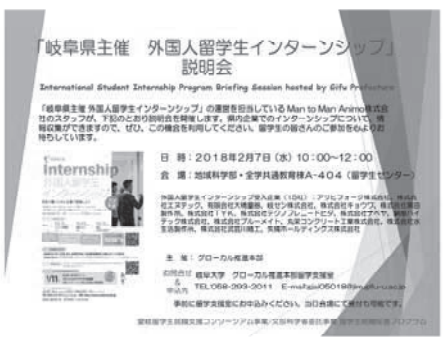
・課題
就職促進プログラムの認知度をあげ、イベントの参加を促すことにより、日本での就活意識を醸成する。
外国人留学生の就職活動・定着における課題及び企業が外国人留学生を雇用する際の課題等について、実態の把握・分析を行う。

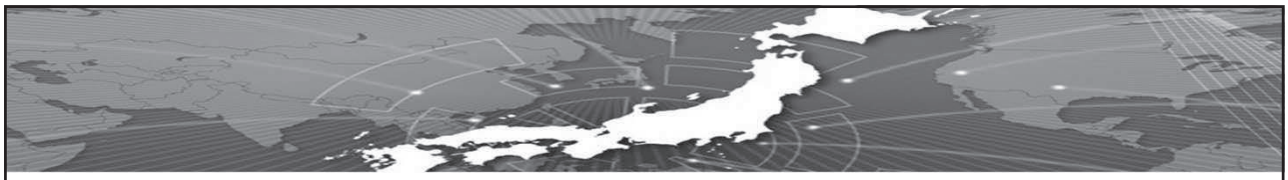
インターンシッププログラム

・岐阜県が実施する「外国人留学生インターンシップ」に本学から７名参加した。
本学でのマッチング会・説明会
日　　時：２０１８年２月７日（水）１０：００～１２：００
会　　場：岐阜大学地域科学部・全学共通教育棟Ａ－４０４
参加者数：９名

・成果
留学生、企業、大学等の関連機関との連携、関係構築ができたので、今年度の経験を踏まえ、次年度以降の取組につなげることが期待
できる。

・課題
有効かつ効果的な周知活動ができる仕組みを作る。





留学生就職促進プログラム

平成29年度

名古屋工業大学　報告

平成30年11月29日

平成29年5月1日 時点
外国人留学生　在籍数　300人

中国	131人
韓国	39人
ベトナム	33人
マレーシア	25人
インド	21人

NITech

ビジネス日本語講座参加者数

N3 対策講座	N2 N1 対策講座	ビジネス 読･聴･ 書･話	就活 日本語	2月、3月 集中講義
１８	３６	３７	１３	６１

NITech

キャリア教育

- ✓ 企業見学ツアー　3回
- ✓ 就職活動準備セミナー　６回
- ✓ 留学生OB/OGによる講演会　２回

NITech

平成29年11月1日　スズキ株式会社見学

SUZUKI
スズキ歴史館
SUZUKI PLAZA

参加者33名

平成29年12月8日　CKD株式会社
サン電子株式会社見学

CKD

サン電子株式会社

参加者27名

NITech

平成30年2月14日　セイコーエプソン株式会社見学

EPSON
EXCEED YOUR VISION

参加者27名

NITech

就職活動準備セミナー

講座名	回数	内容
グループ ディスカッション	4回	講師と模擬練習
集団面接	4回	講師と模擬練習
マナー	2回	身だしなみ 就活サイト登録

NITech

留学生OB /OGによるセミナー、パネルディスカッション

NITech

インターンシップに関する取組み

◆ 公募型

◆ ジェネラル
（本学学生に特化したインターンシップ
枠への応募）

◆ 愛知県

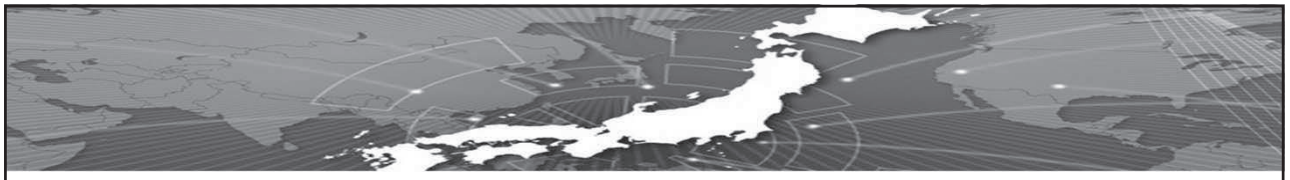
NITech

平成２９年度卒業･修了の留学生の動向

H29年度に卒業、修了した数	81
日本国内の日本企業に就職	46
進学	14
母国へ帰国	9
第３国へ移動	0
その他（例：日本で就活継続）	12

56.8%の学生が日本企業へ就職

NITech



名城大学:ビジネス日本語プログラム

科目名:就活日本語

参加者:15名（出席率60%以上は4名　、出席率70%以上は3名）

成果
・継続的に参加した学生の受講態度は良好
・講座内容・資料構成などの満足度は非常に高い
・企業へアプローチすることへの心理的ハードルの解消と前向きな行動につながった。（参加者の声）
・後輩にも推奨していきたい（参加者の声）

課題
開講時期の検討が必要（2月に開校した講座の出席率が低い）
→正課のない期間は避けるべき

ビジネス日本語プログラム

科目名：ビジネス日本語

参加者：19名（出席率60%以上は11名　、出席率70%以上は7名）
参加した学生の受講態度は概ね良好（個人差あり）

成果
・ビジネス場面で使う日本語において、談話展開、敬語等待遇表現やそれにまつわるイントネーションについて多くの質問があり、集中して練習することができた。

課題
・音声指導（イントネーションなど）の時間確保
・他科目（就活のための日本語）との連携の強化

キャリア教育プログラム

科目名：キャリア教育講座

参加者：22名（うち、名城大学の留学生14名、中部大学・岐阜大学の留学生8名）

成果
・講座内容の理解度、参加満足度：高い（アンケート結果より）
・職業的視野の拡大を目指し、社会人との対談を実施。
多様なキャリア観に触れることで職業観の熟考につながった。（講師コメントより）
・フィールドワークではもの作りの技術力、事業内容に対談や体験で触れることで、
自ら行動して成果を得たこと、日本人からの評価を得られたことが大きな収穫であった。

課題
・参加者数の増加（継続参加率の向上）
・講座の形式（スクール形式だけでなく座談会形式の検討）
・正課との兼ね合い

キャリア教育プログラム

科目名：就職活動支援講座

参加者：17名（うち、名城大学の留学生16名、岐阜大学の留学生1名）

成果
・日本の就活スケジュール、ステップ、進め方など全般を学び、今後の不安の解消に貢献。
・ワークショップでは講師に迎えた企業人や日本で就職した先輩との交流を通して、日本での就業イメージ、企業の組織風土の理解につながった。

課題
・参加者数の増加（継続参加率の向上）
・講座の形式（スクール形式だけでなく座談会形式の検討）
・正課との兼ね合い

インターンシッププログラム

科目名：春季インターンシップ説明会および報告会

参加者：4名

成果
・インターンシップの内容に大変興味を持て、満足度は概ね高かった。（参加報告者のアンケート回答より）
・報告会では、日本でのインターンのイメージや留意点が明確になり、インターンシップへの参加意欲が向上。
・報告者にとっても、インターンの振り返りの機会になり、企業風土や働き方の理解、就労意欲が向上。

課題
・インターンシップの受け入れ体制（留学生インターンの理解が不十分で、実習につなげられなかった）
・報告会への参加呼びかけ

インターンシッププログラム

科目名：インターンシップ報告会

参加者：4名

成果
・インターンシップの内容に大変興味を持て、満足度は概ね高かった。（参加報告者のアンケート回答より）
・報告会では、日本でのインターンのイメージや留意点が明確になり、インターンシップへの参加意欲が向上。
・報告者にとっても、インターンの振り返りの機会になり、企業風土や働き方の理解、就労意欲が向上。

課題
・インターンシップの受け入れ体制（留学生インターンの理解が不十分で、実習につなげられなかった）
・報告会への参加呼びかけ

その他

シンポジウム

外国人留学生フォーラム
（10/26開催）参加企業・団体数　3社、参加者　10名（内、名古屋経済大学1名）

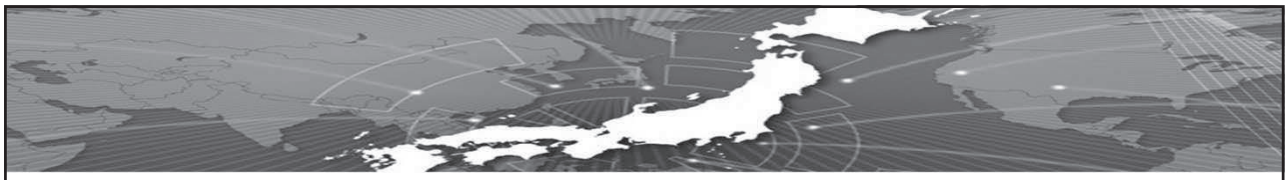
日本企業で働くことの効果と課題
（11/18開催）参加企業・団体数　4社、参加者　4名

外国人留学生と地域とのつながり
（12/ 7　開催）参加企業・団体数　2社、参加者　5名（内、中部大学2名）

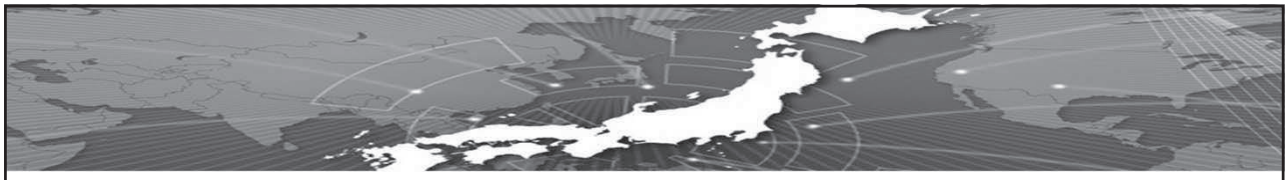
愛知県の優良企業紹介　※就職活動支援講座の最終回に実施
（ 1/29　開催）参加企業・団体数　7社、参加者　17名

カウンセリング

9/25（月）～1/29（月）の間で計30回実施
延べカウンセリング人数　60人
主な相談内容・・・進路相談　／　自己分析　／　自己PRの素材　／　自分の強み探し
企業の探し方　／　企業分析　／　履歴書添削　／　模擬面接



３　産官学連携



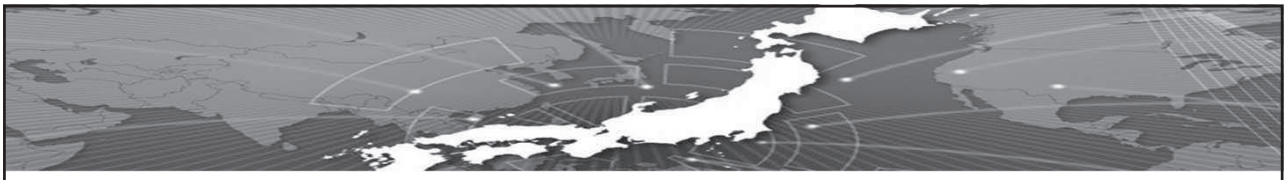
産官学連携によるプログラム

- 愛知県　　外国人留学生インターンシップ事業
  ・・・参加企業**28社**　参加留学生**55名**
- 岐阜県　　外国人留学生インターンシップ
  ・・・参加企業**9社**　参加留学生**10名**
- JETRO名古屋　　グローバル人材フェアin名古屋 （5月15日開催　参加者**89名**）
  ・・・グローバル人材活用の事例紹介やパネルディスカッションを実施
- 岐阜県経営者協会　　留学生就職促進プログラム説明会 （12月5日開催　参加加盟企業**50名**）
  ・・・事業概要や留学生採用支援について
- 中部経済同友会　　会員企業と外国人留学生との交流会

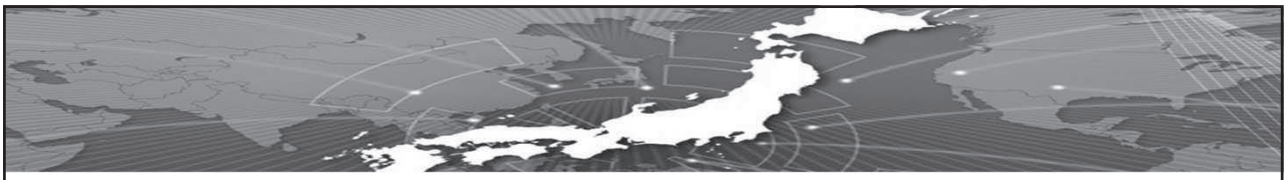
中部経済同友会参加企業と留学生の交流会

中部経済同友会参加企業**19社40名**　留学生**43名**が参加
2018年1月25日開催

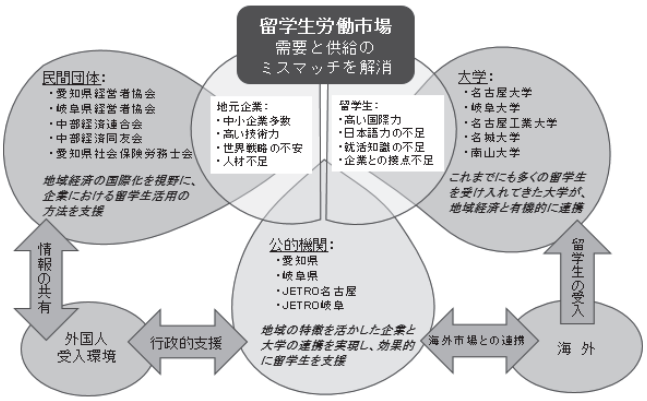
・外国籍社員を招き「日本で働くとは？」をテーマにパネルディスカッション ＋ グループ討議 ＋ 懇親会
・企業、留学生双方にメリット
→ 企業：外国籍社員の採用・登用に関する重要性の再認識
　　外国籍社員の定着に関する知見の習得
→ 留学生：日本での就職に対する疑問や不安の軽減
　　企業関係者や元留学生社員との交流を通じた、日本企業で活躍するイメージの具体化



4　組織運営



愛岐留学生就職支援コンソーシアム組織図



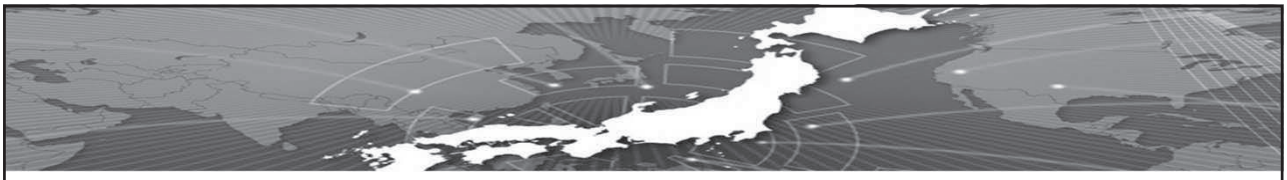
【大学】
名古屋大学　岐阜大学
名古屋工業大学　名城大学　南山大学*

【公的機関】
愛知県　岐阜県
JETRO名古屋　JETRO岐阜*

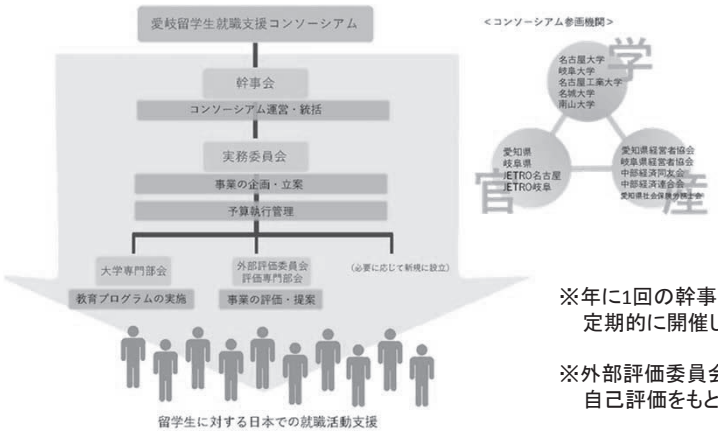
【民間団体】
愛知県経営者協会　岐阜県経営者協会
中部経済連合会　中部経済同友会
愛知県社会保険労務士会*

→愛知県、岐阜県下の**全14機関**が参画

（* 平成30年度から新規参画）



愛岐留学生就職支援コンソーシアム会議体系



《会議体》
幹事会
実務委員会
大学専門部会
外部評価委員会
評価専門部会

※年に1回の幹事会を基軸に、実務委員会および大学委員会を定期的に開催し、***プログラムの企画・運営や情報共有を行っている***。

※外部評価委員会については、今回が初回開催であり、来年度以降は自己評価をもとに7月に開催する。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム幹事会

幹事会

各機関の代表が幹事として、
前年度の統括、および本年度の事業運営を行う

- 代表幹事　名古屋大学総長　松尾　清一
- 副代表幹事　岐阜大学学長　森脇　久隆

《平成29年コンソーシアム設立総会》

- 平成29年9月11日（月） 名古屋大学豊田講堂にて開催
- 11機関によるコンソーシアム設立
- 規約制定、事業計画および予算案の承認
- 留学生とコンソーシアム関係者でのトークセッションを同時開催

平成30年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム　幹事会名簿

機関名	役職・氏名	
名古屋大学	総長	松尾 清一
岐阜大学	学長	森脇 久隆
名古屋工業大学	学長	鵜飼 裕之
名城大学	学長	吉久 光一
愛知県	政策企画局国際室	近藤 雅俊
岐阜県	商工労働部次長（産業人材担当）	増田 雅彦
日本貿易振興機構（JETRO）	名古屋貿易情報センター 所長	三根 伸太郎
日本貿易振興機構（JETRO）	岐阜貿易情報センター 所長	増田 智子
愛知県経営者協会	常務理事事務局長	山本 悟
岐阜県経営者協会	専務理事	安藤 正弘
中部経済連合会	専務理事	小川 正樹
中部経済同友会	専務理事・事務局長	関部 年彦

愛岐留学生就職支援コンソーシアム実務委員会等

実務委員会

3ヶ月に1回開催
各機関の実務担当者が事業の企画・立案と予算管理を行う

大学専門部会

3ヶ月に1回開催
参画大学の担当者が教育プログラムの運営を行う

評価専門部会（設置予定）

年度に1回開催
コンソーシアムの事業に対する自己評価を行う

外部評価委員会（本会）

年度に1回開催
評価専門部会で行った内部評価をもとに、コンソーシアム外部から委員を委嘱し、総合的な外部評価を行う

H29年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム委員会実施日程一覧

	日　程	会　議	参加者	議　題
1	4月13日	コンソーシアム打合せ	参画機関	・ヒアリングにおけるプレゼンテーション資料について
2	6月15日	コンソーシアム打合せ	参画機関	・文部科学省との委託契約について ・コンソーシアムの設立について ・留学生の採用に関する施策について ・奨学金について ・教育プログラムについて ・経理処理について
3	7月13日	教育プログラム打合せ	参画大学	・教育プログラムについて ・平成２９年度事業概要について
4	7月31日	コンソーシアム打合せ	参画機関	・コンソーシアムの設立について ・幹事会について ・教育プログラムについて
5	8月28日	教育プログラム打合せ	参画大学	・コンソーシアム設立総会について ・教育プログラムについて
6	9月11日	コンソーシアム設立総会 幹事会	参画機関	・愛岐留学生就職支援コンソーシアム規約について ・愛岐留学生就職支援コンソーシアム幹事等について ・平成２９年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業計画について ・平成２９年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム予算について
7	9月15日	第１回実務委員会	実務委員会	・実務委員会大学専門部会の設置について ・実務委員会内規の一部訂正について（メール会議）
8	9月28日	第１回大学専門部会	大学専門部会	・教育プログラムポイント制について ・プログラム講座の単位上に於ける登録方法について ・コンソーシアム新規参画機関について
9	12月21日	第２回実務委員会	実務委員会	・大学専門部会（９月２８日開催）の報告 ・岐阜県経営者協会会員への説明会（１２月５日開催）の報告 ・平成２９年度　予算執行計画及び事業計画について ・平成３０年度　予算執行計画及び事業計画について ・就職活動イベント等に係る産官学の連携体制について ・新規参画機関について ・学習奨励費報告書について
10	1月30日	第２回大学専門部会	大学専門部会	・新規加盟大学の受入れについて ・平成２９年度経費報告及び成果報告について ・平成２９年度参画企業リストについて ・平成３０年度事業計画について ・平成３０年度就職活動イベントに係る経済団体への参加照会について ・教育プログラムポイント制度について
11	3月15日	第３回実務委員会 学生報告会	実務委員会	・留学生就職促進プログラムの今後の事業運営について（文部科学省） ・平成３０年度　実施計画及び事業計画について ・評価専門部会の設置について ・平成３０年度　幹事会について ・新規参画・加盟団体について ・第２回大学専門部会（１月３０日開催）の報告 ・在留資格変更手続きの優遇措置の運用について

愛岐留学生就職支援コンソーシアム学生報告会

<u>プログラム参加学生による報告会</u>

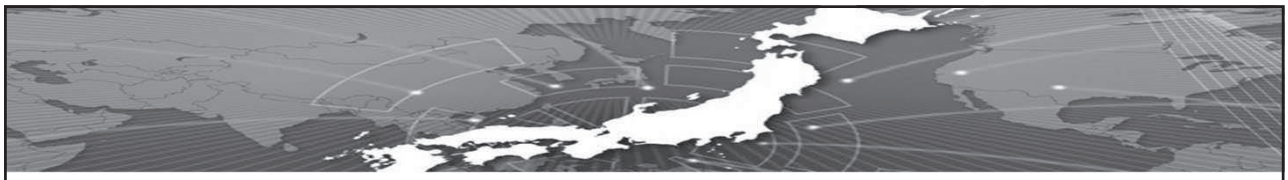
- 1年度に3回程度開催
- 本事業に参加した留学生からの報告や意見交換をメインに実施　→実際の<u>参加学生の声を次年度のプログラムに反映</u>
- 教育プログラムや日本での就職活動をテーマに活動報告を行う
- **事業の成果を地域や企業の関係者と共有することを目的**
  →企業関係者からも参加者を募り、日本での就職活動についての意見交換を行う

現在の取組み （代表例：中部経済連合会ワークショップ）

２０１８年度　留学生×中経連会員企業 合同ワークショップ・日程

	企業	開催場所	開催日（留学生・国数）	事前打合せ（於：各企業）
1	中部土木（株）	名古屋大学 大学院環境学研究科教室	7月4日（水） 14:45～16:15 実施済（９名８か国）	6月22日
2	名商コンサルティング ネットワーク	名古屋大学 工学部７号館 704講義室	9月27日（木） 14:45～16:15 （14:00～14:30事前説明） 実施済（２１名１１か国）	6月13日 9月19日
3	（株）ジェイエイシー リクルートメント	名古屋大学 アジア法交流館 レクチャールーム1	10月11日（木） 16:30～18:00 実施済（２６名８か国）	6月22日
4	中部国際空港（株）	セントレア（常滑市）	1回目 10月23日（火） 16:30～18:45 2回目 10月30日（火） 16:30～18:45 実施済（１０名５か国）	7月11日
5	ヤマハ発動機（株）	名古屋大学 国際棟2階 207教室	11月6日（火） 16:30～18:00 実施済（２１名８か国）	7月24日
6	（株）安部日鋼工業	安部日鋼工業（岐阜市）	11月28日（水） 13:30～15:30	8月8日

中部経済連合会の会員企業と留学生の合同ワークショップの開催（**全6回**）
→ お互いの相互理解やグローバリゼーションを目的とし、基本的に1dayでの**参加型学習**を行った
企業と留学生が直接的な交流を行うことで相互理解の一助となった



本日はご足労頂きまして誠にありがとうございました。

外部評価委員会終了後、**13時**から同会場にて

平成30年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム　学生報告会を

開催いたしますので、併せてご出席頂けますと幸いです。

愛岐留学生就職支援コンソーシアムWEBサイトトップページ
（http://ag-int.org/）

資料4
（別添）

参画大学

ビジネス日本語教育
- 教育プログラム概要
- 講義詳細・カリキュラム
- 講座案内

キャリア教育
- 教育プログラム概要
- 講義詳細・カリキュラム
- 講座案内

インターンシップ
- 現状
- 課題
- 解決のための教育プログラム

ニューストピックス

2019/02/25	教育プログラムポイント修了証を授与しました。
2019/02/19	留学生のためのJobFairを開催いたしました。
2019/02/15	留学生のための仕事理解講座を開講しました。
2019/01/24	留学生×中部経済同友会　意見交換&懇談会を開催いたしました。
2018/11/29	11/29 平成30年度学生報告会を開催しました

愛岐留学生就職支援コンソーシアムWEBサイト
イベント報告ページ（一例）

イベント報告一覧

2018/11/06
ヤマハ発動機×留学生ワークショップ

ヤマハ発動機様をお招きし、留学生とのワークショップを行いました。
企業担当者から留学生の採用方針や労働環境などをお話いただいた後、担当者も交えて「外国籍社員にとって働きやすい職場」についてのディスカッションを行いました。

2018/11/02
春季インターンシップ事前説明会

名古屋外国人雇用サービスセンターが主催する春季外国人留学生インターンシップの事前説明会が開催され、約20人の留学生が参加しました。インターンシップの応募はすでに始まっていますので、HPをご確認ください!

2018/10/25
留学生のための就職・キャリア支援プログラム

「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」第一回オリエンテーションが開催されました。
当プログラムは、名古屋大学にて毎週木曜日の16:30～18:00に行われます。
日本での就職活動について、基本的なスケジュールからESの書き方、実践的な面接練習など、就活のノウハウを全て詰め込んだ講座になっておりますので、興味がある方はぜひご参加ください!

2018/10/18
何でも相談会&日本で働くための基礎知識講座

愛知県社会保険労務士会の方を講師に招き、日本での働きかたについての相談会と
基礎知識講座を開催しました。

2018/10/11
JACリクルートメント×留学生ワークショップ

JACリクルートメント様をお招きし、留学生20人とのワークショップを開催しました。「日系企業が留学生に求めるもの」について、
企業の担当者からお話をお聞きした後、「留学生が日系企業に期待するもの」をテーマにワークを行いました。

2018/07/30
日本で働くときの基礎知識講座

愛知県社会保険労務士会から講師をお招きし、日本で働くときに知っておいたほうが良い基礎知識の講座を行いました。

2018/05/18
愛知県庁・夏季留学生インターンシップ説明会

名古屋大学にて、愛知県庁が主催する夏季外国人留学生インターンシップの事前説明会が開催され、50名を超える学生が参加しました。
名古屋大学の詳しい募集要項については、下記URLをご参照ください。
http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/intern/index.html

愛岐留学生就職支援コンソーシアムWEBサイト
講座シラバス掲載ページ（一例）

日本語能力試験N1対策講座(9月)※申込みを締め切りました
JLPT N1 Preparation Courses

日本語能力試験(JLPT)N1レベルの対策講座です。
① 日本語能力試験N1の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。
② 合格に求められる知識(文法・語彙・漢字等)と技能(読む・聞く技能)を身につける。

講座スケジュール
Schedule

9月19日	8:45～10:15	オリエンテーション(試験の形式と内容について) 練習問題①(聴解・文法)と解説 やってみよう①(文字・語彙)
9月20日	8:45～10:15	練習問題②(聴解・文法)と解説 やってみよう②(文字・語彙)
9月21日	8:45～10:15	練習問題③(聴解・文法)と解説 やってみよう③(文字・語彙)
9月25日	8:45～10:15	練習問題④(聴解・文法)と解説 やってみよう④(文字・語彙)
9月26日	8:45～10:15	練習問題⑤(聴解・文法)と解説 やってみよう⑤(文字・語彙)
9月28日	8:45～10:15	模擬試験
9月28日	10:30～12:00	模擬試験の解説

申込期限
Application deadline

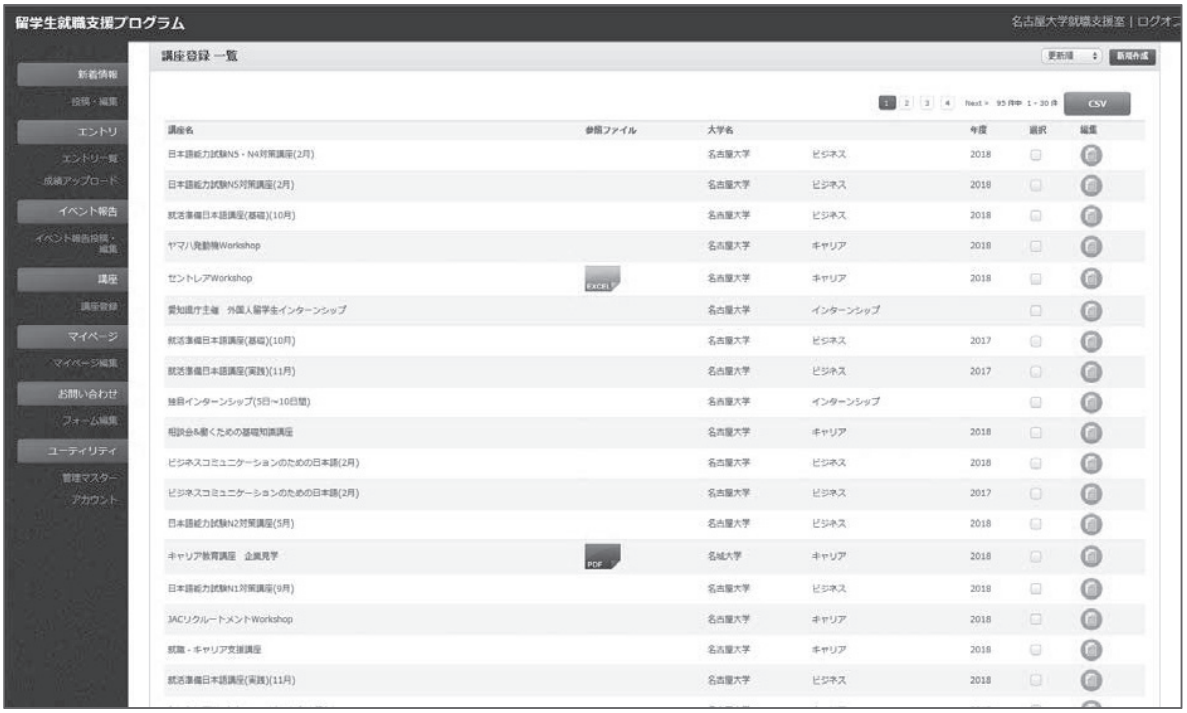
9月12日(水)

会場
Venue

名古屋大学国際棟207教室(International Center, Room207)

MAP

マイページ（大学側の管理画面）



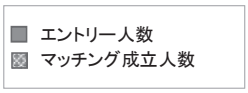
マイページ（学生の画面）

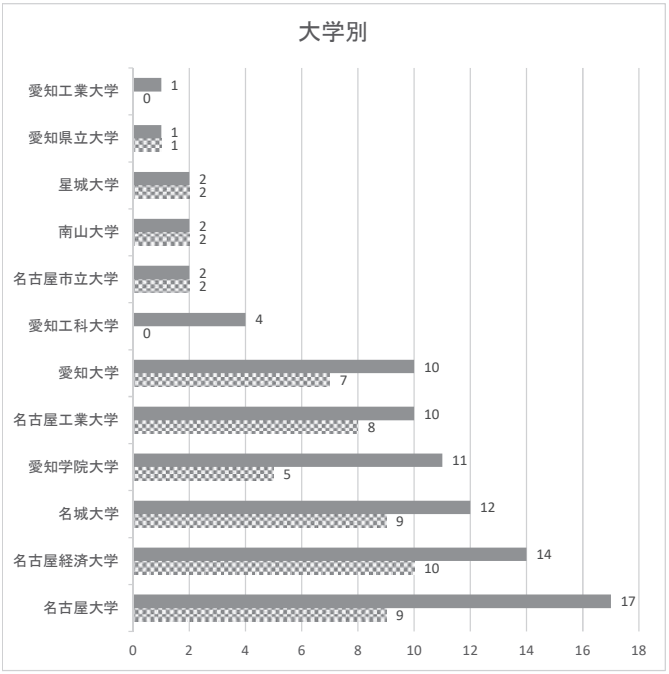
平成29年度　留学生インターンシップ事業
実施結果の概要

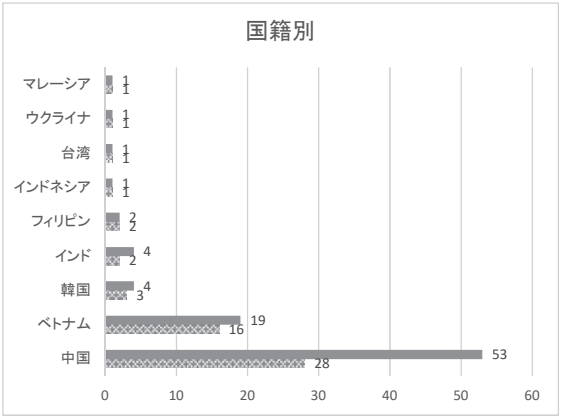
参加留学生について

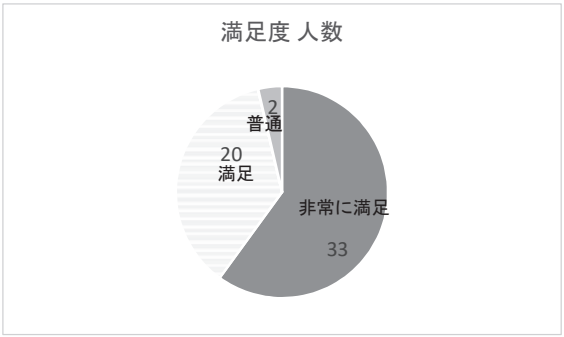
エントリー人数：86名

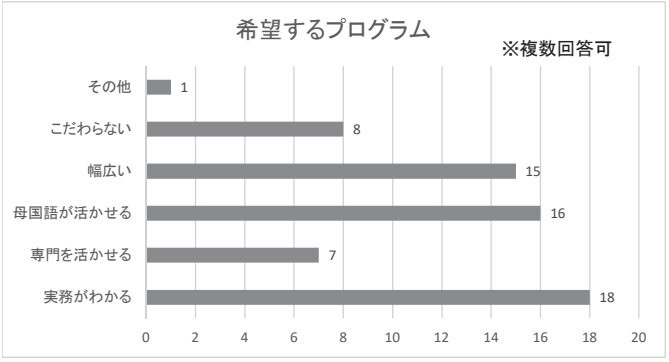
マッチング成立人数：55名　マッチング率：64．0%

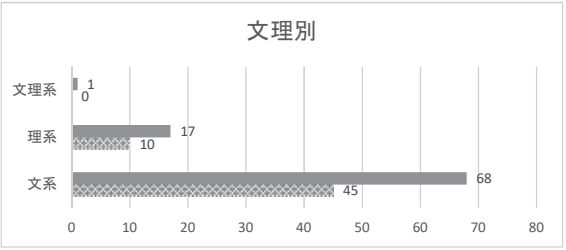










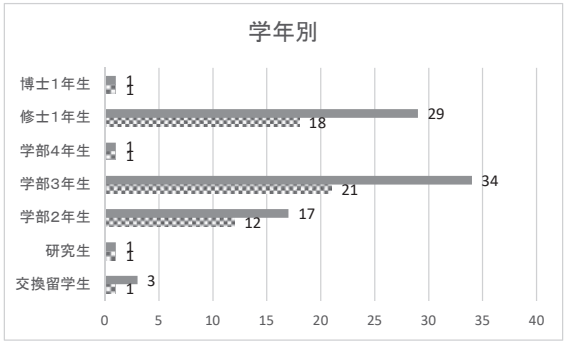


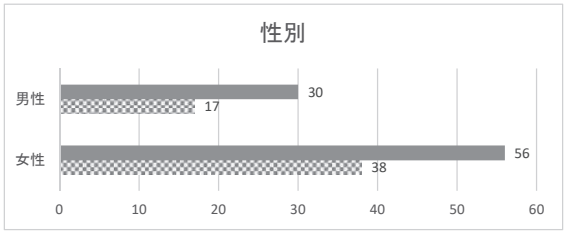
参加した留学生の声

・10日間の実習中、様々な部署の業務を体験することができた。
・社員とのコミュニケーションを良くとることができた。
・新しい環境に慣れるのが苦手なタイプであるため、最初の2，3日間は辛かったが、担当者がとても親切に接してくれたので問題なく乗り切ることができた。
・自分と意見が違う相手を説得させる場面で自分の話し方が悪く、相手の気を悪くさせたことがあった。少し辛い気持ちになったが、今は皆から応援しもらい、また仲良くなった。
・工場で長時間立ったままで作業したのは辛かったが、手作業を体験する中で、現場での毎日の作業がどんなに辛いのかを実際に感じることができた。
・困った時は会社の皆さんがすぐに教えてくれたので全部良かった。
・10日間、充実した実習で日本人の方々と一緒に仕事ができた。職場の雰囲気は和やかで気持ちよく温かく接していただき本当に良かった。できればまた訪問したい。
・インターンシップの事前学習はとても役立ったのでまた参加したい。
・グループワークをする際は自分の意見を分かりやすく相手に伝えることが大切だと分かった。

＜参加した留学生から後輩へのメッセージ＞

・是非一度インターンシップを経験してみて下さい。困ったときは、会社の先輩やご担当者に相談してください。そして、恐れずチャレンジしてください！
・日本語の敬語をインターンシップ前に勉強してください。
・インターンシップに参加する前に、企業を研究し、自分の参加目的を明確にしましょう！



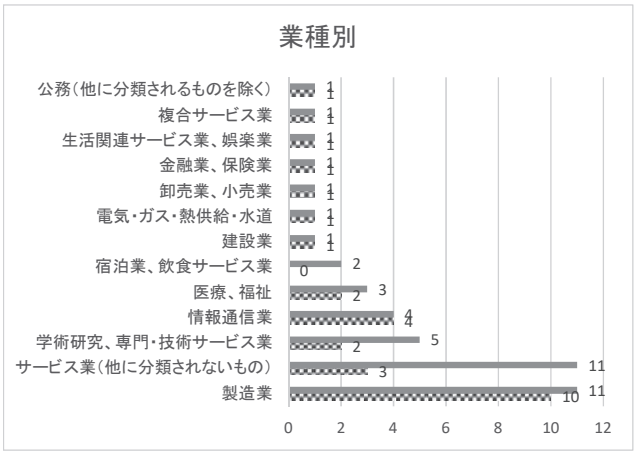


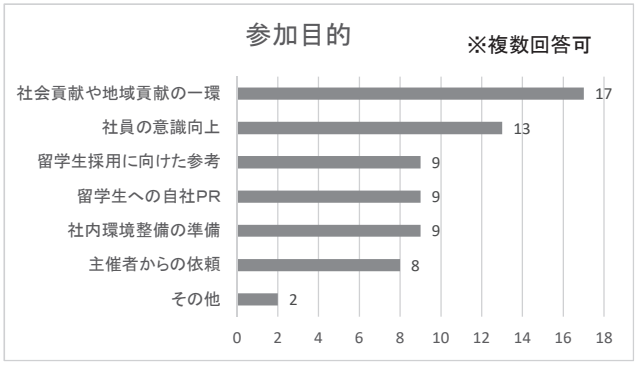
平成29年度　留学生インターンシップ事業
実施結果の概要

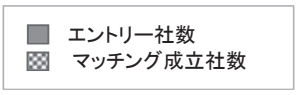
参加企業について

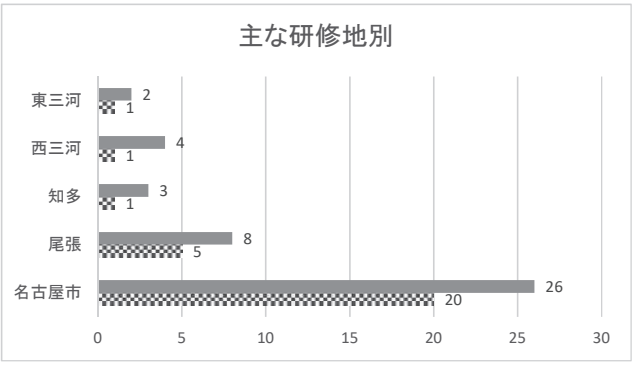
エントリー人数：43社

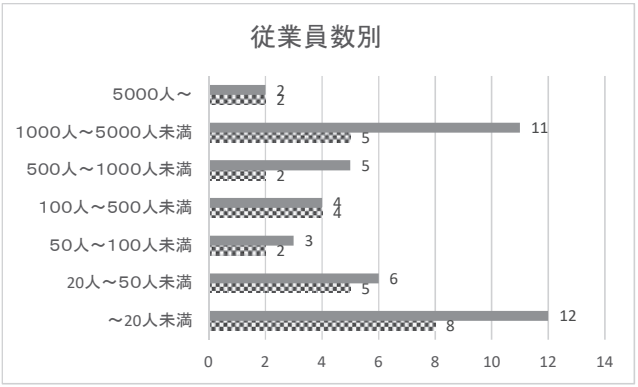
マッチング成立人数：28社　　**マッチング率：65．1%**

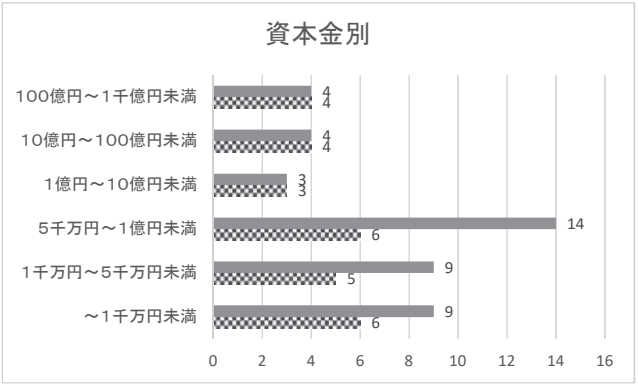


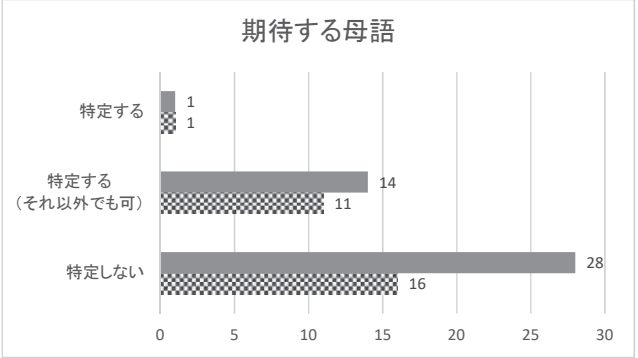












参加した企業の声

＜社員の意識向上につながった等＞

・毎年留学生のインターンシップを受け入れているため、社員の受け止め方にも「外国人」への垣根がほとんどなくなってきているように感じられた。

・現場に入り具体的な成果を出してもらえた。留学生を受け入れたことが現場のいい刺激になった。

・形に残るような具体的な成果はないが、何事にも積極的な学生を受け入れたことで、受入・対応した部門の社員には刺激を与えることが出来たと思う。

・教えることで身に付けていくという面は新人教育という点でも効果があった。

・若手社員・中堅社員のOJT指導の経験となった。

＜留学生の採用に参考になった等＞

・担当部署での将来の留学生採用に向け参考になった。

・国籍インドの方の受入れは今回がはじめてであったので、日本での就業について検討する良い機会となった。

・外国人留学生を受け入れたことにより、議論するグループ内の議論活性化にも繋がり、弊社として今後の留学生採用への取り組み方等を考えるきっかけとなった。

＜事業に役立てることができた等＞

・現在の留学生の考え方や学力を直接知ることができ、貴重な機会になった。また、それぞれが抱える悩みや課題も把握することができ、今後の事業展開に役立てたい。

資料3－5

平成２９年度　留学生インターンシップ
実施結果概要

岐阜県商工労働部産業人材課

１　実施概要

・実施期間　　平成３０年２月上旬～３月中旬
・申込状況　　県内企業１９社　　留学生１４名
・実施結果　　県内企業９社　　留学生１０名

２　事前説明会

・第１回　　開催日：平成３０年１月３０日(水)　　会場：岐阜経済大学　　参加者：留学生９名
・第２回　　開催日：平成３０年２月７日(水)　　会場：岐阜大学　　参加者：留学生９名

３　インターンシップの実施

（１）インターンシップ参加留学生詳細

①所属大学

岐阜大学	7
岐阜経済大学	3

②国籍別

中国	5	オーストリア	1
スリランカ	1	ハンガリー	1
バングラディシュ	1	ベトナム	1

③性別

男性	5
女性	5

④文理別

文系(日研生含む)	9
理系	1

⑤所属学部・専攻

工学	1
応用生物	2
経済	3
地域科学	2
日本文化研修	2

⑥学年

学部１年	1	研修１年	2
学部２年	1	研究１年	1
学部３年	1	博士２年	1
学部４年	1	博士３年	2

⑦日本語能力

日本語能力試験Ｎ1	5
日本語能力試験Ｎ2	2
日本語能力試験Ｎ3	1
無回答	2

⑧日本での就職希望

希望している	１０
希望してない	０

⑨インターンシップへの参加目的
（選択式※２つまで回答可）

日本の企業文化を知りたい	5
実務経験をしたい	2
日本での就職につなげたい	6
専門以外での職場体験がしたい	1
卒業後の進路決定の参考にしたい	3

⑩希望するプログラム
（複数回答可）

実務がわかるプログラム	4
専門を生かせるプログラム	4
母国語が生かせるプログラム	3
幅広いプログラム	3
特にこだわらない	2
その他	0

（２）インターンシップエントリー企業詳細

①業種（メイン業種）

製造業	１６
建築（建設）・土木関連	１
サービス業（アパレル）	１
サービス業（福祉）	１

②資本金

１０００万円未満	１
１０００万円～３０００万円未満	５
３０００万円～５０００万円未満	２
５０００万円～1 億円未満	６
1 億円以上	５

③海外取引の有無

有	１４
無	５

④海外拠点・現地法人・関連工場の有無

有	１４
無	５

⑤外国人留学生の採用実績

有	１３
無	６

⑥今後の外国人留学生採用可能性

有	１９
無	０

（３）アンケート結果

①留学生

・作業・販売・提案を考えること、様々なことを経験できました。
・ものづくりにはどんな仕事があるのかを知り、自分のキャリアを考え直すきっかけになった。
・就職する前に日本語力をできるだけ上達させることは大切だとわかりました。
・情報の提供など、優良な地元の企業の魅力を上手く伝えてくれることを期待します
・それぞれの事業にそれぞれのルールがあるため、マナーや上下関係などについても、もっと知りたい。

②企業

・誰にとっても良い会社、働きやすい会社とはどういう事か改めて考える機会になりました。
・真剣に取り組んでくれて、短い期間でしたが、もう少し一緒に仕事してみたいと感じました。
・今後も弊社の魅力を知ってもらうためにインターンシップは続けていきたい。
・頻繁に開催してもらいたい（交流の機会を増やしてもらいたい）
・それぞれの出身国の文化や職業観・経済の状況など教えてもらえるとありがたいと思います。

４　インターンシップ後アンケート分析

短い期間ではあったが、岐阜県内にある企業の魅力・日本の文化を感じる良い機会になったのではないかと考える。また、企業文化に触れるだけでなく、自らのコミュニケーション能力等の向上にも繋がったのではないかと考える。

留学生・企業・学校関係者いずれも、本事業の継続を願う声が多数聞こえた。開催時期・開催日数・参加条件などの検討は必要であるが、今後も継続していくべき事業であると感じる。

グローバル人材フェア in 名古屋

ジェトロ名古屋は名古屋大学、愛岐留学生就職支援コンソーシアムとの共催で、中小企業をはじめとする中部地域の国際ビジネスにおける高度グローバル人材の活用を推進することを目的として、グローバル人材フェア in 名古屋を開催。

外国人人材の活用を図るための各種機関のプログラムを紹介するとともに、先行的な事例として、外国人人材の活用を図る大学と企業との連携事例や今後の可能性を討議するパネルディスカッションを実施。

＜概要＞

■**日時**：2018年5月15日(火) 13:30-17:10

■**場所**：名古屋ルーセントタワー16階
TKPガーデンシティPREMIUM

■**主催**：ジェトロ名古屋

■**共催**：名古屋大学
愛岐留学生就職支援コンソーシアム

■**後援**：愛知県

■**プログラム**：
【前半】日本企業によるグローバル人材の活用
（全体概要説明、事例紹介）
【後半】パネルディスカッション
（モデレーター：名古屋大学 土井総長補佐）
ジェトロ・愛知県による支援事業案内

■**参加者数**：89名（関係者除く）

平成29年度　岐阜県経営者協会　　愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業

留学生就職促進プログラム　説明会

当プログラムの概要・目的について、岐阜県経営者協会
会員企業に理解してもらうとともに、産学官の連携を強め、
今後の留学生採用支援を目的として開催。

開 催 日　平成29年12月5日(火)　15：00～17：00
場　　所　岐阜大学　サテライトキャンパス
参 加 者　50人
（企業 36人(31社)、大学9人(3校)
団体・公的機関 5人(3団体)）

1

内　容

15：00　開会挨拶　岐阜大学　理事　副学長　鈴木　文昭　氏

15：05～15：45　「愛岐留学生就職支援コンソーシアムの概要について」
名古屋大学　総長補佐　土井　康裕　氏

15：50～16：30　「岐阜大学の留学生支援に関する取組について」
岐阜大学　学長補佐　小山　博之　氏

16：30～16：40　質疑応答

16：40　閉会挨拶

（一社）岐阜県経営者協会　専務理事　安藤　正弘

名刺交換・情報交換

◆ 当プログラムを理解する上で、有意義な説明会となった。
◆ 大学における留学生の現状、教育プログラムについて学ぶ機会となった。
◆ 名刺交換、情報交換も行われ、産学官の交流を図る事ができた。
◆ 今後の外国人留学生の採用について、企業の国際化を進める有効な人材確保として考える機会となった。

2

参考（新聞記事）

愛岐コンソーシアムが説明会

留学生就職へ仕組み必要

岐阜大など岐阜、愛知両県の大学と行政、経済界が連携して外国人留学生の就職を支援する組織「愛岐留学生就職支援コンソーシアム」の取り組み説明会が、岐阜市吉野町の岐阜大サテライトキャンパスであり、職業した大学関係者が「留学生の採用を増やし、優秀な人材を東海地方に定着させる仕組みづくりが不可欠」と呼び掛けた。（小島真太）

留学生の就職支援の仕組みを説明する大学関係者ら＝岐阜市吉野町、岐阜大サテライトキャンパス

「日本人に刺激」大学関係者訴え

今年9月に設立したコンソーシアムには岐阜大のほか、名古屋大など4大学、岐阜県と愛知県、経済界からは中部経済連合会や岐阜県経営者協会などが参加。産官学が連携して、東海地域の経済活性化と経営企業の海外進出を後押しする。

説明会には県経営者協会加盟企業の幹部ら約40人が

出席。名古屋大の土井康裕総務課長は、キャリア日本語教育やインターンシップを活用することで企業とマッチングさせる必要性を指摘した上で「留学生はやる気と実力を兼ね備えている」と企業の採用のメリットを説明した。

ぎふ総合

資料出所：岐阜新聞　2017年12月7日

2018.11.29 外部評価委員会 報告事項

機関名 【中部経済同友会】

＜項 目*＞ *平成29年度開催の内容について

産学連携、経済団体としてのキャリア教育への取組み事例
「中部経済同友会会員企業と外国人留学生との交流会」
（名古屋大学国際教育交流センター キャリア支援室 共催）

＜報告内容の概要＞

実施日時	平成30年1月25日
場　　所	名古屋大学
参 加 者	中部経済同友会会員企業19社40名（経営者含む）
	外国人留学生 約50名　計 約90名
内　　容	①パネルディスカッション
	元留学生で、現在日本企業で活躍する若手社員5名を集め、「日本で働くとは？」をテーマに
	就活の経験談などを発表。
	②グループディスカッション
	企業側参加者、学生、①のパネリストが1グループ10人程度に分かれ、ディスカッション。
	留学生が付箋に書き出した企業人への質問をもとに議論した。
	③懇親会

＜本企画の意図、実績＞

中部経済同友会と名古屋大学は、2013年度より企業と外国人留学生との交流会を実施している。
今回は5回目の開催で、過去最大の参加人数となった。
以下、経済団体としての問題意識、実績をあげる。

〇問題意識
・企業側は、留学生を採用したいと思っても窓口がわからず、マッチングの場がない
・そもそも普段接することがないため、留学生の資質を把握できていない
・留学生は、日本の企業文化や習慣を学ぶ場がない。
　また、就職活動のノウハウがわからず、自分に合った企業へたどり着けない など

これらを解消し、お互いのコミュニケーションギャップを埋め、相互理解、ひいては就職促進へ
つながっていくことを目的に実施。

〇事後アンケート結果より
・企業側
「距離を縮めることができた」、「留学生の視点、考えを理解できた」
「留学生の語学、思考能力の高さに感銘を受けた」 など

・学生側
「日本の企業理念や制度を学ぶことができた」
「いままで外国人は日本の労働力と思っていたが、今回日本企業の優しさを知り、考えが変わった」など

〇考察
アンケートからも、本交流会の目的を果たし、双方にとって有意義であったものと考える。
また、本交流会をきっかけに、選考過程を経て、参加企業に就職した学生が1名。またある企業は、
外国人留学生対象のワークショップを社内で開催することになり、就職促進および留学生のキャリア教育に
資する実績も出ている。

今後も本交流会は内容を拡充しながら、継続実施していく。
コンソーシアムの連携強化として、次回以降は、名古屋大学だけでなくコンソーシアムに加盟する他大学からの
留学生の参加増強にも注力したい。

国際交流委員会
（天野　源之 委員長）

企業経営者と外国人留学生の交流会を開催

平成30年1月25日、名古屋大学 国際教育交流センター キャリア支援室との共催「企業経営者と留学生の交流会」を名古屋大学にて開催した。

当交流会を開催するのは5回目。国際交流委員会は、昨年発足した「愛岐留学生就職支援コンソーシアム（※）」に参画しており、この交流会をコンソーシアム事業のアクションの一つに位置づけ、産学連携を強化し、留学生の就職支援に取り組んでいる。当地の留学生が当地のグローバル企業に目を向け、その語学力や多様な考え方、積極性を活かし、地域の発展を担う一員になってくれるよう育成することが狙い。

当日は、当会から19社40名、学生側は14ヶ国の留学生約50名が集まり、総勢約90名の参加となった。

開会にあたり、名古屋大学 国際教育交流センター長 長畑明利氏のご挨拶の後、天野委員長より、「グローバリゼーションと人口減による国内市場の縮小が進む中、従来の大企業だけでなく、中小企業も留学生の採用に注目している」とのご挨拶をいただいた。

■第1部：パネルディスカッション

テーマ：「日本で働くとは？」

第1部は、元留学生で、現在、同友会会員企業で活躍している外国籍社員の方々にご登壇いただき、自身の就職活動の経験や、日本で実際に働いて思うことなどをそれぞれ語っていただいた。コーディネーターは名古屋大学キャリア支援室の坂井伸彰特任講師にお願いした。

それぞれの発言の要旨は以下の通り。

◇三井物産　徐　逸飛 氏

「日本での就職活動において、ライバルは日本人だ。甘い考えは捨てて、日本人より努力しなければ勝てない。職務異動のある日本企業で、全く異なる2分野の仕事を経験。視野が広がり、自分の成長を感じられる。」

◇サガミチェーン　劉　穎 氏

「有名企業に限らず、自分の人物を見てくれる企業を探し、入社した。大学での研究内容と全く異なる仕事内容に従事している。わからないことが多いが、周りの人に支えられ、逆に毎日が新鮮で楽しい。」

◇小島プレス工業　王　発云 氏

「元々研修生として現在の会社にお世話になり、その後社員となった。国際交流の仕事が好きで、日本と母国の架け橋になれれば、との思いだ。品質と安全を追求し続けるところに、日本企業の特質があると考えている。」

◇三菱東京UFJ銀行　文　泉 氏

「入社して、右も左もわからない中で、とにかく先輩社員に質問し続けることで、仕事の仕方を学んだ。日本企業の「おもてなし」精神は素晴らしいが、一方で、高品質を提供し続ける大変さもあると思う。」

◇西川コミュニケーションズ

オムカール・クルカルニ 氏

「妻も母国（インド）出身で、日本での生活は戸惑うこともある。ただ、日本の安全と日本人の優しさは、本当に素晴らしい。結婚・妻の出産などのライフイベントでも、家族的な日本企業の優しさに支えられた。」

外国籍社員のパネリストに対し、名古屋大学の留学生からも活発に質問がなされた。

＜留学生からの質問＞

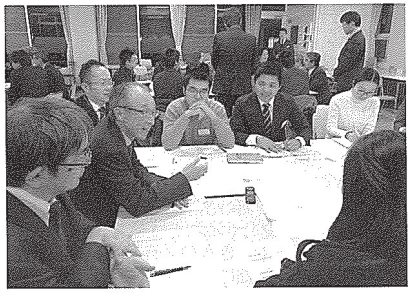
・日本という国のブランド力はどこにあると考えるか？
・仕事の進め方の自由度はどの程度か？
・言語、視点などが違う留学生が、大学在学中に身につけた方が良い能力、資質は何か？
・日本企業の労働時間について、教えていただけないか？
・外国籍社員として、日本企業で働く中で、特に貢献できることは何か？

【パネルディスカッション風景】

■第2部：グループディスカッション

第2部は15人程度、6つのグループに分かれ、グループディスカッションを実施した。

冒頭に留学生が企業人に聞いてみたいことを付箋に書き出し、それらをもとに、質疑応答、意見交換がなされた。日本企業の文化や慣習、外国人社員の処遇、キャリア形成、日本での人生設計（結婚、育児等）について様々な質問が向けられ、活発な議論が交わされた。



【グループディスカッション風景】

ディスカッションの終了時には、コーディネーターを務められた名古屋大学の坂井特任講師より、「留学生採用の窓口として、名古屋大学 国際教育交流センター キャリア支援室を是非活用して欲しい」とのお話があった。

最後に、加藤副委員長より総評が行われ、2つのディスカッションを終了した。

■懇親会

ディスカッション終了後、懇親会が開催された。留学生代表からの御礼挨拶の後、軽食を囲みながら、企業と留学生の間で交流が深められた。

【懇親会風景】

最後に、小澤副委員長より中締め挨拶があり、交流会は終了した。

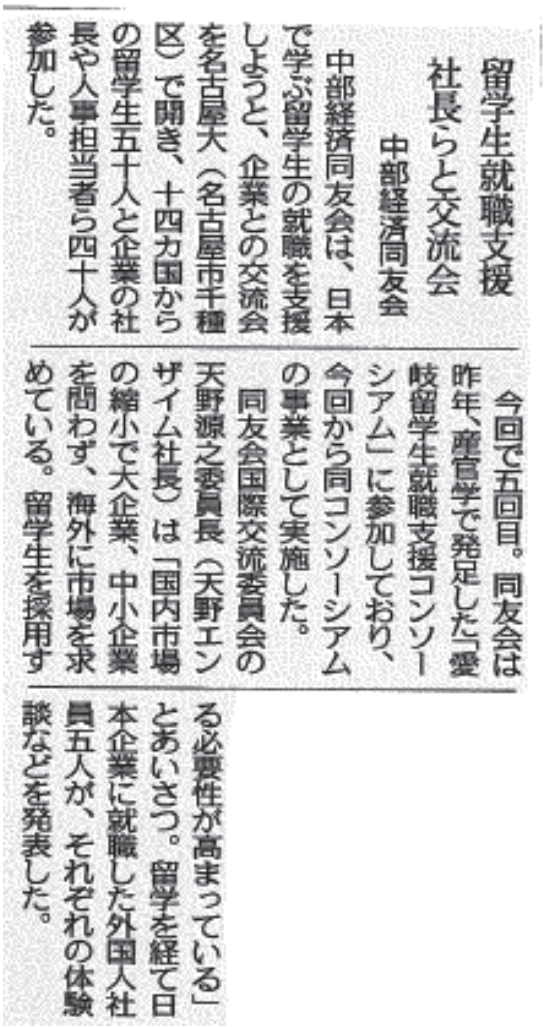
（※）愛岐留学生就職支援コンソーシアム

文部科学省「留学生就職促進プログラム」の事業目的に賛同した愛知及び岐阜県下の大学、地方公共団体、経済団体及び企業支援団体が連携し留学生の国内就職支援を行うことを目的として2017年に設立。

コンソーシアム設立により、これまで大学や、各機関が個別に独自で行っていた留学生の就職支援を、連携、協同することで、事業を一層強化・発展させ、優秀な外国人材を活用することで地域経済の活性化や、地域企業の国際化促進をめざす。

2018.1.25　国際交流委員会　留学生と企業の交流会

2018.1.27　中日新聞朝刊



留学生就職支援
社長らと交流会
中部経済同友会

中部経済同友会は、日本で学ぶ留学生の就職を支援しようと、企業との交流会を名古屋大（名古屋市千種区）で開き、十四カ国からの留学生五十人と企業の社長や人事担当者ら四十人が参加した。

今回で五回目。同友会は昨年、産官学で発足した「愛岐留学生就職支援コンソーシアム」に参加しており、今回から同コンソーシアムの事業として実施した。

同友会国際交流委員会の天野源之委員長（天野エンザイム社長）は「国内市場の縮小で大企業、中小企業を問わず、海外に市場を求めている。留学生を採用する必要性が高まっている」とあいさつ。留学を経て日本企業に就職した外国人社員五人が、それぞれの体験談などを発表した。

２０１８年度　留学生 ×中経連会員企業 合同ワークショップ・日程

	企業	開催場所	開催日（留学生・国数）	事前打合せ（於：各企業）
1	中部土木（株）	名古屋大学 大学院環境学研究科教室	7月4日（水） 14:45～16:15 実施済（９名８か国）	6月22日
2	名南コンサルティング ネットワーク	名古屋大学 工学部 7号館 704講義室	9月27日（木） 14:45～16:15 (14:00～14:30事前説明) 実施済（２１名１１か国）	6月13日 9月19日
3	（株）ジェイエイシー リクルートメント	名古屋大学 アジア法交流館 レクチャールーム1	10月11日（木） 16:30～18:00 実施済（２６名８か国）	6月22日
4	中部国際空港（株）	セントレア（常滑市）	１回目 10月23日（火） 16:30～18:45 ２回目 10月30日（火） 16:30～18:45 実施済（１０名５か国）	7月11日
5	ヤマハ発動機（株）	名古屋大学 国際棟2階 207教室	11月6日（火） 16:30～18:00 実施済（２１名８か国）	7月24日
6	（株）安部日鋼工業	安部日鋼工業（岐阜市）	11月28日（水） 13:30～15:30 実施済（10名４カ国）	8月8日

1

２０１８年度　留学生 ×中経連会員企業 合同ワークショップ・テーマ

	企業	希望テーマ	留学生の希望
1	中部土木（株）	日本で土木（または）建築を学んでどう感じましたか？ それをいかして、日本で就職したいと思うか？ i-Constructionについて	土木の分野を学んでいるまたは 興味のある学生 ＩＴ分野を学んでいる学生
2	名南コンサルティング ネットワーク	海外に展開できる日本のビジネス 日本に持ち込める海外のビジネス	法律、経済、会計、（ＩＴ）専攻の方 （留学生募集時は広く公募）
3	（株）ジェイエイシー リクルートメント	講　義　日系企業が留学生に求めるもの ワーク　留学生が日系企業に期待すること	日本でのキャリア形成を目指している留学生
4	中部国際空港（株）	Discussion　Theme：セントレアのＣＳ 皆さんのご出身の国や地域の視点で 改善すべき空港内施設を検討して下さい Planning： 空港内の”ある区画”について、ご出身の国や地域の目線で提供すべきサービスや施設を計画・立案して下さい	特定の大学でなく、広く大学の留学生に参加してほしい 国際交流に興味ある学生
5	ヤマハ発動機（株）	ヤマハ発動機のグローバル事業展開と 外国籍社員の活躍環境作り ～外国籍社員の活躍状況と 定着支援制度について～	大学１、２、３年生、もしくは修士１年生
6	（株）安部日鋼工業	オフィス・ツアーからの学び・気づき コンクリートの用途・機能と環境 SDGsに向けて	専攻・学科：土木、建築、社会基盤など建設系の専攻を優先。例えば、建設工学、土木工学、建築工学、都市環境工学、社会基盤工学、社会工学（建築、環境都市）、環境創造工学など。

2

平成 29 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1．取組み全体の評価

経済団体を中心に企業との交流事業やイベントを実施しており、事業においての積極的な参画もみられ実施体制は整えている点は評価できる。

2．教育プログラムおよび産官学連携について

5 大学で実施しているビジネス日本語教育・キャリア教育・ガイダンスについて連携してコンソーシアムとして実施しているのであれば各大学の背景はあるにせよ共通の教材やコンテンツなど成功・失敗事例を含めて共有することが望ましい。

3．取組みにおける課題

インターンシップの実施率が低いため、各校における対応策及びコンソーシアムとしてどのように目標達成を目指していくのか検討が必要である。

今後コンソーシアムを拡大していくのであれば、参加大学の参入の基準やカリキュラムの質の担保などをどのように行うのか検討が必要である。

4．まとめ

現状の取り組として特に名古屋大学でのイベント数が多く実施されており、活動量の多さは評価できる一方で、ややオーバースペックであると感じた。自立化を見据えた中でカリキュラムやイベントの取捨選択について、自立化後も引き続き運営可能な仕組みの構築を検討しながら事業に取り組んでもらいたい。

補足

外部評価を受けるのであれば、事業毎の結果報告でなく、もともと設定した数値目標に対しての達成度合いについての報告を取りまとめるべき。

文部科学省
留学生就職支援プログラム専門委員
久保田 学

平成 29 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1．取組み全体の評価

留学生は、日本の大学等における教育を通じて高度な専門性を身に付けるだけでなく、その留学期間中に日本人学生や地域住民等と様々な形で交流することを通じて、日本を理解してくれる貴重な存在となっており、中には日本での就職を希望される留学生が多く見受けられます。

留学生に対する就職支援としましては、各大学の就職支援担当の皆様のご尽力により、年々内定率も向上していますが、国としては外国人雇用サービスセンターが大学等の協力の下、個別に支援を行うに留まっており、新たな支援策を模索しているところです。

現在、日本では、新たな在留資格「特定技能」で入国する外国人労働者を始め、全ての外国人の受入れ・共生のための総合的な対策を検討しています。

その中には留学生に対する就職支援強化についても大きく取り上げられていますが、産官学による実効性のある連携を既に構築している本コンソーシアムの存在は先駆的なものであり、設立して間もない中で、多岐にわたる支援を実施され、成果をあげたことに対して敬意を表します。

2．教育プログラムおよび産官学連携について

日本語能力試験対策、就活・ビジネス日本語講座、キャリアカウンセリングなど、日本国内での就職を希望する留学生の多くが求めるプログラムを多岐にわたり数多く実施されたことにより、留学生に自信を抱かせることができ、また、企業見学会、企業との交流会、インターンシップでは、日本企業への就職意欲を更に高めさせることができたと考えられます。

特に、企業見学会等については、産業界の協力が必要不可欠であるため、短期間で産官学の連携を構築されたことにも敬意を表します。

また、日本人学生と交流が可能となるプログラムも実施されていますので、留学生にとり身近な日本人学生の存在は、勉学だけでなく、就職活動においても良い影響を与えているものと考えられます。

3．取組みにおける課題

各大学におかれましては、本コンソーシアムに人員を割ける余裕も少ないものと思われますので、参画公的機関ではない名古屋市、岐阜市、中部経済産業局、名古屋外国人雇用サービスセンター、愛知労働局などの他の公的機関に対して、必要に応じて協力要請を行うことも有効かと思われます。

4. まとめ

これまでの留学生に対する支援については、大学ごと、自治体ごと、国の機関ごと、個々の機関がそれぞれ実施してきましたが、本コンソーシアムの取組みのように、産官学の多くの機関が参画・連携し、地域的に活動することで、非常に効果的なものとなり、大きな組織であることで宣伝効果も期待できます。

また、各種プログラムの増加にもつながりますので、学費・生活費を得るためにアルバイトをしながら勉学に勤しむ留学生の参加率も上がると考えられます。

今後、新たな在留資格が設けられることにより、現場で働く外国人労働者が大幅に増加すると見込まれていますが、偏見・差別のない共生社会の実現を目指すためには、高度人材として活躍することになる留学生が重要な存在となりますので、本コンソーシアムの更なる発展に期待しています。

愛知労働局職業安定部職業対策課 地方職業指導官

平成 29 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1．取組み全体の評価

東海圏の大学の核となって、国際化、留学生受け入れを進める名古屋大学が、留学生の就職支援において、自校内の留学生への教育と支援の提供にとどまらず、主要な大学・経済団体・公的機関と連携をし、地域全体の留学生の就職、人材としての社会での活用を推し進めるというのは、大変意欲的で意義のある取り組みである。事業規模が大きいため実施上の困難も多いと思われる中、平成 29 年度の事業立ち上げ年度に、同期間に着手すべき体制整備を予定通り進め、かつ全連携大学で迅速に教育プログラムを導入し、バランスの良い教育内容を実施したことは、高い評価に値する。 事業計画が、各連携校の実状に合わせて自律的に活動に取り組めるように練られていたこと、事業実施の中心校である名古屋大学が、連携大学間の意思疎通をはかり、全体をうまくマネジメントしたことの結果であると考えられる。

2．教育プログラムおよび産官学連携について

各大学が、それぞれの教育プログラムと多様な就職支援イベント、交流会を開催していて、キャリア教育、ビジネス日本語ともに量、内容ともに初年度としては十分である。インターンシップでは、愛知県・愛知労働局が実施している事業との連携を通して、各大学の取組以上の規模で実施できていることも良い。

産学連携についても名古屋地域のみならず、岐阜地域での地元企業、経済団体との連携も進んでおり、全体の取組度合は良好と見受けられる。

3．取組みにおける課題

連携校間の教育プログラム・支援の取組度合の違いには、各大学の運営体制、受入れている留学生の専攻、課程、設定している教育目標の違いが反映するため、解消するのが難しい点もあると思われるが、初年度はまず各大学でできる実践をしたというところだと思われるので、2 年目以降は大学間のシナジーや効率化をはかると良い。

例えば、効果的な授業、セミナーの情報共有をすることで、各大学のプログラムや支援体制改善された例などがみられると良い。また、異なる大学の留学生が学びあう機会が増えれば、複数の大学が共同に実施することで得られる教育効果を留学生に還元できる。各大学が特定の企業や団体と持っているコネクションを他の大学も活用する機会が増えるのも良いのではないか。

4. まとめ

全体として、初年度の取組に求められる以上の成果を出している。事業の 2 年目以降は、就職活動中の学生の支援や企業とのマッチング方法等についても実践の年となる。こうした取り組みから、留学生が就職時に経験した問題等がわかれば、教育・支援方法の改善を検討する材料もできる。2 年目以降の事業の進展に期待をする。

同事業を通じて、各大学でどのような留学生の就職支援の取組が進むか、地域に留学生の就職、人材としての社会での活用の仕組みができあがっていくか。事業の社会的なインパクトを考えると大変興味深い。

静岡大学　国際連携推進機構
准教授
ライアン優子

平成 29 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1．取組み全体の評価

発足して数ヶ月で、多様な取り組みを広い範囲で実施している。コンソーシアム内で連絡を密に取り、小回りのきく機能を有しているためだと思われる。また、各大学で就職担当部署と留学生担当部署がうまく連携している点（例：キャリアカウンセリング）も、広範囲で多様な取り組みが可能な理由だと思われる。

プログラム受講者は今後ますます増加すると思われる。学生の受講管理システムは、学生の動向を掴む上で非常に有効な手段だ。

日本語力が低い留学生に対して、英語での基本情報提供は大変な作業だが、極めて重要である。

2．教育プログラムおよび産官学連携について

名古屋大学で日本語関連の科目が新しく課外に、名工大では正規科目として多くの科目が立てられたことが高く評価できる。それぞれの大学の事情に合わせた開講は受講者の利益となる。既存の科目を利用して日本語関連科目を展開している岐阜大学が、次年度以降どのように日本語科目を実施していくか、注視したい。

教材の共有ではなく、目標を共有し各大学の実情に合わせられる仕組みが非常に優れている。

企業団体等と協力してイベントや教育プログラムを展開しており、大学での教育との相乗効果が期待できる。

日本語科目とキャリア関連科目との連携について、もう少し聞きたかった。

3．取組みにおける課題

様々なイベントや教育プログラムがあるが、就職支援プログラムとして、または各大学でどのように一貫性を持たせるのか。

インターンシップの受け入れ拡大に関する方策。

基本的な科目やプログラムに、できるだけ多くの留学生を参加させる方策。受講実績と奨学金受給を連動させられるとよい（のだが、制度上難しい）。

4. まとめ

非常に充実したプログラムだと評価できる。新規に加入する大学があることがそれを裏付けていると思う。コンソーシアムが効果的に運営されているためであろう。

受講者がまだ少ないとのことだったが、多様な取り組みが広く認知されれば、一気に増えるのではないか。

静岡大学国際連携機構
袴田麻里

平成２９年度外部評価　指摘項目改善案

平成 29 年度外部評価にて指摘された項目に関して、改善していくべく、平成 31 年度の取り組みとして、本コンソーシアム内にワーキンググループを発足していく計画をしている。特に、カリキュラムコンテンツの各大学間での共有化、将来の自立化に向けた構造構築に関しては、当該ワーキンググループにて詳細の議論をしていく中で、実験的試みを含めて取り組みをスタートさせていく予定でいる。現在の実績、ネットワークを活かしながら、参画大学、参画機関一丸となり、より高次元のプラットフォーム完遂に向けて、今後も愛岐留学生就職支援コンソーシアムを推進していきたいと考えている。

①インターンシップ参加者数の指標達成に向けて

■名古屋大学

受け入れ先拡大に向け、各参画機関との連携強化、個別企業とのプログラム開発強化などにより、受け入れ実数の拡大を図るとともに、参加留学生数の増加を目指し、周知啓蒙に力点を置いて留学生への広報も徹底していく。

■岐阜大学

現在、留学生就職促進プログラムプロジェクトチームのアドバイザー（客員教授）として元 NGK セラミックスヨーロッパ社長を位置づけ、中長期インターンシップ受入れ企業の開拓を進めている。平成 31 年度には、大学独自のプログラムとして、中長期インターンシップも実施する予定である。

■名古屋工業大学

本学が実施しているグローバル高度技術者育成プログラム参画企業に呼びかけ、更に中長期のインターンシップの機会を増やすべく努力する。愛知県・岐阜県のインターンシップに、これまで以上に多くの留学生が参加するように促す。

■名城大学

留学生の応募が多い人気業界、職種の企業開拓。

②キャリア教育、日本語教育など教育プログラムのコンテンツ共有について

■名古屋大学

現在も大学専門委員会、実務委員会を通じてコンテンツの実施報告を密に行うことで共有化を図っているが、今後は更にワーキンググループを発足し、より具体的なコンテンツの共有を目指していく予定。加えて、日本語能力のスピーキングに焦点を当てた能力テストを試験的に導入し、コンソーシアム全体のビジネス日本語講座の底上げを目指したい。

■岐阜大学

平成 31 年度のキャリア教育・日本語教育などの教育プログラムについては、平成 30 年度中に概要・スケジュール・問合先などの情報がわかるチラシを作成し、平成 31 年度のコンソーシアムの大学専門部会・実務委員会などで配付し、コンテンツの共有ができるよう準備を進めている。併せて、コンソーシアム及び本学のホームページに最新の情報を掲載できるよう準備を進めている。

■名古屋工業大学

本学が実施している教育プログラムのうち、本プログラム予算で開講・実施されているものについて、一定の要件を満たすことを条件に他大学の学生を受け入れる。これにより、教育コンテンツの共有化を図る。

■名城大学

コンソーシアムの中で情報共有を図り調整をしながら、ビジネス日本語やキャリア教育のプログラムの中で、キーワードを決め、講座等で実践する。

③本コンソーシアムの将来的な独立を目指した組織構築について

■名古屋大学

将来を見据えた組織構築に関しても、小ワーキンググループを発足し、その中で今後具体的な議論を始めていく。現在開催している「留学生のための JobFair」や企業タイアップの企画など企業から資金提供頂ける企業向けのコンテンツをいくつか開発し、運営資金を作っていくことを念頭においている。

■岐阜大学

平成 31 年 4 月 1 日に、愛岐留学生就職支援コンソーシアム/留学生就職促進プログラム事業の学内担当組織を改編する。平成 31 年度、新たにグローカル推進機構に配置される特

任教授・特任助教がこの組織に加わる。新組織を運用する中で、プログラム終了後の仕組みについても議論を進める。

■名古屋工業大学

本学が実施しているグローバル高度技術者育成プログラム参画企業に呼びかけ、より一層、企業から寄付を頂けるよう、成果を挙げ報告する。

■名城大学

企業から会費を徴収する。

平成３１年３月
愛岐留学生就職支援コンソーシアム事務局
事務局担当校　名古屋大学